

2 - 3 各政策の分析結果

政策 1	分析-61
政策 2	分析-79
政策 3	分析-97
政策 4	分析-115
政策 5	分析-133
政策 6	分析-151
政策 7	分析-169
政策 8	分析-187
政策 9	分析-205
政策 10	分析-223
政策 11	分析-241
政策 12	分析-259
政策 13	分析-277
政策 14	分析-295
政策 15	分析-313
政策 16	分析-331
政策 17	分析-349
政策 18	分析-367
政策 19	分析-385
政策 20	分析-403
政策 21	分析-421
政策 22	分析-439
政策 23	分析-457
政策 24	分析-475
政策 25	分析-493
政策 26	分析-511
政策 27	分析-529
政策 28	分析-547
政策 29	分析-565
政策 30	分析-583
政策 31	分析-601
政策 32	分析-619
政策 33	分析-637
政策 34	分析-655
政策 35	分析-673
政策 36	分析-691

政策1 「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」は、障害、高齢、病気などにより生活のための援助が必要になったときでも、住み慣れた家や地域で、いつまでも自分らしさを保って暮らしていける環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策1の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は42.3%、低認知度群は57.7%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、女性(44.2%)が男性(40.0%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(53.6%)が65歳未満(38.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、高認知度郡の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策1 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.1	38.2	42.3	45.4	12.3	57.7	100.0

性別	男性	4.0	36.0	40.0	46.7	13.3	60.0	100.0
	女性	4.4	39.8	44.2	44.3	11.5	55.8	100.0
年齢別	65歳未満	3.4	34.9	38.3	48.7	13.0	61.7	100.0
	65歳以上	6.5	47.1	53.6	36.0	10.4	46.4	100.0

圏域別	仙台	2.7	39.8	42.5	44.3	13.1	57.4	100.0
	仙南	6.6	34.4	41.0	47.3	11.6	58.9	100.0
	大崎	4.2	38.5	42.7	46.0	11.3	57.3	100.0
	栗原	4.9	36.5	41.4	47.0	11.7	58.7	100.0
	登米	5.4	37.8	43.2	48.2	8.6	56.8	100.0
	石巻	2.8	37.2	40.0	45.6	14.4	60.0	100.0
	気山沼・本吉	2.8	41.8	44.6	40.2	15.1	55.3	100.0

有効回答者数 1,667 名

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は64.7%、低認知度群は35.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（85.7%）が21ポイント、登米圏域（75.0%）が10.3ポイント、気仙沼・本吉圏域（70.3%）が5.6ポイント高い。

仙台圏域（57.7%）が、回答者全体と比較して7.0ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は67.7%、低認知度群は32.3%である。

(%)

政策1 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	8.7	56.0	64.7	30.7	4.5	35.2	100.0	
圏 域 別	仙台	6.0	51.7	57.7	32.8	9.5	42.3	100.0
	仙南	9.1	56.4	65.5	32.7	1.8	34.5	100.0
	大崎	11.7	54.5	66.2	32.5	1.3	33.8	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	50.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	8.7	60.9	69.6	26.1	4.3	30.4	100.0
	気仙沼・本吉	5.4	64.9	70.3	27.0	2.7	29.7	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	7.4	60.3	67.7	29.4	2.9	32.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

2. 政策1の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は90.6%、低関心度群は9.3%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(93.0%)が男性(88.4%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(93.4%)が65歳未満(89.8%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策1 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	41.8	48.8	90.6	7.0	2.3	9.3	100.0

性別	男性	41.4	47.0	88.4	9.6	2.0	11.6	100.0
	女性	42.0	51.0	93.0	4.6	2.5	7.1	100.0
年齢別	65歳未満	37.4	52.4	89.8	8.0	2.2	10.2	100.0
	65歳以上	53.8	39.6	93.4	4.1	2.5	6.6	100.0

圏域別	仙台	46.4	44.5	90.9	5.9	3.2	9.1	100.0
	仙南	36.9	52.5	89.4	7.8	2.9	10.7	100.0
	大崎	44.2	46.3	90.5	7.9	1.7	9.6	100.0
	栗原	43.2	48.0	91.2	6.6	2.2	8.8	100.0
	登米	36.2	55.9	92.1	7.4	0.4	7.8	100.0
	石巻	37.0	54.9	91.9	6.0	2.2	8.2	100.0
	気山沼・本吉	45.5	45.1	90.6	7.1	2.4	9.5	100.0

有効回答者数 1,688 名

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は92.6%、低関心度群は7.4%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、仙南圏域(100.0%)と栗原圏域(100.0%)では共に7.4ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域(82.6%)では10.0ポイント、登米圏域(83.3%)では9.3ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は95.6%、低関心度群は4.3%である。

(%)

政策1 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	40.1	52.5	92.6	6.8	0.6	7.4	100.0	
圏 域 別	仙台	32.2	55.9	88.1	11.0	0.8	11.8	100.0
	仙南	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	大崎	43.6	51.3	94.9	5.1	0.0	5.1	100.0
	栗原	28.6	71.4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	50.0	33.3	83.3	8.3	8.3	16.6	100.0
	石巻	43.5	39.1	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気山沼・本吉	39.5	57.9	97.4	2.6	0.0	2.6	100.0

有効回答者数 337 名

学識者等全体	42.0	53.6	95.6	2.9	1.4	4.3	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 69 名

3. 政策1の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より51.5%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より45.8%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より41.6%と推定できる。

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.8	(93.2)
満足度 60点未満の割合		58.3
要検討領域にある回答者全体の割合		51.5

有効回答者数；重視度 1,659人、満足度 1,622人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	1659	1622
	欠損値	62	99
平均値		77.69	53.63
平均値の標準誤差		.348	.410
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.164	16.516
分散		200.607	272.764
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.6	(96.4)
満足度 60点未満の割合		49.4
要検討領域にある回答者全体の割合		45.8

有効回答者数；重視度 332人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	332	332
	欠損値	6	6
平均値		78.30	55.90
平均値の標準誤差		.706	.779
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		12.857	14.193
分散		165.298	201.447
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.6	(92.4)
満足度 60点未満の割合		49.2
要検討領域にある回答者全体の割合		41.6

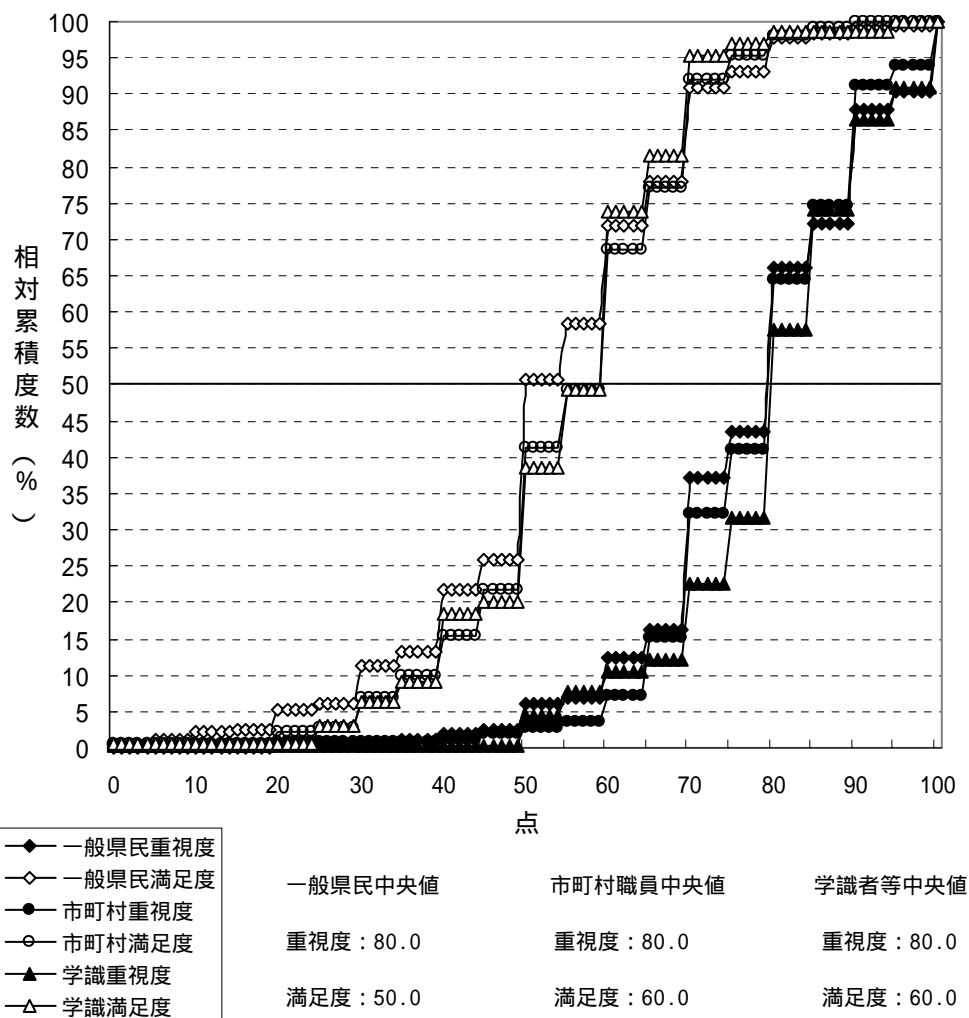
有効回答者数；重視度 66人、満足度 65人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	66	65
	欠損値	3	4
平均値		80.08	55.62
平均値の標準誤差		1.525	1.635
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.388	13.185
分散		153.456	173.834
範囲		50	70
最小値		50	25
最大値		100	95
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

「政策1 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（30.0点）が女性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、女性（10.0点）が男性（7.5点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性（12.5点）が女性（7.5点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性51.4%、女性51.6%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

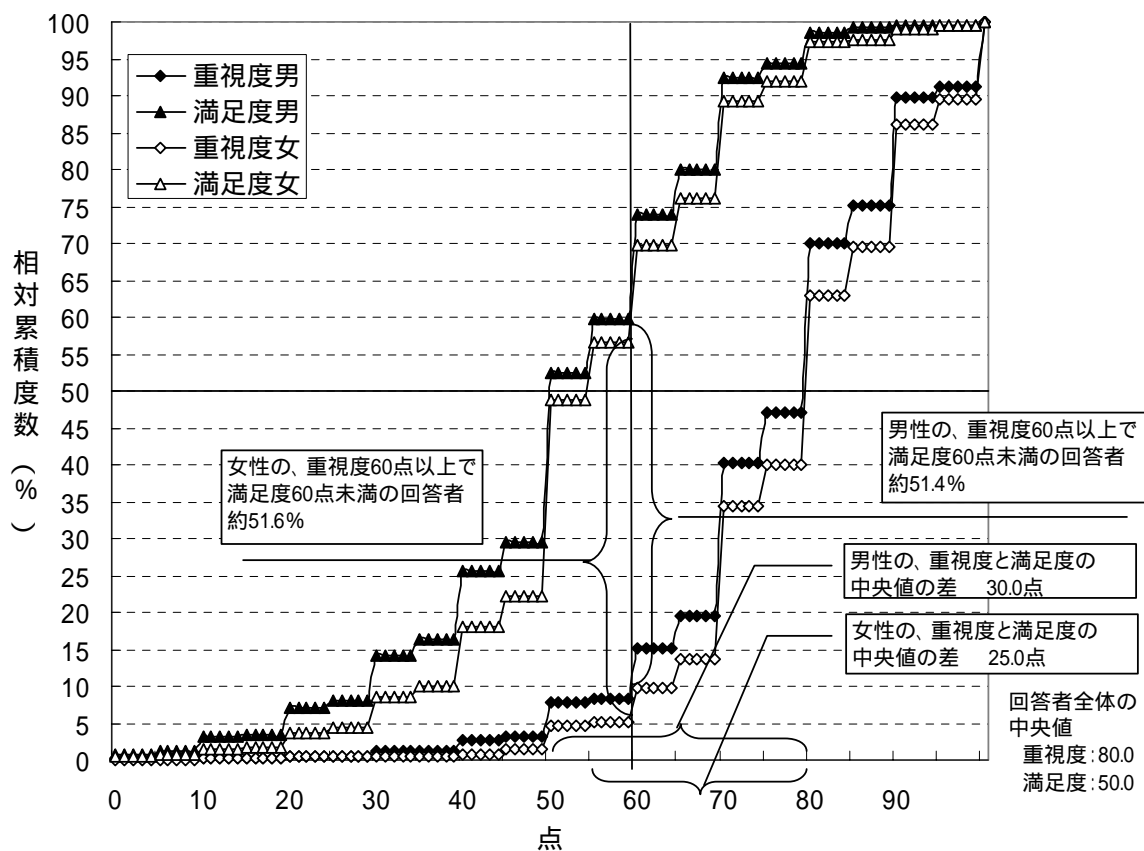
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	40.0	50.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	85.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	7.5	10.0
	満足度	10.0	12.5	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.3	(91.7)	5.1	(94.9)
満足度 60点未満の割合	59.7		56.7	
要検討領域にある回答者全体の割合	51.4		51.6	

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	783	765
	欠損値	20	38
平均値		76.32	52.04
平均値の標準誤差		.519	.615
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.517	17.020
分散		210.735	289.684
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	856	839
	欠損値	40	57
平均値		78.97	55.15
平均値の標準誤差		.465	.549
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.616	15.893
分散		185.392	252.601
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区分別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満（50.0点）が65歳以上（60.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（30.0点）が65歳以上（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満（7.5点）が65歳以上（10.0点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満54.7%、65歳以上41.9%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

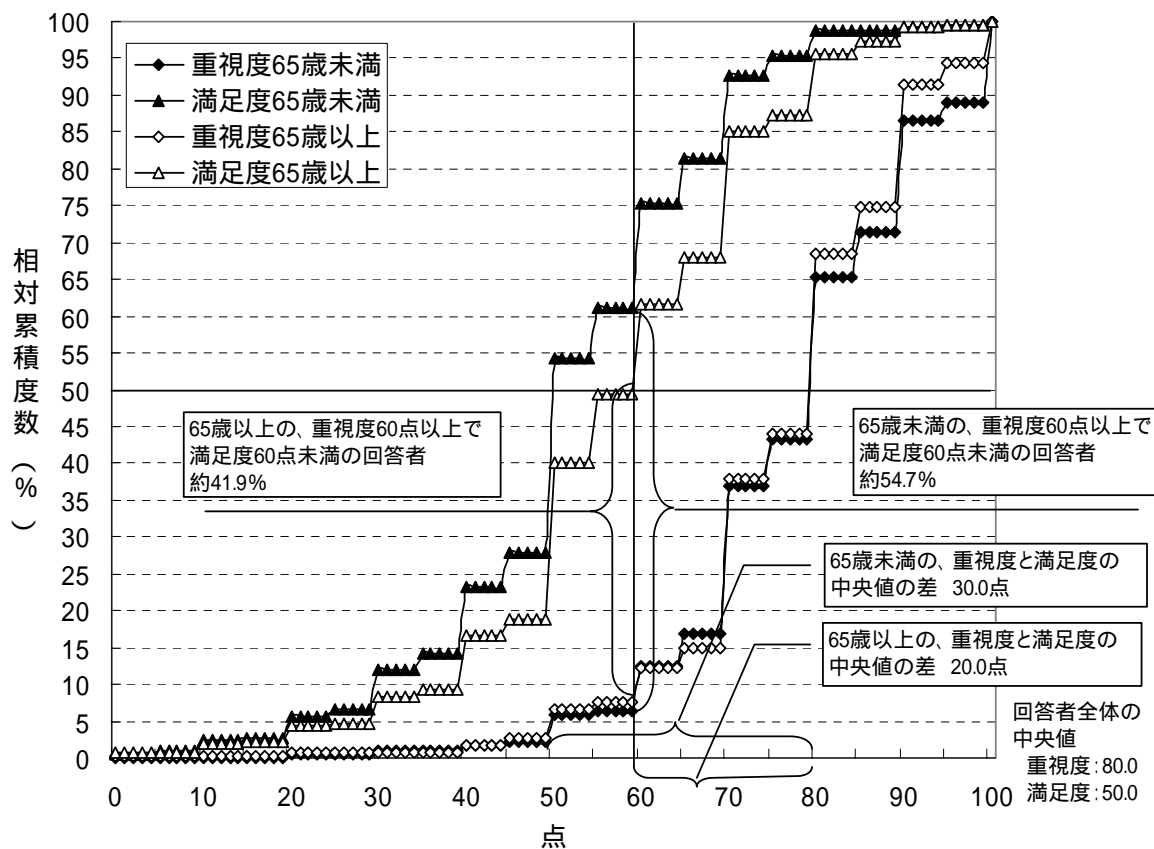
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	6.4 (93.6)	7.5 (92.5)
満足度60点未満の割合	61.1	49.4
要検討領域にある回答者全体の割合	54.7	41.9

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	1212	1189
	欠損値	28	51
平均値		77.96	52.38
平均値の標準誤差		.410	.468
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.284	16.154
分散		204.022	260.955
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策1重視度	政策1満足度
度数	有効	425	413
	欠損値	32	44
平均値		77.00	57.47
平均値の標準誤差		.661	.833
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.624	16.937
分散		185.613	286.847
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別（一般県民、市町村職員）

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体（80.0点）と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域（55.0点）、栗原圏域（55.0点）、登米圏域（55.0点）の3圏域が回答者全体（50.0点）よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域（7.5点）、登米圏域（8.8点）の2圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域（7.5点）、仙南圏域（7.5点）の2圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域（75.0点）、登米圏域（75.0点）、石巻圏域（75.0点）の3圏域が回答者全体（80.0点）よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、仙南圏域（55.0点）、大崎圏域（55.0点）の2圏域が回答者全体（60.0点）よりも5ポイント、石巻圏域（50.0点）、気仙沼・本吉圏域（50.0点）の2圏域が10ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域（7.5点）、登米圏域（7.5点）、石巻圏域（7.5点）の3圏域が回答者全体（10.0点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域（11.3点）、石巻圏域（10.0点）、仙南圏域（9.4点）、登米圏域（9.4点）の4圏域が回答者全体（7.5点）よりも大きい。

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	55.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	45.0	50.0	45.0	50.0	45.0	45.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	25.0	20.0	25.0	25.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	85.0	87.5	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	70.0	65.0	70.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	20.0	20.0	17.5	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	8.8	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	7.5	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	75.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	25.0	15.0	15.0	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	46.3	50.0	50.0	51.3	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	23.8	20.0	20.0	18.8	30.0	25.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	85.0	90.0	90.0	85.0	85.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	70.0	60.0	67.5
	かい離	25.0	25.0	20.0	25.0	25.0	15.0	25.0	22.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0	7.5	7.5	10.0
	満足度	7.5	7.5	9.4	7.5	7.5	9.4	10.0	11.3

4. 政策1の各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」(35.9%)である。

第2位は施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」(21.6%)である。

第3位は施策4「元気高齢者の生きがいづくり」(20.0%)である。

市町村職員では、

第1位は施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」(30.7%)である。

第2位は施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」(23.5%)である。

第3位は施策4「元気高齢者の生きがいづくり」(18.8%)である。

学識者では、

第1位は施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」(32.8%)である。

第2位は施策4「元気高齢者の生きがいづくり」(28.4%)である。

第3位は施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」(17.9%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65歳年齢区分別

一般県民では、

第1位は、65歳未満65歳以上とも施策3「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」である。

第2位は、65歳未満では施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、65歳以上では施策4「元気高齢者の生きがいづくり」である。

第3位は、65歳未満では施策4「元気高齢者の生きがいづくり」、65歳以上では施策5「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」である。

第 2 位は、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」である。

第 3 位は、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」である。

市町村職員では、

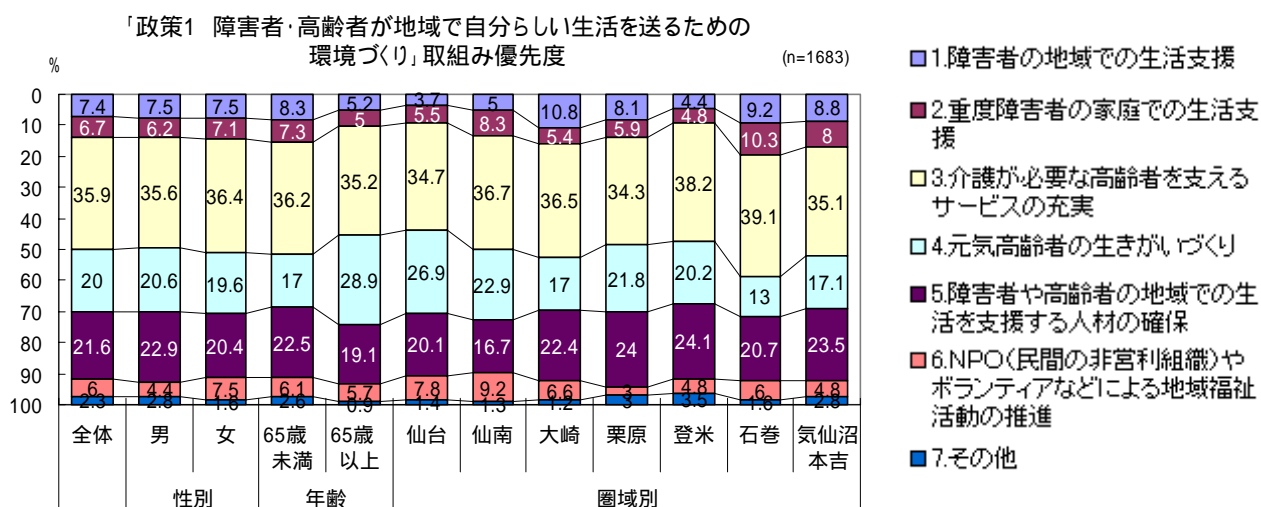
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」、登米、石巻の 2 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」、栗原、登米の 2 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、登米圏域では施策 2 「重度障害者の家庭での生活支援」である（登米圏域では、施策 2 と施策 4 と施策 5 が共に第 1 位になっている）。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、石巻の 4 圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」、栗原圏域では施策 1 「障害者の地域での生活支援」、石巻圏域では施策 2 「重度障害者の家庭での生活支援」と施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」、気仙沼・本吉圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」である（石巻圏域では施策 2 と施策 3 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

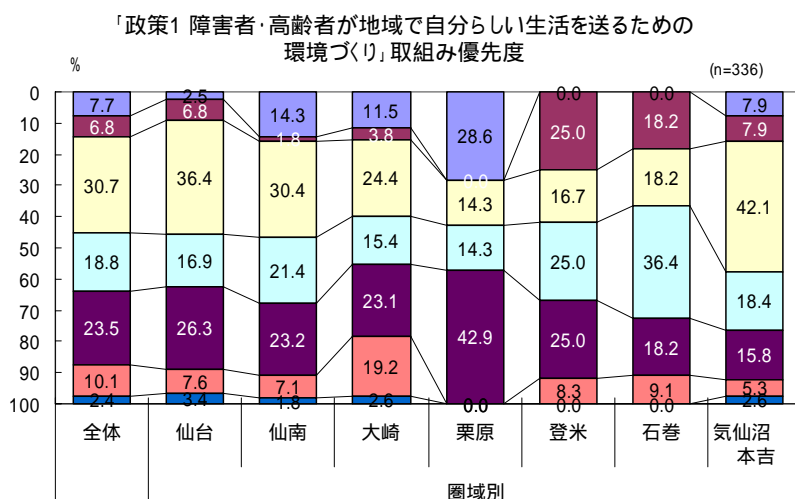
第 3 位は、仙台、仙南、栗原の 3 圏域では施策 4 「元気高齢者の生きがいつくり」、大崎圏域では施策 6 「NPO（民間の非営利組織）やボランティアなどによる地域福祉活動の推進」、栗原圏域では施策 3 「介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実」、気仙沼・本吉圏域では施策 5 「障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保」である（栗原圏域では施策 3 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

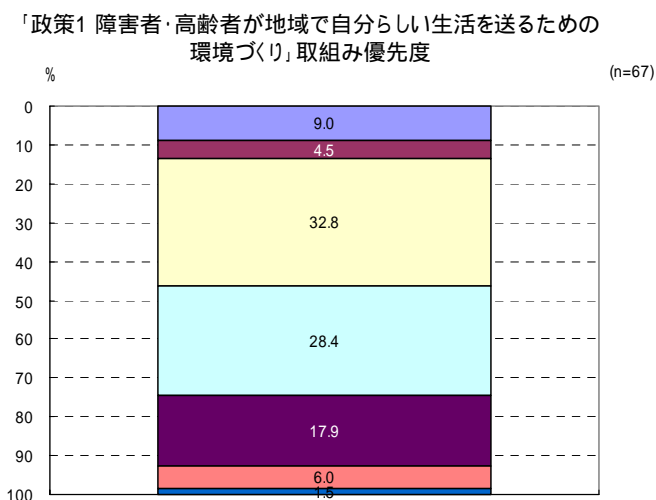
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.障害者の地域での生活支援	7.4	7.5	7.5	8.3	5.2	3.7	5.0	10.8	8.1	4.4	9.2	8.8
2	2.重度障害者の家庭での生活支援	6.7	6.2	7.1	7.3	5.0	5.5	8.3	5.4	5.9	4.8	10.3	8.0
3	3.介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	35.9	35.6	36.4	36.2	35.2	34.7	36.7	36.5	34.3	38.2	39.1	35.1
4	4.元気高齢者の生きがいづくり	20.0	20.6	19.6	17.0	28.9	26.9	22.9	17.0	21.8	20.2	13.0	17.1
5	5.障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	21.6	22.9	20.4	22.5	19.1	20.1	16.7	22.4	24.0	24.1	20.7	23.5
6	6.NPO(民間の非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	6.0	4.4	7.5	6.1	5.7	7.8	9.2	6.6	3.0	4.8	6.0	4.8
7	7.その他	2.3	2.8	1.6	2.6	0.9	1.4	1.3	1.2	3.0	3.5	1.6	2.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.障害者の地域での生活支援	7.7	2.5	14.3	11.5	28.6	0.0	0.0	7.9
2	2.重度障害者の家庭での生活支援	6.8	6.8	1.8	3.8	0.0	25.0	18.2	7.9
3	3.介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	30.7	36.4	30.4	24.4	14.3	16.7	18.2	42.1
4	4.元気高齢者の生きがいづくり	18.8	16.9	21.4	15.4	14.3	25.0	36.4	18.4
5	5.障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	23.5	26.3	23.2	23.1	42.9	25.0	18.2	15.8
6	6.NPO(民間の非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	10.1	7.6	7.1	19.2	0.0	8.3	9.1	5.3
7	7.その他	2.4	3.4	1.8	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.障害者の地域での生活支援	9.0
2	2.重度障害者の家庭での生活支援	4.5
3	3.介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	32.8
4	4.元気高齢者の生きがいづくり	28.4
5	5.障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	17.9
6	6.NPO(民間の非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	6.0
7	7.その他	1.5

政策 1 「障害者・高齢者が地域で自分らしい
生活を送るための環境づくり」

政策2 「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」

政策2「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」は、かぜや腹痛など日常的な医療はもちろんのこと、高度で専門的な医療や救急医療が必要となったとき、いつでも、どこでも、誰もが適切な医療サービスを受けられる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策2の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は36.7%、低認知度群は63.3%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性(37.5%)が女性(35.9%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(52.1%)が65歳未満(31.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

登米圏域(42.1%)では、回答者全体と比較して5.4ポイント高い。

(%)

政策2 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.5	33.2	36.7	51.2	12.1	63.3	100.0

性別	男性	4.6	32.9	37.5	50.6	11.9	62.5	100.0
	女性	2.5	33.4	35.9	51.7	12.3	64.0	100.0
年齢別	65歳未満	2.6	28.7	31.3	55.3	13.3	68.6	100.0
	65歳以上	6.1	46.0	52.1	39.3	8.6	47.9	100.0

圏域別	仙台	1.8	35.0	36.8	48.6	14.5	63.1	100.0
	仙南	2.9	33.6	36.5	53.1	10.4	63.5	100.0
	大崎	3.8	31.9	35.7	54.9	9.4	64.3	100.0
	栗原	3.7	36.3	40.0	47.6	12.4	60.0	100.0
	登米	6.7	35.4	42.1	46.2	11.7	57.9	100.0
	石巻	3.3	29.9	33.2	54.9	12.0	66.9	100.0
	気山沼・本吉	2.4	30.6	33.0	53.2	13.7	66.9	100.0

有効回答者数 1,667 名

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 52.3%、低認知度群は 47.8%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（85.7%）が 33.4 ポイント、登米圏域（66.6%）が 14.3 ポイント、大崎圏域（59.2%）が 6.9 ポイント、仙南圏域（58.9%）が 6.6 ポイント、石巻圏域（59.0%）が 6.7 ポイント高い。

仙台圏域（41.3%）が、回答者全体と比較して 11 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 64.7%、低認知度群は 35.3%である。

(%)

政策2 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	4.9	47.4	52.3	43.8	4.0	47.8	100.0	
圏 域 別	仙台	1.8	41.3	52.6	6.1	58.7	100.0	
	仙南	7.1	51.8	58.9	37.5	3.6	41.1	100.0
	大崎	5.3	53.9	59.2	36.8	3.9	40.7	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	8.3	58.3	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
	石巻	4.5	54.5	59.0	40.9	0.0	40.9	100.0
	気山沼・本吉	2.7	45.9	48.6	48.6	2.7	51.3	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	0.0	64.7	64.7	32.4	2.9	35.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

2. 政策2の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は96.0%、低関心度群は4.0%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(96.7%)が男性(95.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(97.1%)が65歳未満(95.7%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策2 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	59.4	36.6	96.0	3.1	0.9	4.0	100.0

性別	男性	56.4	38.9	95.3	3.5	1.1	4.6	100.0
	女性	62.0	34.7	96.7	2.7	0.6	3.3	100.0
年齢別	65歳未満	55.4	40.3	95.7	3.5	0.8	4.3	100.0
	65歳以上	70.3	26.8	97.1	2.1	0.9	3.0	100.0

圏 域 別	仙台	60.2	34.8	95.0	4.1	0.9	5.0	100.0
	仙南	55.1	42.0	97.1	2.5	0.4	2.9	100.0
	大崎	59.2	35.7	94.9	4.2	0.8	5.0	100.0
	栗原	60.6	34.7	95.3	1.8	2.9	4.7	100.0
	登米	59.2	37.7	96.9	3.1	0.0	3.1	100.0
	石巻	54.9	41.8	96.7	3.3	0.0	3.3	100.0
	気山沼・本吉	63.2	33.6	96.8	2.8	0.4	3.2	100.0

有効回答者数 1,690 名

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は94.0%、低関心度群は6.0%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域(100.0%)では、回答者全体と比較して6.0ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は97.1%、低関心度群は2.9%である。

(%)

政策2 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	51.6	42.4	94.0	6.0	0.0	6.0	100.0	
圏 域 別	仙台	44.4	47.9	92.3	7.7	0.0	7.7	100.0
	仙南	46.4	46.4	92.8	7.1	0.0	7.1	100.0
	大崎	62.8	33.3	96.1	3.8	0.0	3.8	100.0
	栗原	71.4	28.6	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	66.7	25.0	91.7	8.3	0.0	8.3	100.0
	石巻	47.8	47.8	95.6	4.3	0.0	4.3	100.0
	気山沼・本吉	54.1	43.2	97.3	2.7	0.0	2.7	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	60.3	36.8	97.1	2.9	0.0	2.9	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 68 名

3. 政策2の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は85.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は35.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より52.5%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は25.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より50.1%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より31.9%と推定できる。

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	85.0	50.0	35.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	40.0	35.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	5.9	(94.1)
満足度 60点未満の割合		58.4
要検討領域にある回答者全体の割合		52.5

有効回答者数；重視度 1,668人、満足度 1,645人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	1668	1645
	欠損値	53	76
平均値		82.20	52.31
平均値の標準誤差		.359	.436
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		14.674	17.672
分散		215.312	312.302
範囲		85	100
最小値		15	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	75.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	4.8	(95.2)
満足度 60点未満の割合		54.9
要検討領域にある回答者全体の割合		50.1

有効回答者数；重視度 335人、満足度 335人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	335	335
	欠損値	3	3
平均値		81.61	52.97
平均値の標準誤差		.726	.909
中央値		80.00	55.00
最頻値		90	50
標準偏差		13.283	16.630
分散		176.436	276.556
範囲		65	90
最小値		35	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	70.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	4.5	(95.5)
満足度 60点未満の割合		36.4
要検討領域にある回答者全体の割合		31.9

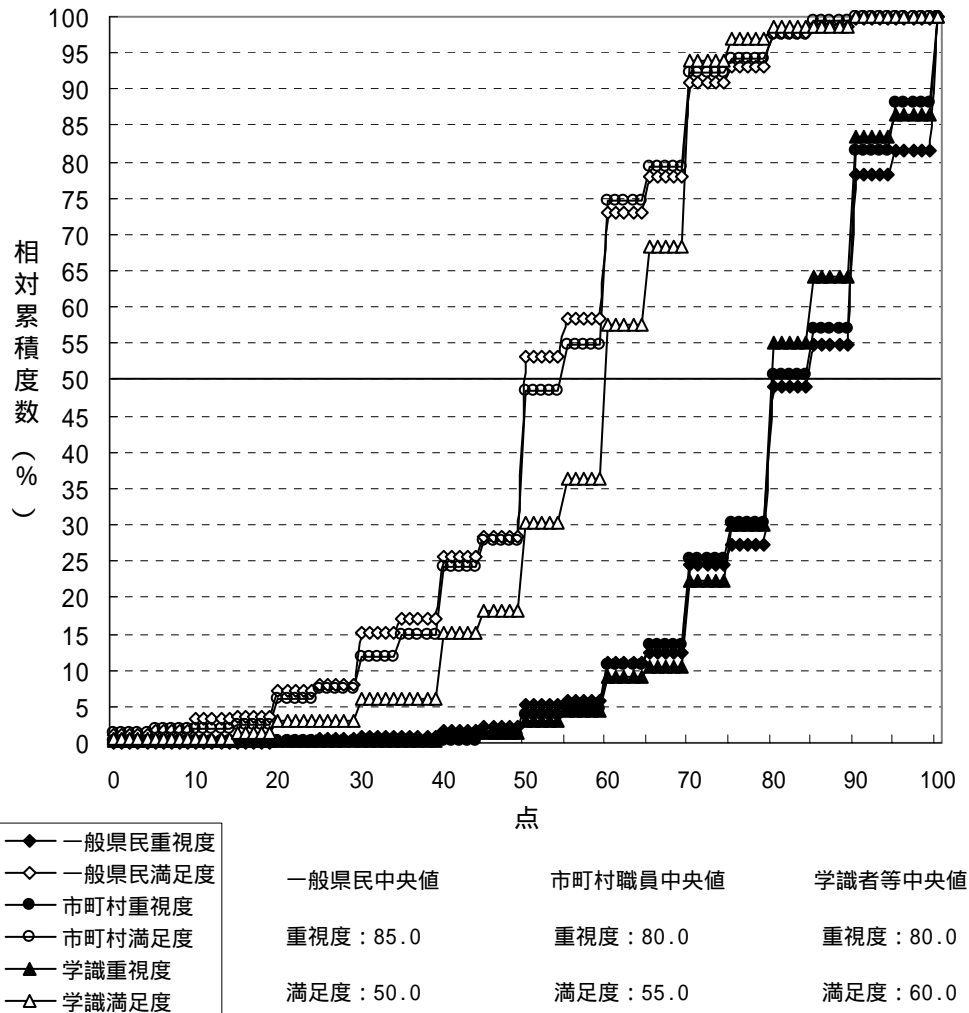
有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		81.42	58.33
平均値の標準誤差		1.566	1.715
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	70
標準偏差		12.816	13.932
分散		164.247	194.103
範囲		60	75
最小値		40	15
最大値		100	90
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	60.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	65.00
	75	90.00	70.00

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

「政策2 どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（85.0点）が男性（80.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（35.0点）が男性（30.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性（10.0点）が女性（5.0点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性（12.5点）が女性（10.0点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性53.5%、女性51.5%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

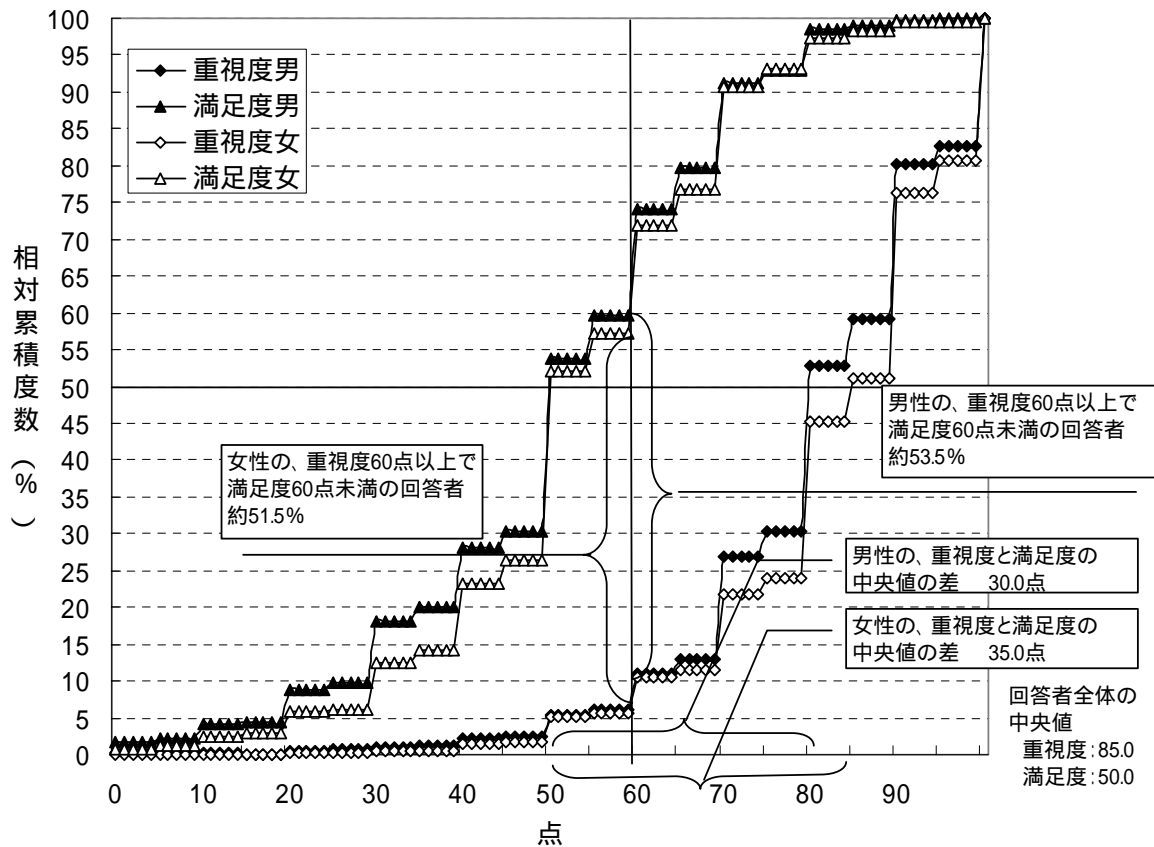
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	85.0	80.0	85.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	35.0	30.0	35.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	75.0	70.0	80.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	35.0	30.0	35.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	7.5	10.0	5.0
	満足度	12.5	12.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.1	(93.9)	5.7	(94.3)
満足度 60点未満の割合	59.6		57.2	
要検討領域にある回答者全体の割合	53.5		51.5	

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	787	775
	欠損値	16	28
平均値		81.20	51.20
平均値の標準誤差		.534	.659
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.976	18.350
分散		224.288	336.736
範囲		85	100
最小値		15	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	861	850
	欠損値	35	46
平均値		83.19	53.39
平均値の標準誤差		.486	.582
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		14.272	16.954
分散		203.690	287.436
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	80.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満（85.0点）が65歳以上（80.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、65歳未満（50.0点）が65歳以上（60.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（35.0点）が65歳以上（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに7.5点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満56.1%、65歳以上42.0%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

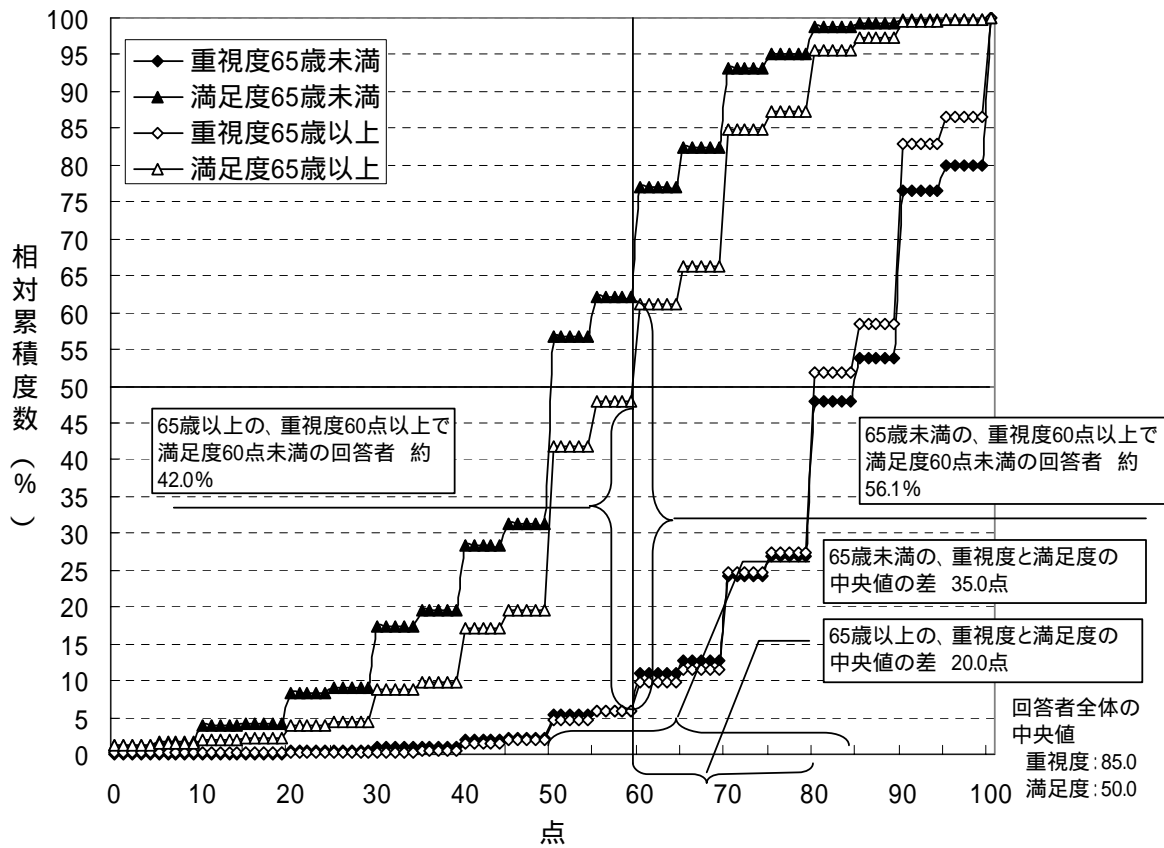
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	85.0	85.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	60.0
	かい離	35.0	35.0	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	75.0	75.0	75.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	35.0	35.0	25.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	7.5	7.5	7.5
	満足度	12.5	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	5.9 (94.1)	5.8 (94.2)
満足度 60点未満の割合	62.0	47.8
要検討領域にある回答者全体の割合	56.1	42.0

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	1216	1200
	欠損値	24	40
平均値		82.43	50.58
平均値の標準誤差		.430	.505
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		14.979	17.489
分散		224.357	305.857
範囲		85	100
最小値		15	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	75.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策2重視度	政策2満足度
度数	有効	430	423
	欠損値	27	34
平均値		81.62	57.42
平均値の標準誤差		.657	.836
中央値		80.00	60.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		13.626	17.193
分散		185.668	295.595
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、気仙沼・本吉圏域(90.0点)が回答者全体(85.0点)よりも5ポイント高く、仙台圏域(80.0点)、仙南圏域(80.0点)、大崎圏域(80.0点)、栗原圏域(80.0点)の4圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(10.0点)が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.9点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(10.0点)、大崎圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、石巻圏域(7.5点)の4圏域が回答者全体(12.5点)よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0点)、気仙沼・本吉圏域(90.0点)の2圏域が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント高く、大崎圏域(85.0点)、登米圏域(85.0点)の2圏域が5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、登米圏域(50.0点)、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の4圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域(15.0点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙南圏域(9.4点)、栗原圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(7.5点)、大崎圏域(5.0点)の4圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、石巻圏域(15.0点)、気仙沼・本吉圏域(15.0点)の3圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙台圏域(7.5点)が小さい。

政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	85.0	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	85.0	90.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	35.0	30.0	30.0	20.0	30.0	35.0	35.0	40.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	75.0	75.0	75.0	75.0	70.0	76.3	75.0	80.0
	満足度	40.0	45.0	40.0	50.0	40.0	45.0	45.0	40.0
	かい離	35.0	30.0	35.0	25.0	30.0	31.3	30.0	40.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0
	満足度	65.0	65.0	65.0	70.0	65.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	25.0	20.0	30.0	35.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	7.5	7.5	7.5	7.5	10.0	6.9	7.5	7.5
	満足度	12.5	10.0	12.5	10.0	12.5	12.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	85.0	90.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	55.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	30.0	25.0	35.0	35.0	30.0	40.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	71.3	80.0	80.0	60.0	70.0	80.0
	満足度	45.0	45.0	40.0	50.0	40.0	45.0	35.0	30.0
	かい離	25.0	25.0	31.3	30.0	40.0	15.0	35.0	50.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	90.0	90.0	95.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	70.0	70.0	65.0	65.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	20.0	25.0	25.0	25.0	35.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	9.4	5.0	7.5	15.0	10.0	7.5
	満足度	10.0	7.5	10.0	10.0	15.0	10.0	15.0	15.0

4. 政策 2 の各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「地域の中核的な病院の整備」(32.8%) である。

第 2 位は施策 3 「救急医療体制の充実」(18.1%) である。

第 3 位は施策 8 「子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実」(14.9%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「地域の中核的な病院の整備」(27.7%) である。

第 2 位は施策 3 「救急医療体制の充実」(26.2%) である。

第 3 位は施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」(15.5%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「地域の中核的な病院の整備」(23.9%) である。

第 2 位は施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」(20.9%) である。

第 3 位は施策 3 「救急医療体制の充実」(19.4%) である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」、女性では施策 8 「子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 8 「子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実」、65 歳以上では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「地域の中核的な病院の整備」、石巻圏域では施策 3 「救急医療体制の充実」である。

第 2 位は、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 3 「救急医療体制の充実」、大崎圏域では施策 8 「子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実」、栗原圏域では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」、石巻圏域では施策 1 「地域の中核的な病院の整備」である。

第 3 位は、仙南、栗原、石巻の 3 圏域では施策 8 「子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実」、登米、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」、仙台圏域では施策 7 「医療・保健・福祉の総合的な情報システムの構築」、大崎圏域では施策 3 「救急医療体制の充実」である。

市町村職員では、

第 1 位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「地域の中核的な病院の整備」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 3 「救急医療体制の充実」、石巻圏域では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」である。

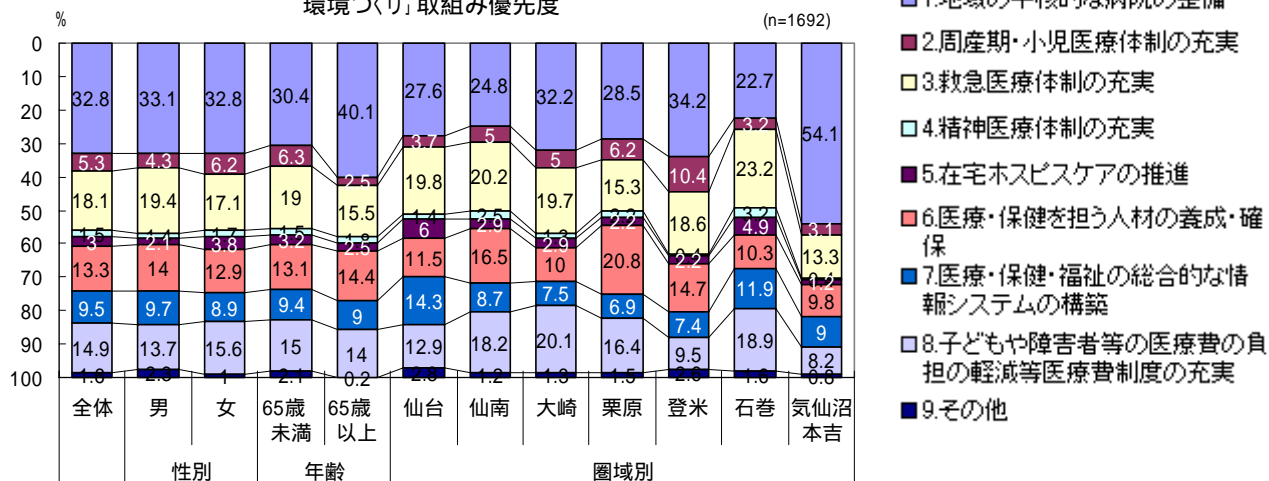
第 2 位は、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 3 「救急医療体制の充実」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」である。

第 3 位は、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「医療・保健を担う人材の養成・確保」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 8 「子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実」、登米圏域では施策 2 「周産期・小児医療体制の充実」、石巻圏域では施策 1 「地域の中核的な病院の整備」である。

政策2「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」

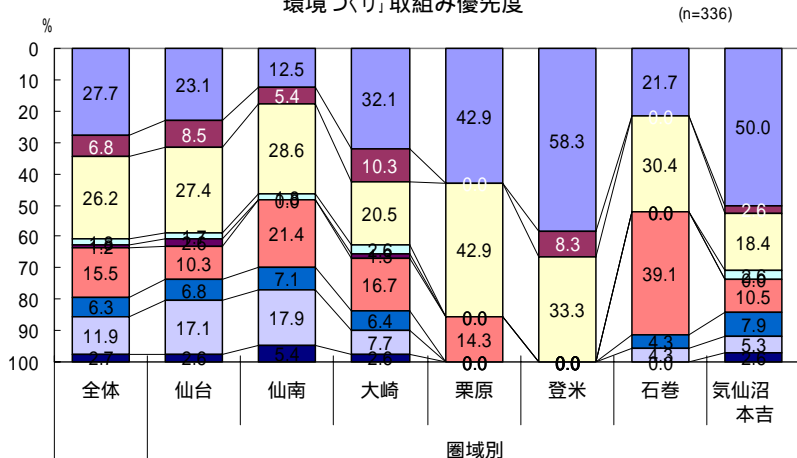
【一般県民】

「政策2 どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」取組み優先度



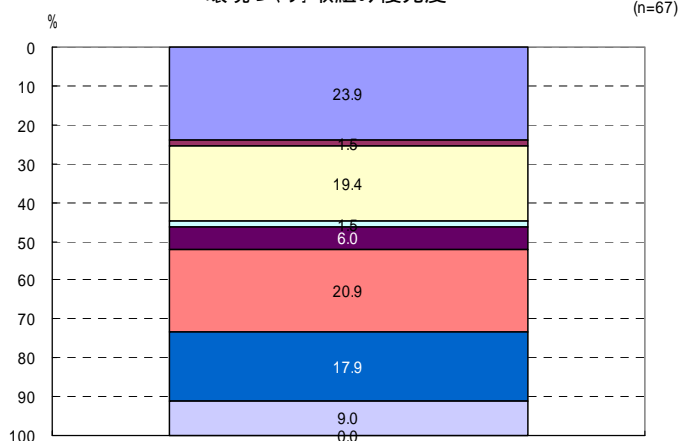
【市町村職員】

「政策2 どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」取組み優先度



【学識者等】

「政策2 どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」取組み優先度



政策2「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地域の中核的な病院の整備	32.8	33.1	32.8	30.4	40.1	27.6	24.8	32.2	28.5	34.2	22.7	54.1
2	2.周産期・小児医療体制の充実	5.3	4.3	6.2	6.3	2.5	3.7	5.0	5.0	6.2	10.4	3.2	3.1
3	3.救急医療体制の充実	18.1	19.4	17.1	19.0	15.5	19.8	20.2	19.7	15.3	18.6	23.2	13.3
4	4.精神医療体制の充実	1.5	1.4	1.7	1.5	1.8	1.4	2.5	1.3	2.2	0.4	3.2	0.4
5	5.在宅ホスピスケアの推進	3.0	2.1	3.8	3.2	2.5	6.0	2.9	2.9	2.2	2.2	4.9	1.2
6	6.医療・保健を担う人材の養成・確保	13.3	14.0	12.9	13.1	14.4	11.5	16.5	10.0	20.8	14.7	10.3	9.8
7	7.医療・保健・福祉の総合的な情報システムの構築	9.5	9.7	8.9	9.4	9.0	14.3	8.7	7.5	6.9	7.4	11.9	9.0
8	8.子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実	14.9	13.7	15.6	15.0	14.0	12.9	18.2	20.1	16.4	9.5	18.9	8.2
9	9.その他	1.6	2.3	1.0	2.1	0.2	2.8	1.2	1.3	1.5	2.6	1.6	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地域の中核的な病院の整備	27.7	23.1	12.5	32.1	42.9	58.3	21.7	50.0
2	2.周産期・小児医療体制の充実	6.8	8.5	5.4	10.3	0.0	8.3	0.0	2.6
3	3.救急医療体制の充実	26.2	27.4	28.6	20.5	42.9	33.3	30.4	18.4
4	4.精神医療体制の充実	1.8	1.7	1.8	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6
5	5.在宅ホスピスケアの推進	1.2	2.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6	6.医療・保健を担う人材の養成・確保	15.5	10.3	21.4	16.7	14.3	0.0	39.1	10.5
7	7.医療・保健・福祉の総合的な情報システムの構築	6.3	6.8	7.1	6.4	0.0	0.0	4.3	7.9
8	8.子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実	11.9	17.1	17.9	7.7	0.0	0.0	4.3	5.3
9	9.その他	2.7	2.6	5.4	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地域の中核的な病院の整備	23.9
2	2.周産期・小児医療体制の充実	1.5
3	3.救急医療体制の充実	19.4
4	4.精神医療体制の充実	1.5
5	5.在宅ホスピスケアの推進	6.0
6	6.医療・保健を担う人材の養成・確保	20.9
7	7.医療・保健・福祉の総合的な情報システムの構築	17.9
8	8.子どもや障害者等の医療費の負担の軽減等医療費制度の充実	9.0
9	9.その他	0.0

政策 2 「どこに住んでいても必要な医療や
保健サービスが受けられる環境づくり」

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

政策3 「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」は、核家族化、少子化の進行など子供を取り巻く環境が大きく変化している中で、安心して子供を産み育てることができ、すべての子供がその個性を尊重され健やかに成長できる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策3の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は39.3%、低認知度群は60.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性(41.5%)が男性(36.5%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(47.1%)が65歳未満(36.4%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、項認知度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策3 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.3	35.0	39.3	49.5	11.3	60.8	100.0

性別	男性	4.8	31.7	36.5	50.5	13.0	63.5	100.0
	女性	3.9	37.6	41.5	48.8	9.7	58.5	100.0
年齢別	65歳未満	3.2	33.2	36.4	51.5	12.1	63.6	100.0
	65歳以上	7.5	39.6	47.1	44.0	8.9	52.9	100.0

圏域別	仙台	3.8	37.1	40.9	47.4	11.7	59.1	100.0
	仙南	1.7	35.4	37.1	50.7	12.2	62.9	100.0
	大崎	6.6	37.6	44.2	44.7	11.1	55.8	100.0
	栗原	5.4	33.5	38.9	50.4	10.8	61.2	100.0
	登米	6.0	35.8	41.8	47.7	10.6	58.3	100.0
	石巻	4.4	33.3	37.7	52.5	9.8	62.3	100.0
	気山沼・本吉	2.9	33.5	36.4	52.2	11.4	63.6	100.0

有効回答者数 1,615 名

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 59.2%、低認知度群は 40.8%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域（85.7%）が、回答者全体と比較して 26.5 ポイント高い。

石巻圏域（47.6%）が、回答者全体と比較して 11.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 50.0%、低認知度群は 50.0%である。

(%)

政策3 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	9.7	49.5	59.2	37.1	3.7	40.8	100.0	
圏 域 別	仙台	10.7	46.4	57.1	39.3	3.6	42.9	100.0
	仙南	7.4	55.6	63.0	35.2	1.9	37.1	100.0
	大崎	10.7	46.7	57.4	34.7	8.0	42.7	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	16.7	41.7	58.4	41.7	0.0	41.7	100.0
	石巻	9.5	38.1	47.6	52.4	0.0	52.4	100.0
	気山沼・本吉	5.7	57.1	62.8	34.3	2.9	37.2	100.0
有効回答者数 321 名								
学識者等全体	7.6	42.4	50.0	47.0	3.0	50.0	100.0	
有効回答者数 66 名								

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

2. 政策3の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は91.3%、低関心度群は8.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(92.9%)が男性(89.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(91.9%)が65歳未満(91.0%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策3 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	48.9	42.4	91.3	7.2	1.6	8.8	100.0

性別	男性	45.8	43.5	89.3	8.5	2.2	10.7	100.0
	女性	51.2	41.7	92.9	6.2	0.9	7.1	100.0
年齢別	65歳未満	46.3	44.7	91.0	7.6	1.4	9.0	100.0
	65歳以上	55.3	36.6	91.9	6.4	1.7	8.1	100.0

圏域別	仙台	50.9	39.0	89.9	8.3	1.8	10.1	100.0
	仙南	47.5	43.6	91.1	6.8	2.1	8.9	100.0
	大崎	48.9	41.7	90.6	8.1	1.3	9.4	100.0
	栗原	52.5	40.7	93.2	4.9	1.9	6.8	100.0
	登米	50.5	43.7	94.2	5.9	0.0	5.9	100.0
	石巻	44.9	43.2	88.1	9.7	2.2	11.9	100.0
	気山沼・本吉	43.7	46.8	90.5	8.3	1.2	9.5	100.0

有効回答者数 1,654 名

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は94.3%、低関心度群は5.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)と登米圏域(100.0%)では共に5.7ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は98.5%、低関心度群は1.5%である。

(%)

政策3 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	49.1	45.2	94.3	5.4	0.3	5.7	100.0	
圏 域 別	仙台	51.3	41.9	93.2	6.8	0.0	6.8	100.0
	仙南	57.1	41.1	98.2	1.8	0.0	1.8	100.0
	大崎	44.2	50.6	94.8	3.9	1.3	5.2	100.0
	栗原	28.6	71.4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	58.3	41.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	31.8	59.1	90.9	9.1	0.0	9.1	100.0
	気山沼・本吉	50.0	42.1	92.1	7.9	0.0	7.9	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	56.7	41.8	98.5	1.5	0.0	1.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策3の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より54.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は85.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は35.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より54.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は82.5点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は27.5点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より52.2%と推定できる。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.2	(93.8)
満足度 60点未満の割合		60.4
要検討領域にある回答者全体の割合		54.2

有効回答者数；重視度 1,656人、満足度 1,624人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	1656	1624
	欠損値	65	97
平均値		81.82	51.09
平均値の標準誤差		.378	.443
中央値		80.00	50.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		15.393	17.838
分散		236.940	318.180
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	85.0	50.0	35.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	40.0	35.0
第3四分位数(75パーセントイル)	91.3	60.0	31.3

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.3	(96.7)
満足度 60点未満の割合		57.9
要検討領域にある回答者全体の割合		54.6

有効回答者数；重視度 334人、満足度 330人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	334	330
	欠損値	4	8
平均値		83.26	51.70
平均値の標準誤差		.742	.902
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		13.556	16.387
分散		183.762	268.540
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	75.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	91.25	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	82.5	55.0	27.5
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	40.0	35.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	1.5	(98.5)
満足度 60点未満の割合		53.7
要検討領域にある回答者全体の割合		52.2

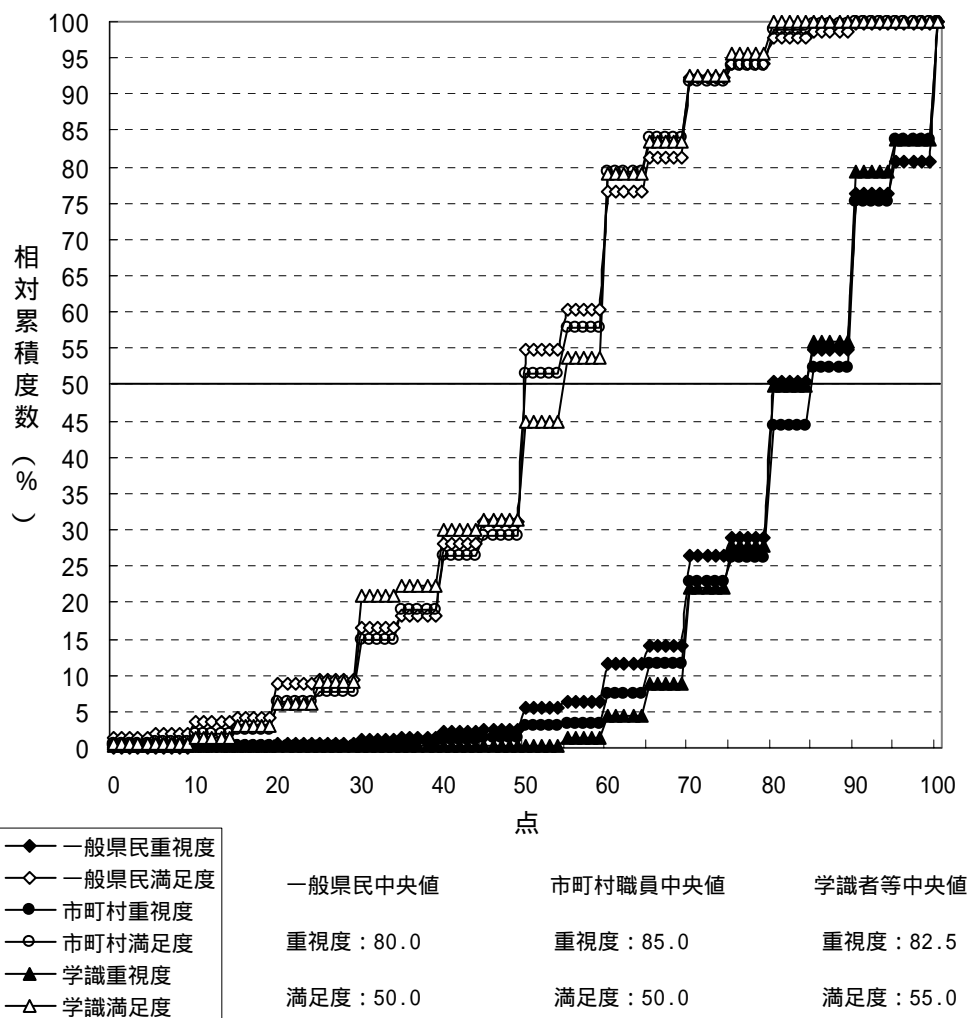
有効回答者数；重視度 68人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	68	67
	欠損値	1	2
平均値		83.31	51.34
平均値の標準誤差		1.416	2.050
中央値		82.50	55.00
最頻値		90	60
標準偏差		11.674	16.778
分散		136.276	281.502
範囲		45	70
最小値		55	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	75.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	82.50	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	60.00

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

「政策3 子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（85.0点）が男性（80.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（35.0点）が男性（30.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0点)が女性(7.5点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性57.2%、女性51.2%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

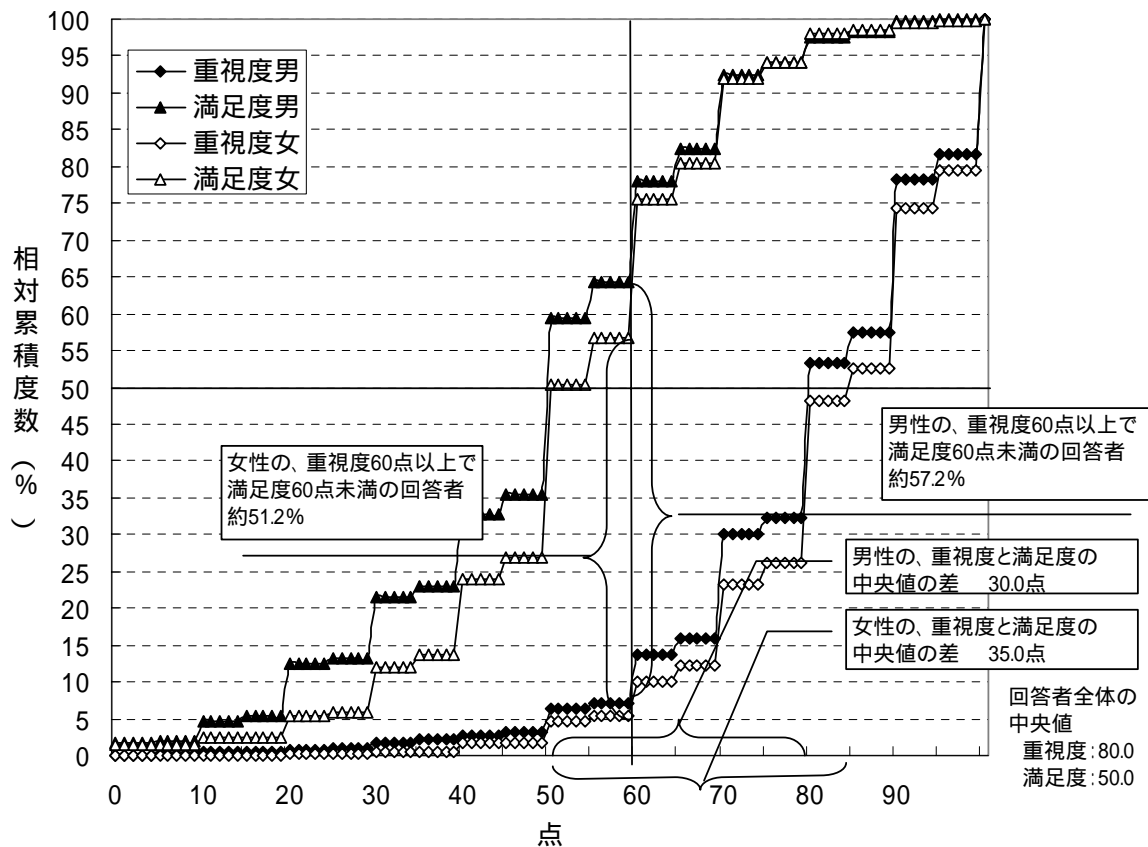
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	35.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	30.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	95.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	35.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.1	(92.9)	5.5	(94.5)
満足度 60点未満の割合	64.3		56.7	
要検討領域にある回答者全体の割合	57.2		51.2	

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	779	761
	欠損値	24	42
平均値		80.56	49.08
平均値の標準誤差		.585	.686
中央値		80.00	50.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		16.331	18.930
分散		266.686	358.363
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	859	845
	欠損値	37	51
平均値		82.96	52.98
平均値の標準誤差		.492	.568
中央値		85.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.427	16.497
分散		208.141	272.138
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	75.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	60.00
	75	95.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

3 2 - 2 65歳年齢区分別

重視度の中央値は、65歳未満（85.0点）が65歳以上（80.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、65歳未満（50.0点）が65歳以上（55.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（35.0点）が65歳以上（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満（12.5点）が65歳以上（10.0点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満56.6%、65歳以上47.2%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

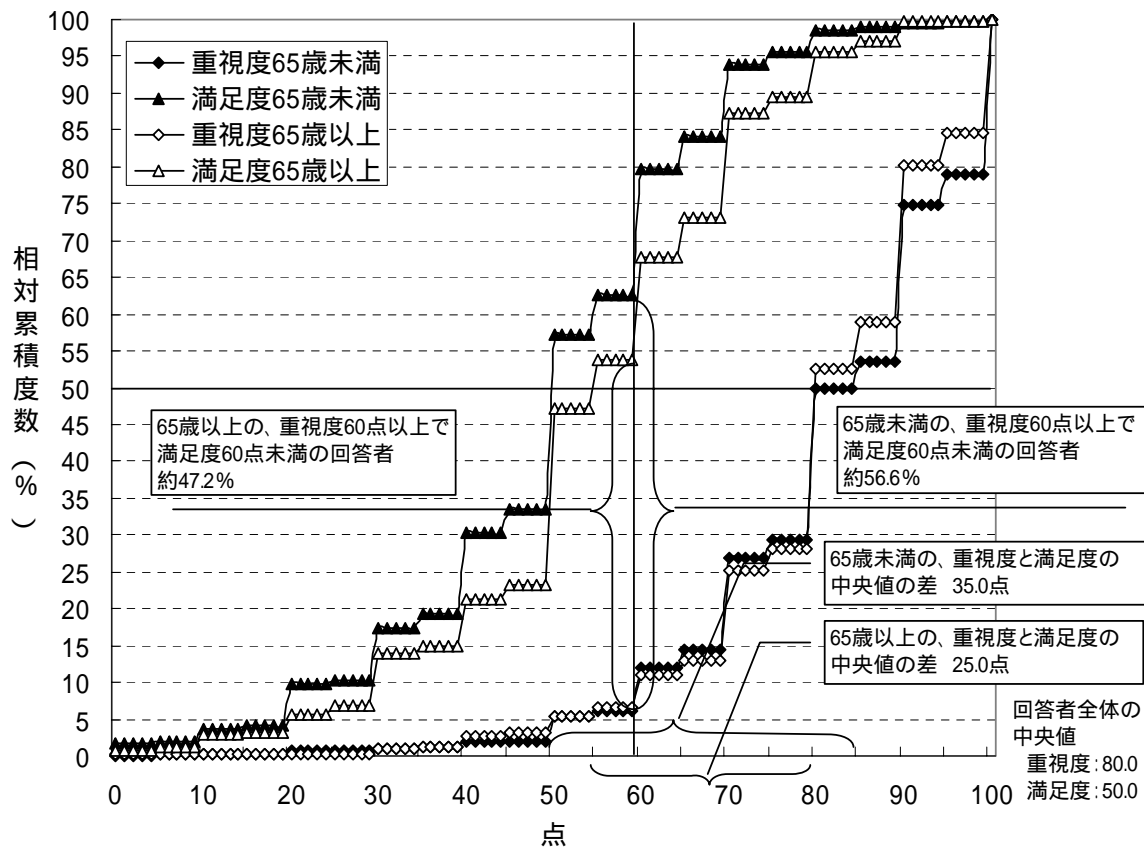
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	85.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	35.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	95.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	30.0	35.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0 (94.)	6.6 (93.4)
満足度60点未満の割合	62.6	53.8
要検討領域にある回答者全体の割合	56.6	47.2

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	1212	1191
	欠損値	28	49
平均値		82.03	49.88
平均値の標準誤差		.448	.508
中央値		85.00	50.00
最頻値		90	50
標準偏差		15.592	17.547
分散		243.107	307.885
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	85.00	50.00
	60	90.00	55.00
	75	95.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策3重視度	政策3満足度
度数	有効	424	413
	欠損値	33	44
平均値		81.31	54.77
平均値の標準誤差		.712	.884
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.655	17.974
分散		214.772	323.066
範囲		75	100
最小値		25	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(87.5点)が回答者全体(80.0点)よりも7.5ポイント高く、仙台圏域(85.0点)、石巻圏域(85.0点)の2圏域が5.0ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(7.5点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、登米圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(7.5点)が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙台圏域(90.0点)、仙南圏域(90.0点)、栗原圏域(90.0点)、気仙沼・本吉圏域(90.0点)の4圏域が回答者全体(85.0点)よりも5ポイント高く、登米圏域(77.5点)が7.5ポイント、石巻圏域(70.0点)が15ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、石巻圏域(10.0点)の2圏域が回答者全体(8.1点)よりも大きく、仙台圏域(7.5点)、大崎圏域(7.5点)、栗原圏域(7.5点)、登米圏域(6.9点)、仙南圏域(5.0点)の5圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)、栗原圏域(17.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、石巻圏域(8.1点)、登米圏域(6.9点)、大崎圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	85.0	80.0	80.0	87.5	80.0	85.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	35.0	30.0	25.0	37.5	30.0	35.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	40.0	30.0	30.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	90.0	95.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	35.0	25.0	35.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	12.5	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	85.0	90.0	90.0	85.0	90.0	77.5	70.0	90.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	35.0	40.0	40.0	25.0	40.0	17.5	20.0	40.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	75.0	80.0	80.0	75.0	80.0	71.3	65.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	30.0	55.0	45.0	35.0
	かい離	35.0	40.0	40.0	25.0	50.0	16.3	20.0	35.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	91.3	95.0	90.0	90.0	95.0	85.0	85.0	100.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	68.8	61.3	60.0
	かい離	31.3	35.0	30.0	30.0	30.0	16.3	23.8	40.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	8.1	7.5	5.0	7.5	7.5	6.9	10.0	15.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	5.0	17.5	6.9	8.1	12.5

4. 政策3の各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」(35.1%)である。

第2位は施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」(29.4%)である。

第3位は施策7「青少年の健全育成」(8.1%)である。

市町村職員では、

第1位は施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」(39.5%)である。

第2位は施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」(27.2%)である。

第3位は施策3「多様な保育サービスの充実」(10.8%)である。

学識者では、

第1位は施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」(33.3%)である。

第2位は施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」(27.5%)である。

第3位は施策3「多様な保育サービスの充実」(15.9%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第1位から第2位まで、回答者全体と同じである。

第3位は、男性では施策7「青少年の健全育成」、女性では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」である。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分別では、第1位から第2位まで、回答者全体と同じである。

第3位は、65歳未満では施策7「青少年の健全育成」、65歳以上では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」である。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の6圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」、気仙沼・本吉圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」である。

第2位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の6圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」、気仙沼・本吉圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」である。

第3位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の4圏域では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」、仙台、仙南の2圏域では施策7「青少年の健全育成」、石巻圏域では施策6「子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実」である。

市町村職員では、

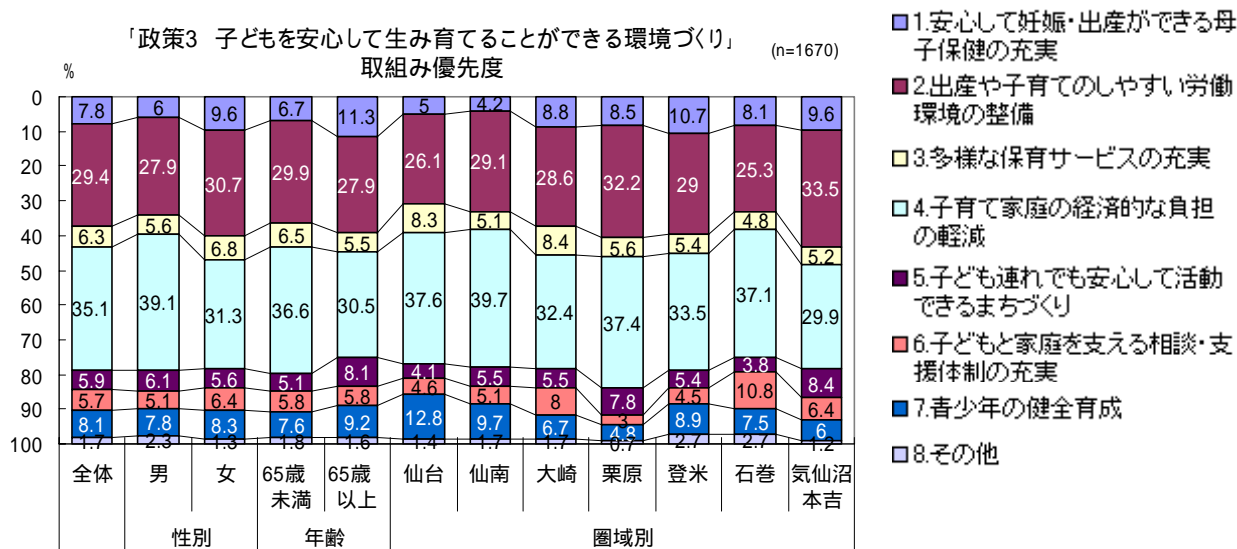
第1位は、仙台、仙南、大崎、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」、栗原圏域では施策1「安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実」と施策3「多様な保育サービスの充実」、石巻圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」である（栗原圏域では施策1と施策3が共に第1位になっている）。

第2位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の4圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」、登米圏域では施策3「多様な保育サービスの充実」、石巻圏域では施策2「出産や子育てのしやすい労働環境の整備」と施策6「子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実」と施策7「青少年の健全育成」である（石巻圏域では施策2と施策6 施策7が共に第2位になっている）。

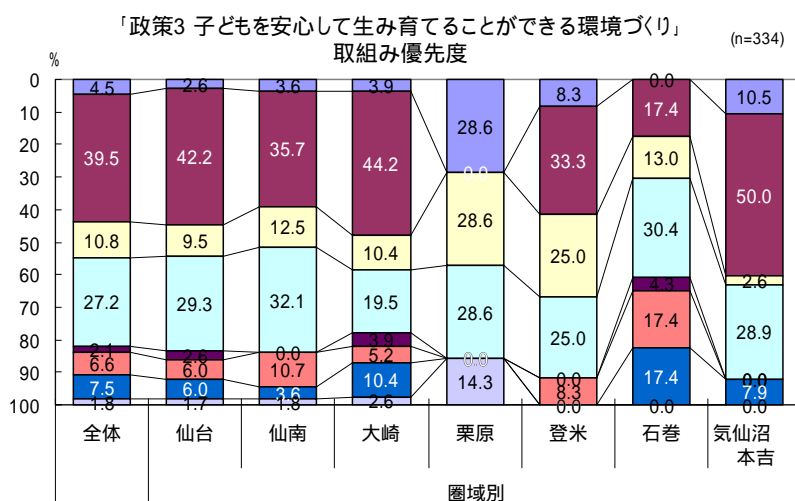
第3位は、仙台、仙南、大崎の3圏域では施策3「多様な保育サービスの充実」、栗原、登米の2圏域では施策4「子育て家庭の経済的な負担の軽減」、大崎圏域では施策7「青少年の健全育成」、気仙沼・本吉圏域では施策7「青少年の健全育成」である（大崎圏域では施策3と施策7が共に第3位になっている）。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

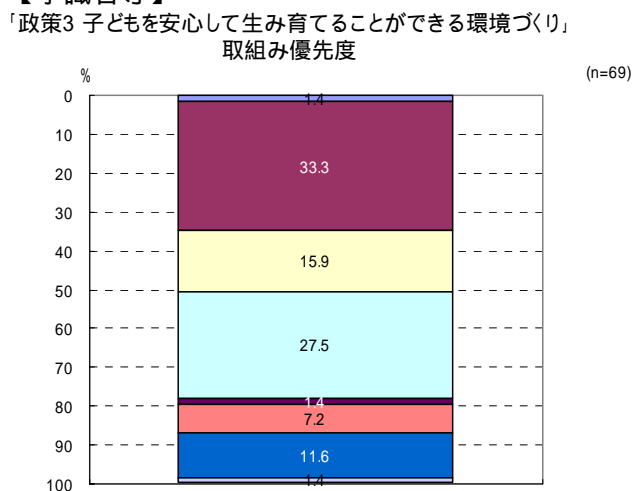
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実	7.8	6.0	9.6	6.7	11.3	5.0	4.2	8.8	8.5	10.7	8.1	9.6
2	2.出産や子育てのしやすい労働環境の整備	29.4	27.9	30.7	29.9	27.9	26.1	29.1	28.6	32.2	29.0	25.3	33.5
3	3.多様な保育サービスの充実	6.3	5.6	6.8	6.5	5.5	8.3	5.1	8.4	5.6	5.4	4.8	5.2
4	4.子育て家庭の経済的な負担の軽減	35.1	39.1	31.3	36.6	30.5	37.6	39.7	32.4	37.4	33.5	37.1	29.9
5	5.子ども連れでも安心して活動できるまちづくり	5.9	6.1	5.6	5.1	8.1	4.1	5.5	5.5	7.8	5.4	3.8	8.4
6	6.子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	5.7	5.1	6.4	5.8	5.8	4.6	5.1	8.0	3.0	4.5	10.8	6.4
7	7.青少年の健全育成	8.1	7.8	8.3	7.6	9.2	12.8	9.7	6.7	4.8	8.9	7.5	6.0
8	8.その他	1.7	2.3	1.3	1.8	1.6	1.4	1.7	1.7	0.7	2.7	2.7	1.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実	4.5	2.6	3.6	3.9	28.6	8.3	0.0	10.5
2	2.出産や子育てのしやすい労働環境の整備	39.5	42.2	35.7	44.2	0.0	33.3	17.4	50.0
3	3.多様な保育サービスの充実	10.8	9.5	12.5	10.4	28.6	25.0	13.0	2.6
4	4.子育て家庭の経済的な負担の軽減	27.2	29.3	32.1	19.5	28.6	25.0	30.4	28.9
5	5.子ども連れでも安心して活動できるまちづくり	2.1	2.6	0.0	3.9	0.0	0.0	4.3	0.0
6	6.子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	6.6	6.0	10.7	5.2	0.0	8.3	17.4	0.0
7	7.青少年の健全育成	7.5	6.0	3.6	10.4	0.0	0.0	17.4	7.9
8	8.その他	1.8	1.7	1.8	2.6	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.安心して妊娠・出産ができる母子保健の充実	1.4
2	2.出産や子育てのしやすい労働環境の整備	33.3
3	3.多様な保育サービスの充実	15.9
4	4.子育て家庭の経済的な負担の軽減	27.5
5	5.子ども連れでも安心して活動できるまちづくり	1.4
6	6.子どもと家庭を支える相談・支援体制の充実	7.2
7	7.青少年の健全育成	11.6
8	8.その他	1.4

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」

政策4 「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」は、障害者や高齢者、妊婦や子どもをはじめ、だれもが不便を感じることなく安心して生活できる環境づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策4の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は39.6%、低認知度群は60.5%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性(42.8%)が女性(36.1%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(48.1%)が65歳未満(36.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域(46.5%)が、回答者全体と比較して6.9ポイント高い。

石巻圏域(34.2%)が、回答者全体と比較して5.4ポイント低い。

(%)

政策4 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.2	36.4	39.6	49.7	10.8	60.5	100.0

性別	男性	2.9	39.9	42.8	46.1	11.1	57.2	100.0
	女性	3.1	33.0	36.1	53.4	10.5	63.9	100.0
年齢別	65歳未満	2.5	33.8	36.3	51.9	11.8	63.7	100.0
	65歳以上	4.5	43.6	48.1	44.1	7.7	51.8	100.0

圏域別	仙台	1.9	41.9	43.8	45.1	11.2	56.3	100.0
	仙南	3.0	33.5	36.5	53.0	10.4	63.4	100.0
	大崎	4.4	42.1	46.5	42.5	11.0	53.5	100.0
	栗原	2.7	37.0	39.7	46.7	13.6	60.3	100.0
	登米	3.3	35.4	38.7	50.0	11.3	61.3	100.0
	石巻	4.3	29.9	34.2	56.5	9.2	65.7	100.0
	気山沼・本吉	1.6	34.4	36.0	55.3	8.6	63.9	100.0

有効回答者数 1,614 名

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は54.8%、低認知度群は45.2%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)が30.9ポイント、登米圏域(63.6%)が8.8ポイント高い。

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域(47.4%)が7.4ポイント、仙南圏域(49.1%)が5.7ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は66.1%、低認知度群は33.9%である。

(%)

政策4 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	4.0	50.8	54.8	40.0	5.2	45.2	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	53.4	57.7	35.3	6.9	42.2	100.0
	仙南	3.8	45.3	49.1	47.2	3.8	51.0	100.0
	大崎	6.9	47.2	54.1	41.7	4.2	45.9	100.0
	栗原	0.0	85.7	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	0.0	63.6	63.6	36.4	0.0	36.4	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	39.1	8.7	47.8	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	47.4	47.4	47.4	5.3	52.7	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	9.2	56.9	66.1	30.8	3.1	33.9	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策4の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は87.4%、低関心度群は12.6%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(90.5%)が男性(84.2%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(92.2%)が65歳未満(85.9%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策4 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	32.1	55.3	87.4	11.2	1.4	12.6	100.0

性別	男性	27.9	56.3	84.2	13.8	2.1	15.9	100.0
	女性	35.1	55.4	90.5	8.8	0.7	9.5	100.0
年齢別	65歳未満	25.5	60.4	85.9	12.8	1.3	14.1	100.0
	65歳以上	49.4	42.8	92.2	6.4	1.4	7.8	100.0

圏域別	仙台	34.6	56.2	90.8	8.8	0.5	9.3	100.0
	仙南	29.7	60.6	90.3	8.1	1.7	9.8	100.0
	大崎	31.8	55.1	86.9	11.9	1.3	13.2	100.0
	栗原	33.6	53.6	87.2	10.6	2.3	12.9	100.0
	登米	32.9	50.9	83.8	14.9	1.4	16.3	100.0
	石巻	26.2	58.8	85.0	13.9	1.1	15.0	100.0
	気山沼・本吉	31.2	56.4	87.6	11.2	1.2	12.4	100.0

有効回答者数 1,659 名

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は79.4%、低関心度群は20.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)では20.6ポイント、大崎圏域(86.5%)
では7.1ポイント高い。

石巻圏域(69.5%)では、回答者全体と比較して9.9ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は91.0%、低関心度群は9.0%である。

(%)

政策4 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心 がなかつた			
市町村職員全体	17.6	61.8	79.4	18.8	1.8	20.6	100.0	
圏 域 別	仙台	14.5	63.2	77.7	18.8	3.4	22.2	100.0
	仙南	30.9	45.5	76.4	21.8	1.8	23.6	100.0
	大崎	23.0	63.5	86.5	13.5	0.0	13.5	100.0
	栗原	14.3	85.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	9.1	72.7	81.8	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	13.0	56.5	69.5	30.4	0.0	30.4	100.0
	気山沼・本吉	5.3	71.1	76.4	21.1	2.6	23.7	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	35.8	55.2	91.0	9.0	0.0	9.0	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 67 名

3. 政策4の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は50.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は30.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より47.6%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は70.0点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は15.0点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より38.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は55.0点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は25.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より43.4%と推定できる。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.9	(89.1)
満足度 60点未満の割合		58.5
要検討領域にある回答者全体の割合		47.6

有効回答者数；重視度 1,657人、満足度 1,636人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	1657	1636
	欠損値	64	85
平均値		75.39	52.10
平均値の標準誤差		.383	.411
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.581	16.644
分散		242.755	277.013
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.8	(86.2)
満足度 60点未満の割合		52.3
要検討領域にある回答者全体の割合		38.5

有効回答者数；重視度 334人、満足度 329人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	334	329
	欠損値	4	9
平均値		71.03	54.24
平均値の標準誤差		.832	.868
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		15.213	15.750
分散		231.437	248.049
範囲		95	95
最小値		5	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	83.8	65.0	18.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.8	(91.2)
満足度 60点未満の割合		52.2
要検討領域にある回答者全体の割合		43.4

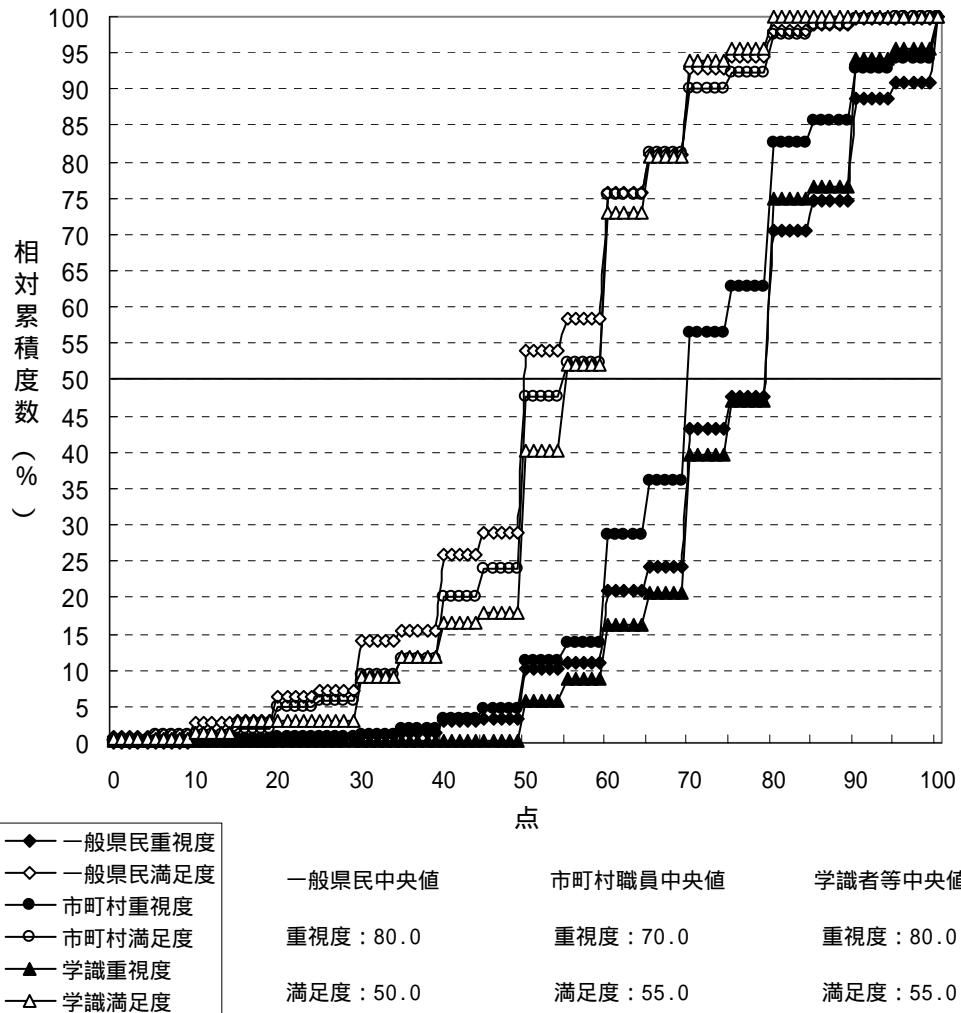
有効回答者数；重視度 68人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	68	67
	欠損値	1	2
平均値		76.03	54.93
平均値の標準誤差		1.520	1.729
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		12.535	14.155
分散		157.133	200.373
範囲		50	70
最小値		50	10
最大値		100	80
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	73.00	51.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	83.75	65.00

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」

「政策4 誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（80.0点）が男性（75.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、女性（52.5点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（27.5点）が男性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性（10.0点）が女性（7.5点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性48.8%、女性46.2%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

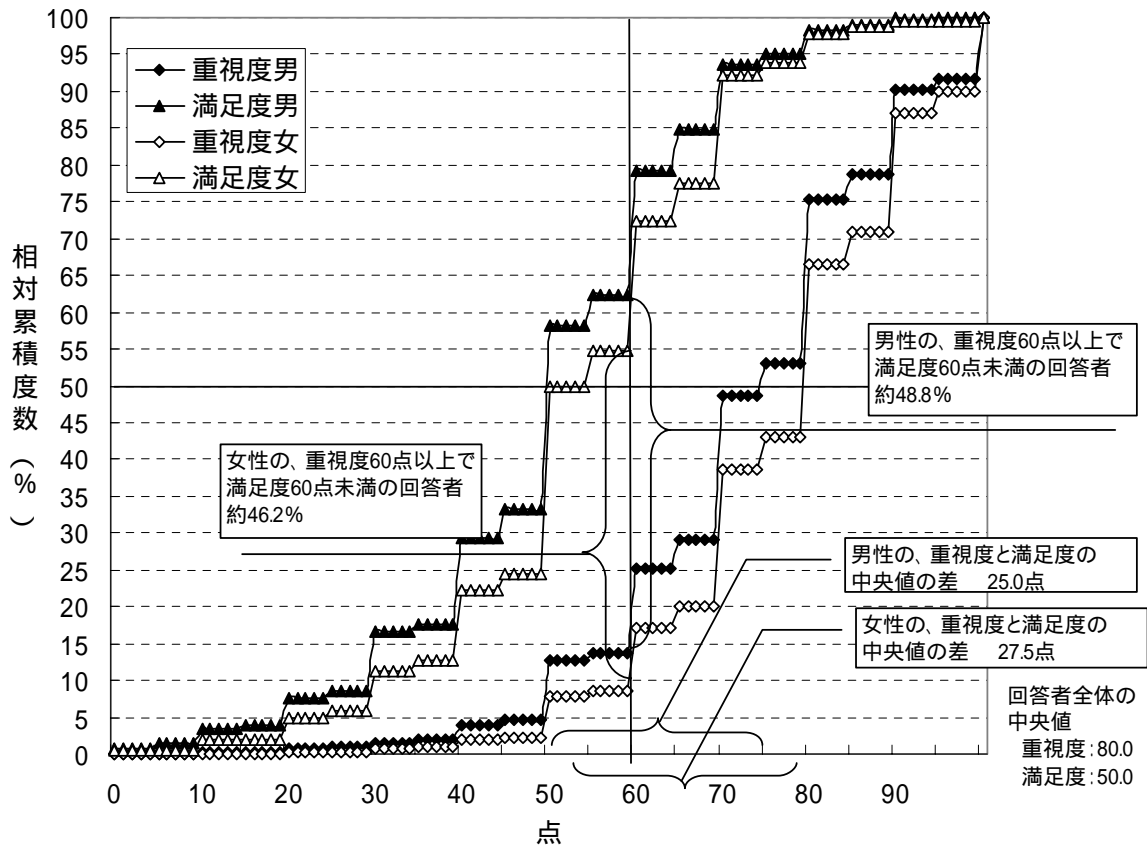
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	52.5
	かい離	30.0	25.0	27.5
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	60.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.6 (86.4)	8.5 (91.5)
満足度 60点未満の割合	62.4	54.7
要検討領域にある回答者全体の割合	48.8	46.2

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	777	769
	欠損値	26	34
平均値		73.35	50.32
平均値の標準誤差		.579	.609
中央値		75.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.142	16.896
分散		260.567	285.478
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	861	848
	欠損値	35	48
平均値		77.19	53.87
平均値の標準誤差		.504	.555
中央値		80.00	52.50
最頻値		80	50
標準偏差		14.803	16.157
分散		219.126	261.038
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	52.50
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満(50.0点)が65歳以上(55.0点)よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満(30.0点)が65歳以上(25.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満48.6%、65歳以上44.1%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

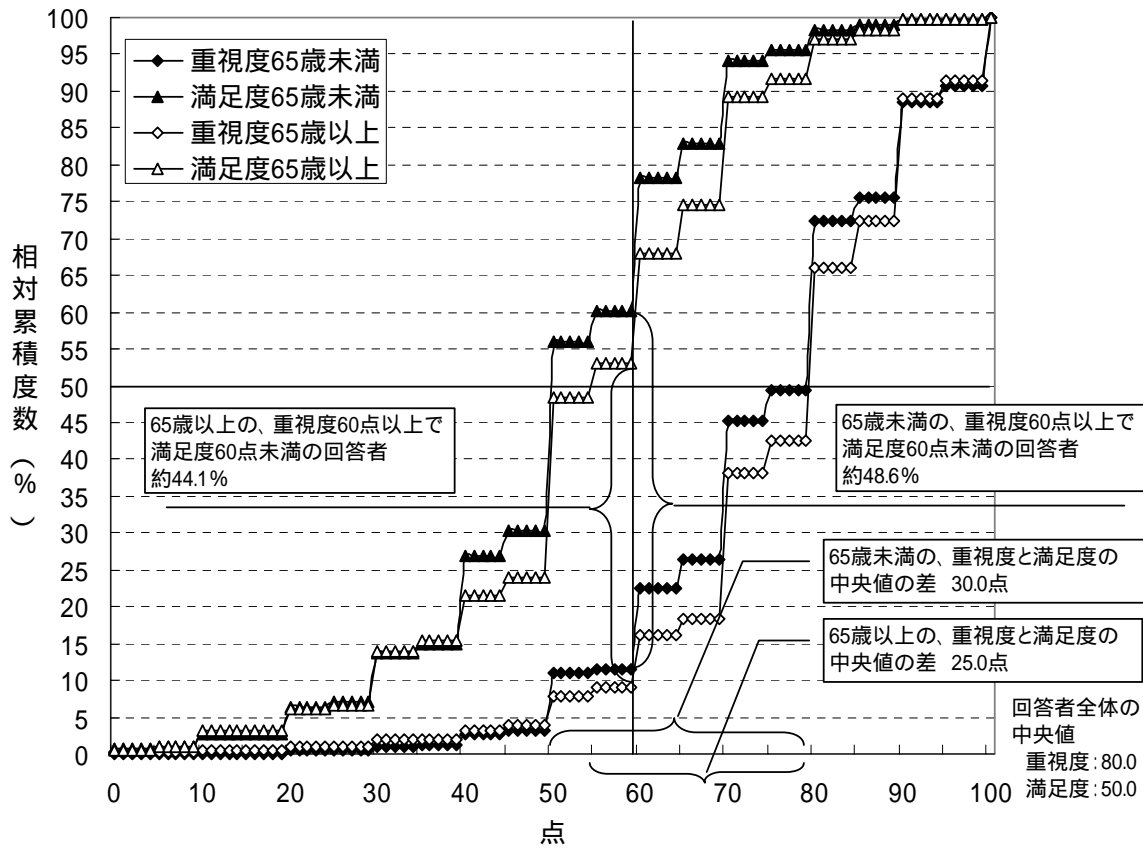
		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	85.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	70.0
	かい離	30.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	11.6 (88.4)	9.0 (91.)
満足度60点未満の割合	60.2	53.1
要検討領域にある回答者全体の割合	48.6	44.1

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	1213	1197
	欠損値	27	43
平均値		74.87	51.47
平均値の標準誤差		.447	.469
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.572	16.225
分散		242.496	263.263
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	85.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策4重視度	政策4満足度
度数	有効	423	418
	欠損値	34	39
平均値		76.76	54.23
平均値の標準誤差		.752	.857
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.456	17.520
分散		238.893	306.966
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(75.0点)が回答者全体(80.0点)よりも5ポイント低い。
満足度の中央値は、大崎圏域(55.0点)が回答者全体(50.0点)よりも5ポイント高い。
重視度の四分位偏差は、石巻圏域(10.6点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、気
仙沼・本吉圏域(7.5点)、登米圏域(6.3点)の2圏域が小さい。
満足度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登
米圏域(7.5点)が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、石巻圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。
満足度の中央値は、仙台圏域(60.0点)、大崎圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の3
圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、栗原圏域(50.0
点)、石巻圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の4圏域が5ポイント低い。
重視度の四分位偏差は、仙台圏域(8.8点)、登米圏域(8.8点)、石巻圏域(7.5点)の
3圏域が回答者全体(10.0点)よりも小さい。
満足度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、石巻圏域(10.0点)、大崎圏域(9.4点)、
登米圏域(8.1点)、仙台圏域(7.5点)、仙南圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(6.9点)
の7圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	77.5	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	30.0	25.0	27.5	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	68.8	65.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	45.0	45.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	30.0	23.8	20.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	81.3	86.3	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	70.0	60.0	60.0	65.0	60.0
	かい離	30.0	25.0	30.0	20.0	30.0	21.3	21.3	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	6.3	10.6	7.5
	満足度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	55.0	60.0	50.0	60.0	50.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	15.0	10.0	20.0	10.0	20.0	10.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	62.5	60.0	60.0	65.0	61.3	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	30.0	47.5	40.0	46.3
	かい離	10.0	12.5	15.0	10.0	35.0	13.8	20.0	13.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	78.8	75.0	80.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	68.8	60.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	11.3	25.0	15.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	8.8	10.0	10.0	10.0	8.8	7.5	10.0
	満足度	5.0	7.5	7.5	9.4	15.0	8.1	10.0	6.9

4. 政策4各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」(65.5%)である。

第2位は施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」(12.6%)である。

第3位は施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」(9.7%)である。

市町村職員では、

第1位は施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」(62.2%)である。

第2位は施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」(14.7%)である。

第3位は施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」(10.8%)である。

学識者では、

第1位は施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」(61.8%)である。

第2位は施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」(20.6%)である。

第3位は施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」(10.3%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第1位から第2位まで、回答者全体と同じである。

第3位は、男性では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」、女性では施策5「バリアフリー等を進める専門家,NPO,ボランティアの育成」である。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分毎の各施策の優先度は、65歳未満65歳以上とも、回答者全体と同じである。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

圏域別

一般県民では、

第1位は、全圏域とも施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」である。

第2位は、仙台、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の6圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、仙南圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」である。

第3位は、仙台、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の5圏域では施策5「バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成」、仙南圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、大崎圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」である。

市町村職員では、

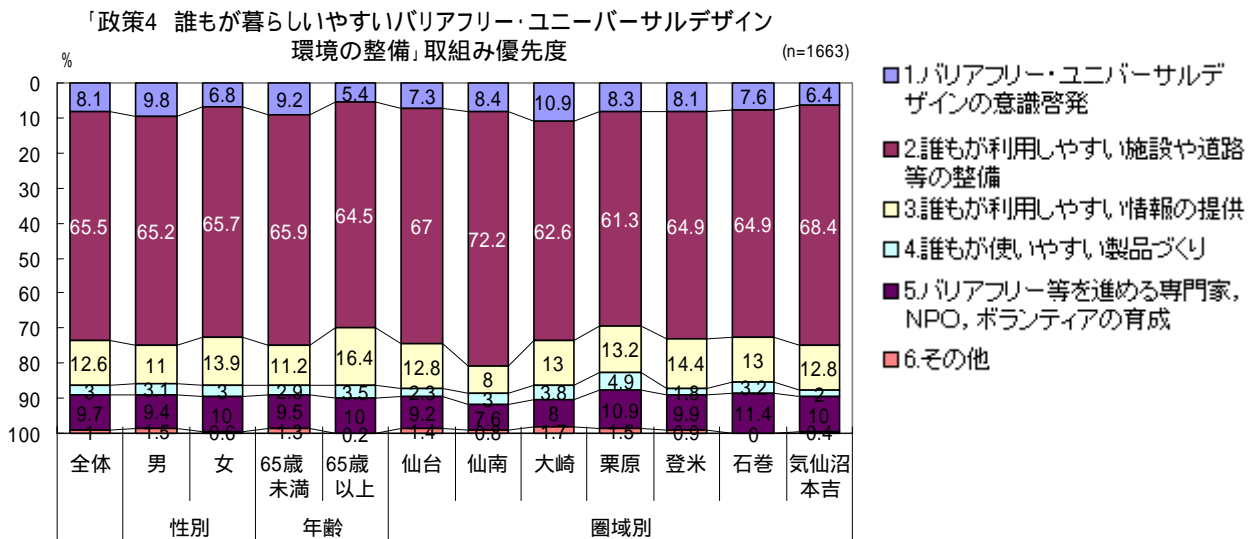
第1位は、全圏域とも施策2「誰もが利用しやすい施設や道路等の整備」である。

第2位は、仙台、仙南、大崎、栗原の4圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」、石巻、気仙沼・本吉の2圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、登米圏域では施策5「バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成」である。

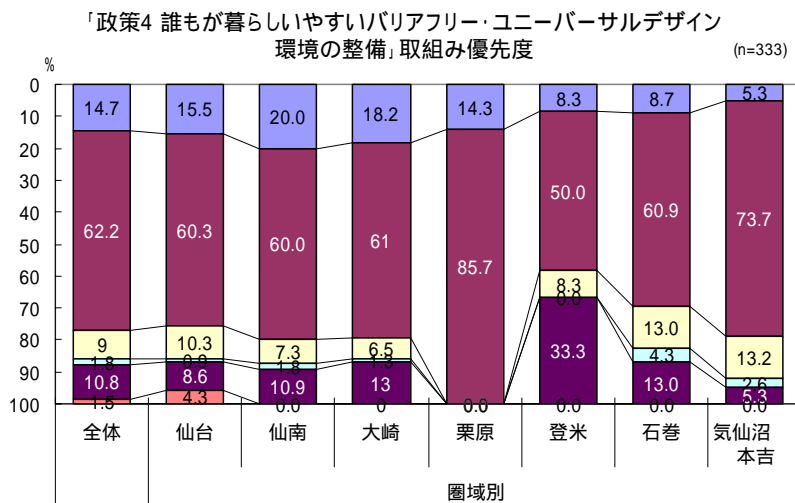
第3位は、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の4圏域では施策5「バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成」、仙台、栗原、登米の3圏域では施策3「誰もが利用しやすい情報の提供」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策1「バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発」である（登米圏域では施策1と施策3が、気仙沼・本吉圏域では施策1と施策5が共に第3位になっている）。

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備」

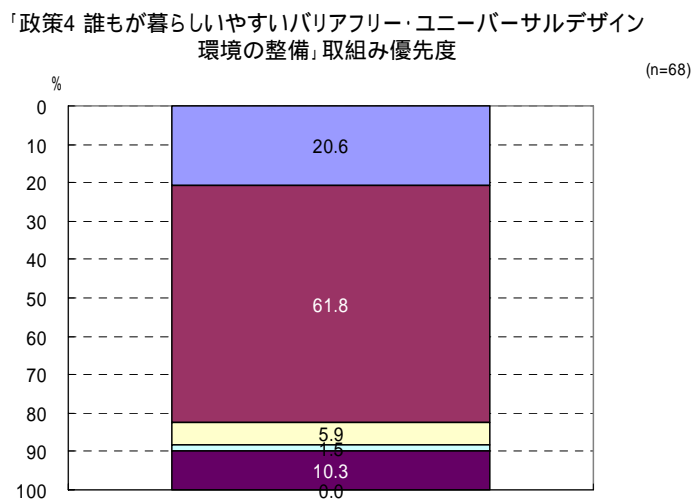
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	8.1	9.8	6.8	9.2	5.4	7.3	8.4	10.9	8.3	8.1	7.6	6.4
2	2.誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	65.5	65.2	65.7	65.9	64.5	67.0	72.2	62.6	61.3	64.9	64.9	68.4
3	3.誰もが利用しやすい情報の提供	12.6	11.0	13.9	11.2	16.4	12.8	8.0	13.0	13.2	14.4	13.0	12.8
4	4.誰もが使いやすい製品づくり	3.0	3.1	3.0	2.9	3.5	2.3	3.0	3.8	4.9	1.8	3.2	2.0
5	5.バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成	9.7	9.4	10.0	9.5	10.0	9.2	7.6	8.0	10.9	9.9	11.4	10.0
6	6.その他	1.0	1.5	0.6	1.3	0.2	1.4	0.8	1.7	1.5	0.9	0.0	0.4

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	14.7	15.5	20.0	18.2	14.3	8.3	8.7	5.3
2	2.誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	62.2	60.3	60.0	61.0	85.7	50.0	60.9	73.7
3	3.誰もが利用しやすい情報の提供	9.0	10.3	7.3	6.5	0.0	8.3	13.0	13.2
4	4.誰もが使いやすい製品づくり	1.8	0.9	1.8	1.3	0.0	0.0	4.3	2.6
5	5.バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成	10.8	8.6	10.9	13.0	0.0	33.3	13.0	5.3
6	6.その他	1.5	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識啓発	20.6
2	2.誰もが利用しやすい施設や道路等の整備	61.8
3	3.誰もが利用しやすい情報の提供	5.9
4	4.誰もが使いやすい製品づくり	1.5
5	5.バリアフリー等を進める専門家、NPO、ボランティアの育成	10.3
6	6.その他	0.0

政策4「誰もが暮らしやすいバリアフリー
・ユニバーサルデザイン環境の整備」

政策5 「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」は、健康が日々の豊かな生活のみなもとであることから、一人ひとりが生涯にわたって質の高い生活を送れるよう、ふだんの健康づくりや病気の予防、個々人の状態に応じた健康の増進・維持を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策5の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は43.0%、低認知度群は57.1%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、女性(45.8%)が男性(40.1%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(59.8%)が65歳未満(37.3%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

栗原圏域(49.0%)が、回答者全体と比較して6.0ポイント高い。

石巻圏域(36.5%)が、回答者全体と比較して6.5ポイント低い。

(%)

政策5 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.8	38.2	43.0	47.7	9.4	57.1	100.0

性別	男性	3.7	36.4	40.1	49.9	10.1	60.0	100.0
	女性	5.7	40.1	45.8	45.9	8.3	54.2	100.0
年齢別	65歳未満	3.4	33.9	37.3	52.1	10.6	62.7	100.0
	65歳以上	8.7	51.1	59.8	35.4	4.8	40.2	100.0

圏域別	仙台	4.2	36.7	40.9	47.0	12.1	59.1	100.0
	仙南	4.3	35.2	39.5	52.2	8.3	60.5	100.0
	大崎	5.3	37.9	43.2	46.7	10.1	56.8	100.0
	栗原	5.4	43.6	49.0	41.7	9.3	51.0	100.0
	登米	8.7	37.0	45.7	47.5	6.8	54.3	100.0
	石巻	2.8	33.7	36.5	53.0	10.5	63.5	100.0
	気仙沼・本吉	2.9	42.3	45.2	46.5	8.3	54.8	100.0

有効回答者数 1,618 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 57.1%、低認知度群は 42.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）が 42.9 ポイント、大崎圏域（68.0%）が 10.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域（44.5%）が 12.6 ポイント、登米圏域（45.5%）が 11.6 ポイント、石巻圏域（52.1%）が 5.0 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 54.7%、低認知度群は 45.3%である。

(%)

政策5 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	7.4	49.7	57.1	39.5	3.4	42.9	100.0	
圏 域 別	仙台	8.0	46.9	54.9	38.1	7.1	45.2	100.0
	仙南	9.3	35.2	44.5	53.7	1.9	55.6	100.0
	大崎	9.3	58.7	68.0	29.3	2.7	32.0	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	9.1	36.4	45.5	54.5	0.0	54.5	100.0
	石巻	4.3	47.8	52.1	47.8	0.0	47.8	100.0
	気山沼・本吉	0.0	58.3	58.3	41.7	0.0	41.7	100.0

有効回答者数 324 名

学識者等全体	6.3	48.4	54.7	37.5	7.8	45.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 64 名

2. 政策5の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は89.9%、低関心度群は10.1%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(92.2%)が男性(87.4%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(96.0%)が65歳未満(87.8%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策5 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	42.3	47.6	89.9	9.0	1.1	10.1	100.0

性別	男性	41.7	45.7	87.4	11.2	1.3	12.5	100.0
	女性	42.9	49.3	92.2	7.0	0.8	7.8	100.0
年齢別	65歳未満	35.7	52.1	87.8	11.0	1.2	12.2	100.0
	65歳以上	61.4	34.6	96.0	3.3	0.7	4.0	100.0

圏域別	仙台	45.0	46.3	91.3	7.8	0.9	8.7	100.0
	仙南	42.1	49.8	91.9	6.8	1.3	8.1	100.0
	大崎	41.0	47.9	88.9	9.4	1.7	11.1	100.0
	栗原	45.9	45.5	91.4	7.9	0.8	8.7	100.0
	登米	43.2	45.4	88.6	11.0	0.4	11.4	100.0
	石巻	35.3	52.9	88.2	11.2	0.5	11.7	100.0
	気山沼・本吉	41.4	47.0	88.4	10.0	1.6	11.6	100.0

有効回答者数 1,663 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 88.9%、低関心度群は 11.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（100.0%）では、回答者全体と比較して 11.1 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（82.6%）では 6.3 ポイント、登米圏域（83.3%）では 5.6 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 88.2%、低関心度群は 11.8%である。

(%)

政策5 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	34.4	54.5	88.9	10.2	0.9	11.1	100.0	
圏 域 別	仙台	28.0	59.3	87.3	11.0	1.7	12.7	100.0
	仙南	35.7	57.1	92.8	7.1	0.0	7.1	100.0
	大崎	39.5	51.3	90.8	7.9	1.3	9.2	100.0
	栗原	57.1	42.9	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	50.0	33.3	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	34.8	47.8	82.6	17.4	0.0	17.4	100.0
	気山沼・本吉	35.1	54.1	89.2	10.8	0.0	10.8	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	42.6	45.6	88.2	10.3	1.5	11.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

3. 政策5の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より41.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より36.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より34.2%と推定できる。

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.7	(91.3)
満足度 60点未満の割合		49.8
要検討領域にある回答者全体の割合		41.1

有効回答者数；重視度 1,661人、満足度 1,639人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	1661	1639
	欠損値	60	82
平均値		77.57	55.23
平均値の標準誤差		.379	.437
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.441	17.677
分散		238.417	312.478
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.3	(93.7)
満足度 60点未満の割合		42.5
要検討領域にある回答者全体の割合		36.2

有効回答者数；重視度 335人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	335	332
	欠損値	3	6
平均値		77.13	57.33
平均値の標準誤差		.800	.806
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		14.646	14.689
分散		214.518	215.758
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	75.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.4	(89.6)
満足度 60点未満の割合		44.6
要検討領域にある回答者全体の割合		34.2

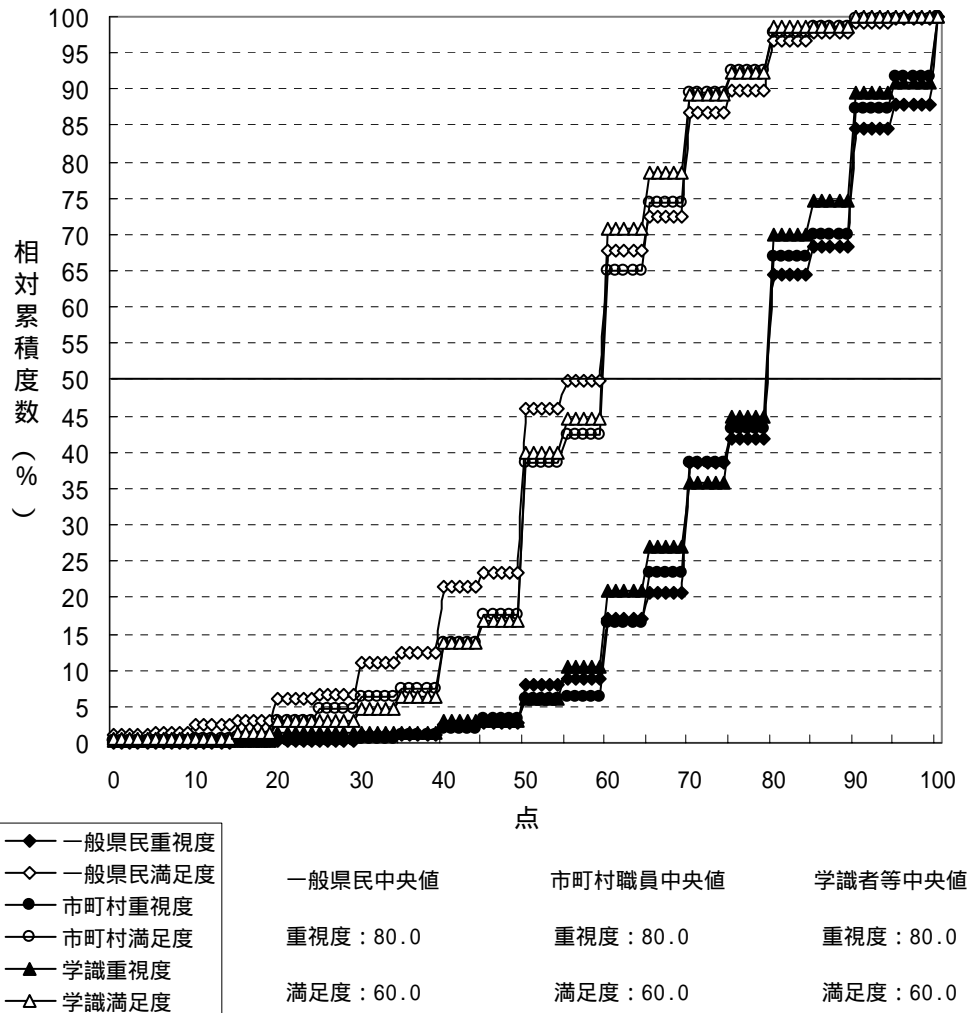
有効回答者数；重視度 67人、満足度 65人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	67	65
	欠損値	2	4
平均値		75.90	56.92
平均値の標準誤差		1.896	1.722
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		15.519	13.883
分散		240.853	192.728
範囲		80	75
最小値		20	15
最大値		100	90
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	75.00	52.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

「政策5 生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性(60.0点)が男性(50.0点)よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性(30.0点)が女性(20.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(12.5点)が女性(10.0点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性44.0%、女性37.8%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

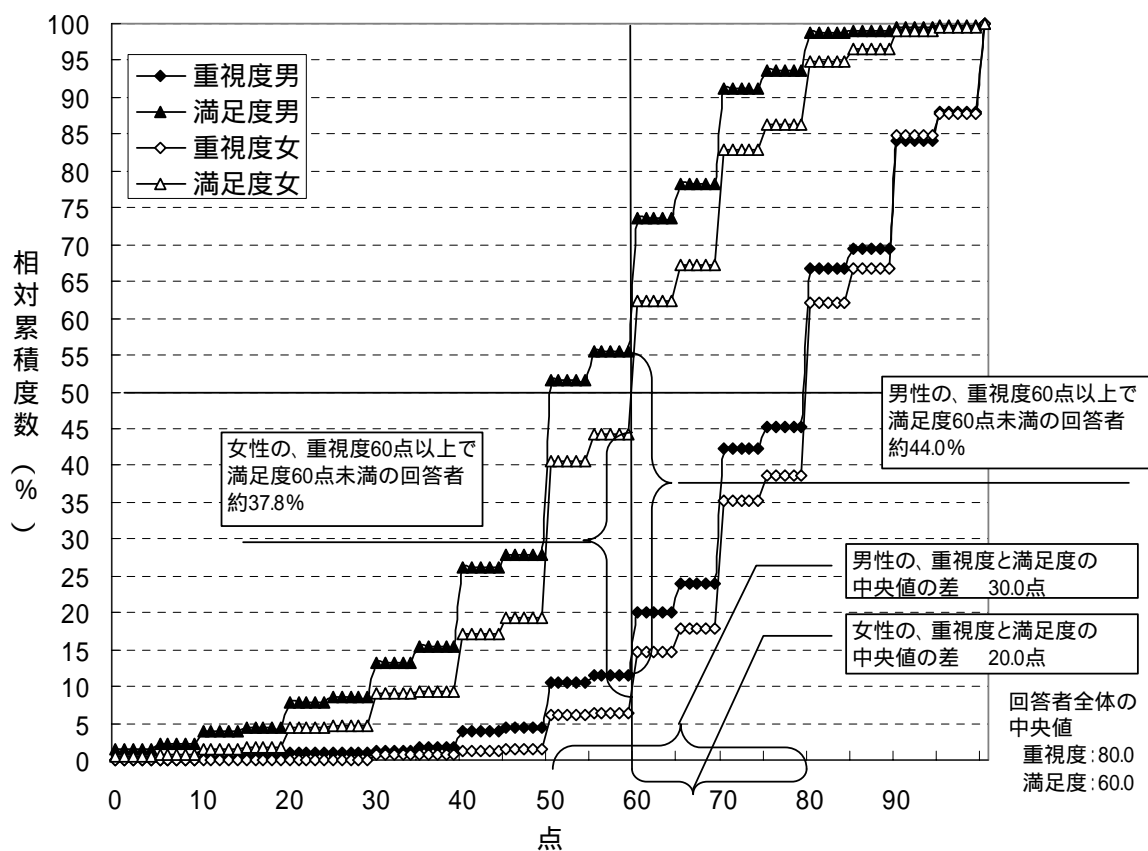
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	50.0	60.0
	かい離	20.0	30.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	11.4 (88.6)	6.4 (93.6)
満足度60点未満の割合	55.4	44.2
要検討領域にある回答者全体の割合	44.0	37.8

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	780	772
	欠損値	23	31
平均値		76.23	52.43
平均値の標準誤差		.596	.637
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.639	17.705
分散		276.853	313.451
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	861	848
	欠損値	35	48
平均値		78.81	57.92
平均値の標準誤差		.486	.591
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.271	17.204
分散		203.668	295.987
範囲		70	100
最小値		30	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（55.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（25.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 42.3%、65 歳以上 36.9%と推定できる。

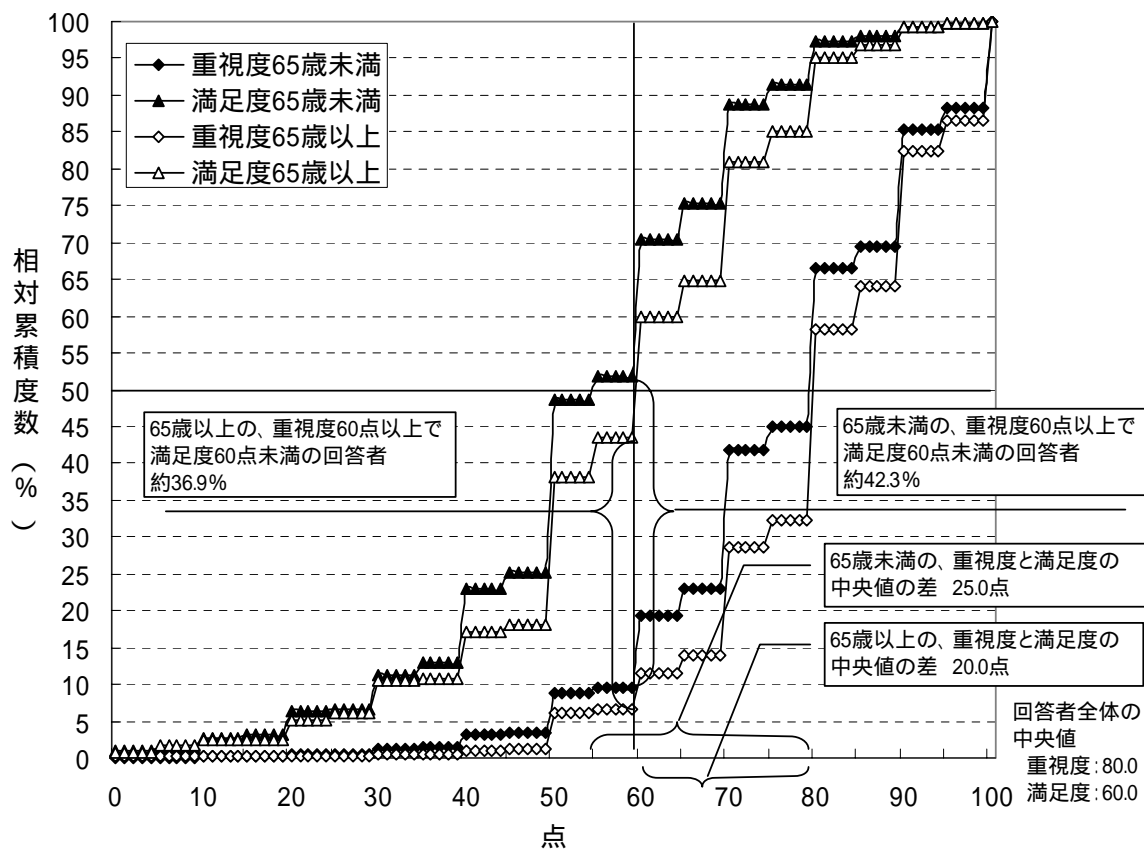
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	9.5 (90.5)	6.7 (93.3)
満足度 60 点未満の割合	51.8	43.6
要検討領域にある回答者全体の割合	42.3	36.9

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	1209	1198
	欠損値	31	42
平均値		76.60	54.29
平均値の標準誤差		.457	.502
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.894	17.385
分散		252.623	302.253
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策5重視度	政策5満足度
度数	有効	430	420
	欠損値	27	37
平均値		80.35	58.07
平均値の標準誤差		.671	.880
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		13.918	18.035
分散		193.701	325.269
範囲		70	100
最小値		30	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	63.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(80.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。
満足度の中央値は、仙台圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント低く、仙南圏域(55.0点)、気仙沼・本吉圏域(55.0点)の2圏域が5ポイント低い。
重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。
満足度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)、栗原圏域(11.9点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0点)が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、登米圏域(85.0点)が5ポイント高い。
満足度の中央値は、登米圏域(65.0点)が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(55.0点)が5ポイント低い。
重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、登米圏域(14.4点)、仙台圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)の4圏域が回答者全体(10.0点)より大きく、栗原圏域(7.5点)が小さい。
満足度の四分位偏差は、石巻圏域(17.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(8.8点)、仙台圏域(7.5点)、気仙沼・本吉圏域(6.3点)、仙南圏域(5.0点)、栗原圏域(5.0点)の5圏域が小さい。

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0
	かい離	20.0	30.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	45.0	50.0	46.3	50.0	50.0	45.0
	かい離	20.0	30.0	25.0	20.0	23.8	20.0	15.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0
	かい離	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0	10.0	11.9	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	57.5	60.0	60.0	65.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	22.5	20.0	30.0	20.0	25.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	75.0	66.3	65.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0	52.5	30.0	50.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	20.0	15.0	13.8	35.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	95.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	60.0	70.0	70.0	70.0	65.0	62.5
	かい離	20.0	25.0	30.0	20.0	20.0	25.0	25.0	27.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0	10.0	7.5	14.4	12.5	15.0
	満足度	10.0	7.5	5.0	10.0	5.0	8.8	17.5	6.3

4. 政策5各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策2「生活習慣病の早期発見と予防」(44.2%)である。

第2位は施策1「健康づくりに関する意識の向上」(34.2%)である。

第3位は施策6「地域リハビリテーションサービスの提供」(10.8%)である。

市町村職員では、

第1位は施策1「健康づくりに関する意識の向上」(43.2%)である。

第2位は施策2「生活習慣病の早期発見と予防」(40.2%)である。

第3位は施策6「地域リハビリテーションサービスの提供」(8.6%)である。

学識者では、

第1位は施策1「健康づくりに関する意識の向上」(35.3%)と施策2「生活習慣病の早期発見と予防」(35.3%)である(施策1と施策2が共に第1位になっている)。

第3位は施策6「地域リハビリテーションサービスの提供」(16.2%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分毎の各施策の優先度は、65歳未満65歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

圏域別毎の各施策の優先度は、全圏域とも、回答者全体と同じである。

市町村職員では、

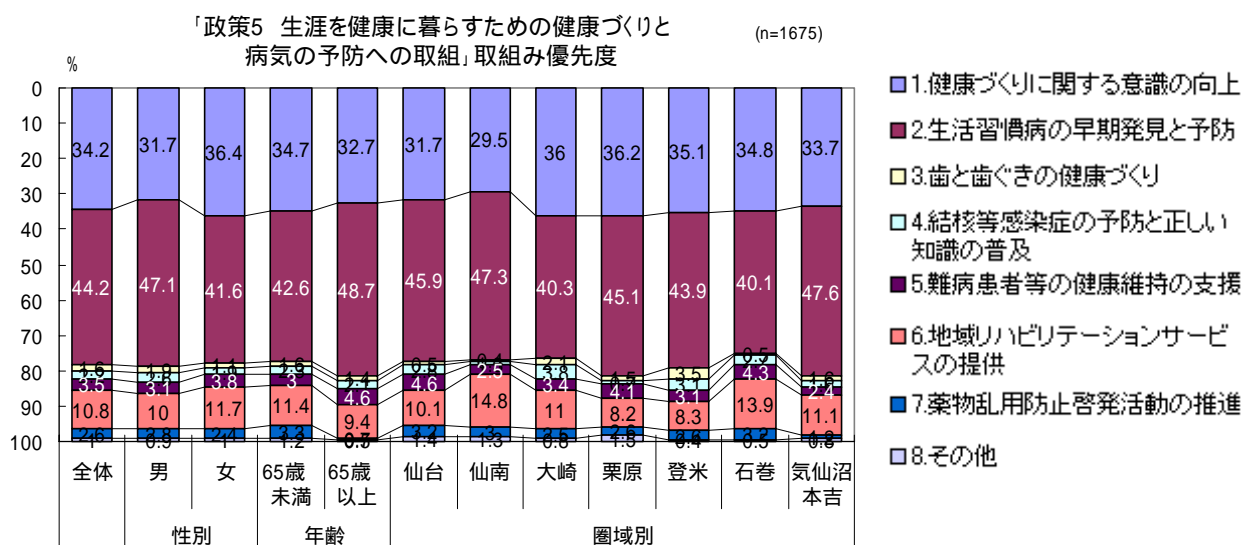
第1位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の4圏域では施策1「健康づくりに関する意識の向上」、栗原、登米、石巻の3圏域では施策2「生活習慣病の早期発見と予防」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 2「生活習慣病の早期発見と予防」、栗原、登米、石巻の 3 圏域では施策 1「健康づくりに関する意識の向上」である。

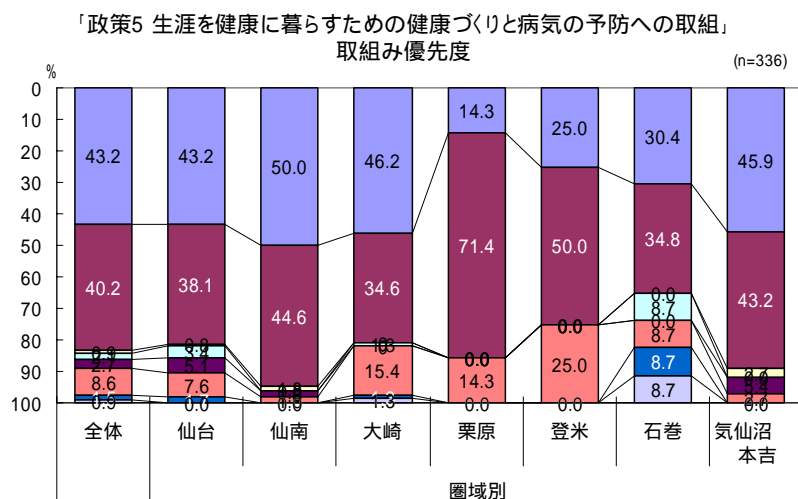
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米の 5 圏域では施策 6「地域リハビリテーションサービスの提供」、仙南、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5「難病患者等の健康維持の支援」、仙南圏域では施策 3「歯と歯ぐきの健康づくり」、石巻圏域では施策 4「結核等感染症の予防と正しい知識の普及」である（仙南圏域では施策 3 と施策 5 と施策 6 が共に第 3 位になっている）

政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

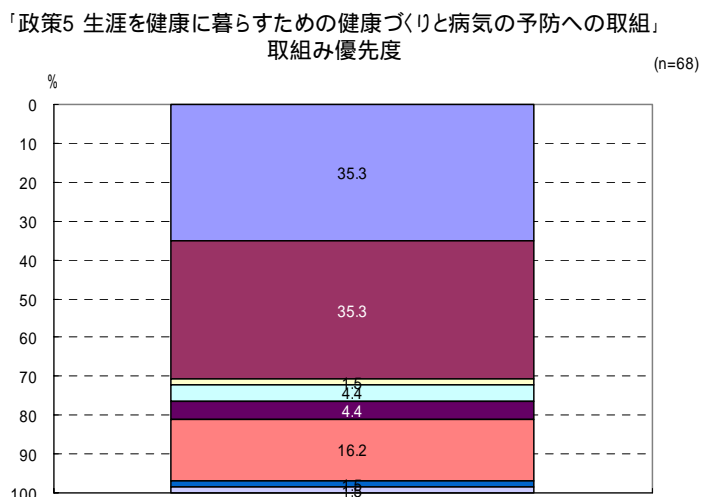
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.健康づくりに関する意識の向上	34.2	31.7	36.4	34.7	32.7	31.7	29.5	36.0	36.2	35.1	34.8	33.7
2	2.生活習慣病の早期発見と予防	44.2	47.1	41.6	42.6	48.7	45.9	47.3	40.3	45.1	43.9	40.1	47.6
3	3.歯と歯ぐきの健康づくり	1.6	1.9	1.1	1.6	1.4	0.5	0.4	2.1	1.5	3.5	0.5	1.6
4	4.結核等感染症の予防と正しい知識の普及	2.2	2.6	1.9	2.3	2.1	2.8	1.3	3.8	0.7	3.1	2.7	1.6
5	5.難病患者等の健康維持の支援	3.5	3.1	3.8	3.0	4.6	4.6	2.5	3.4	4.1	3.1	4.3	2.4
6	6.地域リハビリテーションサービスの提供	10.8	10.0	11.7	11.4	9.4	10.1	14.8	11.0	8.2	8.3	13.9	11.1
7	7.薬物乱用防止啓発活動の推進	2.6	2.8	2.4	3.3	0.7	3.2	3.0	2.5	2.6	2.6	3.2	1.2
8	8.その他	1.0	0.9	1.0	1.2	0.5	1.4	1.3	0.8	1.5	0.4	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.健康づくりに関する意識の向上	43.2	43.2	50.0	46.2	14.3	25.0	30.4	45.9
2	2.生活習慣病の早期発見と予防	40.2	38.1	44.6	34.6	71.4	50.0	34.8	43.2
3	3.歯と歯ぐきの健康づくり	0.9	0.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
4	4.結核等感染症の予防と正しい知識の普及	2.1	3.4	0.0	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0
5	5.難病患者等の健康維持の支援	2.7	5.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4
6	6.地域リハビリテーションサービスの提供	8.6	7.6	1.8	15.4	14.3	25.0	8.7	2.7
7	7.薬物乱用防止啓発活動の推進	1.5	1.7	0.0	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0
8	8.その他	0.9	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.健康づくりに関する意識の向上	35.3
2	2.生活習慣病の早期発見と予防	35.3
3	3.歯と歯ぐきの健康づくり	1.5
4	4.結核等感染症の予防と正しい知識の普及	4.4
5	5.難病患者等の健康維持の支援	4.4
6	6.地域リハビリテーションサービスの提供	16.2
7	7.薬物乱用防止啓発活動の推進	1.5
8	8.その他	1.5

政策 5 「生涯を健康に暮らすための
健康づくりと病気の予防への取組」

政策6 「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」は、犯罪等の予防、病気や事故への対応、食品の安全確保対策等が適切に実施され、だれもが安心して生活できる安全な社会環境の実現を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策6の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は44.4%、低認知度群は55.6%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性(45.0%)が女性(43.8%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(57.6%)が65歳未満(39.9%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域(49.8%)が、回答者全体と比較して5.4ポイント高い。

(%)

政策6 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった		
一般県民全体	3.3	41.1	44.4	48.2	7.4	55.6	100.0

性別	男性	3.2	41.8	45.0	47.7	7.3	55.0	100.0
	女性	3.4	40.4	43.8	49.0	7.1	56.1	100.0
年齢別	65歳未満	2.3	37.6	39.9	52.0	8.1	60.1	100.0
	65歳以上	6.5	51.1	57.6	37.9	4.5	42.4	100.0

圏域別	仙台	1.9	41.6	43.5	47.8	8.6	56.4	100.0
	仙南	2.6	38.4	41.0	53.4	5.6	59.0	100.0
	大崎	2.6	47.2	49.8	41.0	9.2	50.2	100.0
	栗原	5.0	42.0	47.0	45.8	7.3	53.1	100.0
	登米	6.2	39.8	46.0	47.4	6.6	54.0	100.0
	石巻	3.8	37.2	41.0	53.6	5.5	59.1	100.0
	気山沼・本吉	1.6	41.6	43.2	49.0	7.8	56.8	100.0

有効回答者数 1,616 名

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は61.2%、低認知度群は38.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)が38.8ポイント、登米圏域(83.4%)が22.2ポイント高い。

石巻圏域(54.5%)が、回答者全体と比較して6.7ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は66.6%、低認知度群は33.3%である。

(%)

政策6 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.0	55.2	61.2	36.7	2.2	38.9	100.0	
圏 域 別	仙台	5.5	51.4	56.9	39.4	3.7	43.1	100.0
	仙南	9.1	49.1	58.2	40.0	1.8	41.8	100.0
	大崎	6.7	54.7	61.4	37.3	1.3	38.6	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	4.5	50.0	54.5	40.9	4.5	45.4	100.0
	気山沼・本吉	0.0	62.9	62.9	37.1	0.0	37.1	100.0

有効回答者数 319 名

学識者等全体	7.9	58.7	66.6	33.3	0.0	33.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 63 名

2. 政策6の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は94.0%、低関心度群は6.0%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性(94.5%)が男性(93.5%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(96.8%)が65歳未満(93.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策6 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	42.5	51.5	94.0	5.0	1.0	6.0	100.0

性別	男性	42.6	50.9	93.5	5.2	1.3	6.5	100.0
	女性	41.7	52.8	94.5	4.9	0.6	5.5	100.0
年齢別	65歳未満	36.4	56.7	93.1	5.9	1.0	6.9	100.0
	65歳以上	58.4	38.4	96.8	2.6	0.7	3.3	100.0

圏域別	仙台	47.2	47.7	94.9	4.2	0.9	5.1	100.0
	仙南	42.5	54.6	97.1	2.1	0.8	2.9	100.0
	大崎	46.6	48.3	94.9	4.3	0.9	5.2	100.0
	栗原	47.4	48.1	95.5	3.3	1.1	4.4	100.0
	登米	37.6	54.4	92.0	7.5	0.4	7.9	100.0
	石巻	33.9	57.0	90.9	8.1	1.1	9.2	100.0
	気山沼・本吉	38.2	54.2	92.4	6.4	1.2	7.6	100.0

有効回答者数 1,669 名

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は94.9%、低関心度群は5.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)、登米圏域(100.0%)、石巻圏域(100.0%)
では共に5.1ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は95.4%、低関心度群は4.5%である。

(%)

政策6 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	36.7	58.2	94.9	4.8	0.3	5.1	100.0	
圏 域 別	仙台	32.2	61.7	93.9	5.2	0.9	6.1	100.0
	仙南	33.9	60.7	94.6	5.4	0.0	5.4	100.0
	大崎	40.3	53.2	93.5	6.5	0.0	6.5	100.0
	栗原	42.9	57.1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	66.7	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	39.1	60.9	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	気山沼・本吉	28.6	68.6	97.2	2.9	0.0	2.9	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	53.0	42.4	95.4	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 6 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 44.2%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 40.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 82.5 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 22.5 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 37.9%と推定できる。

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.9	(93.1)
満足度 60点未満の割合		51.1
要検討領域にある回答者全体の割合		44.2

有効回答者数；重視度 1,660人、満足度 1,633人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	1660	1633
	欠損値	61	88
平均値		80.40	54.84
平均値の標準誤差		.372	.429
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.154	17.321
分散		229.631	300.005
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.9	(96.1)
満足度 60点未満の割合		44.4
要検討領域にある回答者全体の割合		40.5

有効回答者数；重視度 334人、満足度 331人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	334	331
	欠損値	4	7
平均値		80.31	56.57
平均値の標準誤差		.687	.888
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50 ^a
標準偏差		12.555	16.151
分散		157.634	260.858
範囲		60	95
最小値		40	0
最大値		100	95
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	82.5	60.0	22.5
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	4.5	(95.5)
満足度 60点未満の割合		42.4
要検討領域にある回答者全体の割合		37.9

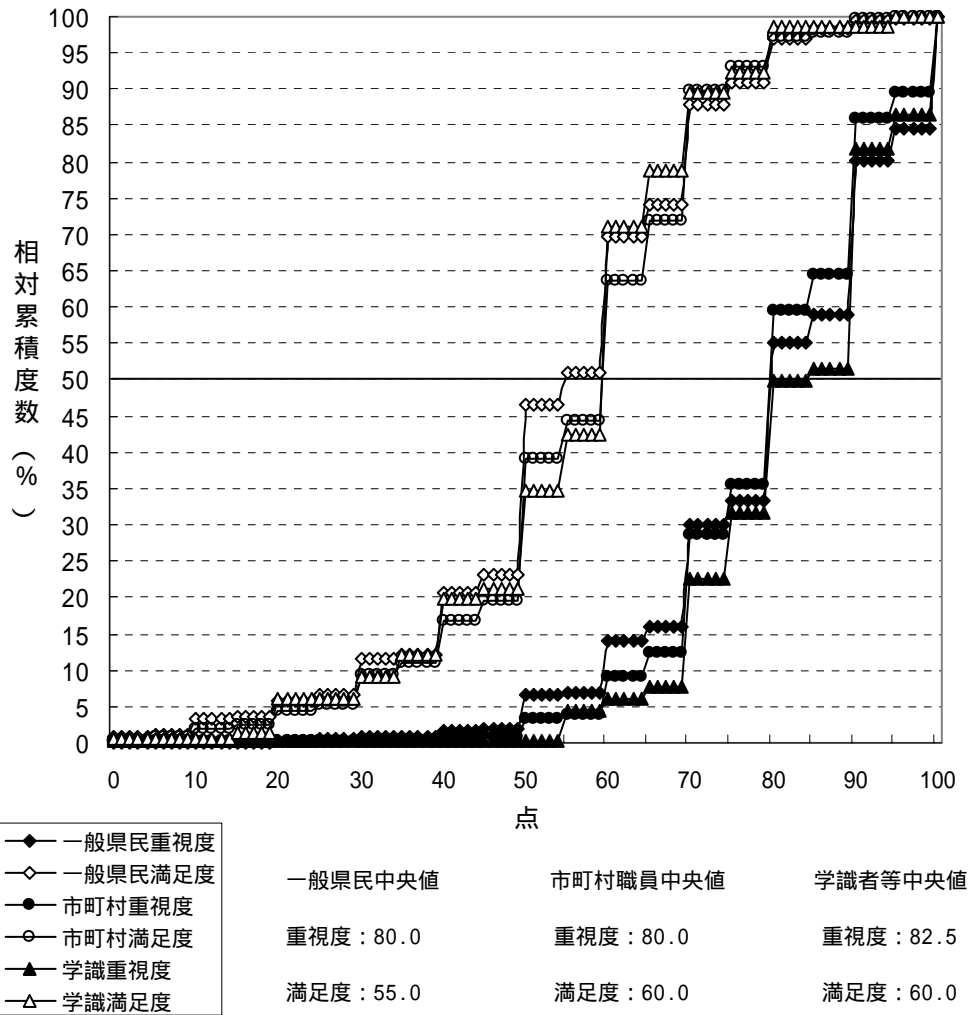
有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		82.88	55.98
平均値の標準誤差		1.480	1.941
中央値		82.50	60.00
最頻値		90	60
標準偏差		12.028	15.768
分散		144.662	248.631
範囲		45	80
最小値		55	15
最大値		100	95
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	82.50	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

「政策6 県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (60.0 点) が男性 (55.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (25.0 点) が女性 (20.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(11.3 点)が女性(10.0 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 45.4%、女性 42.7%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

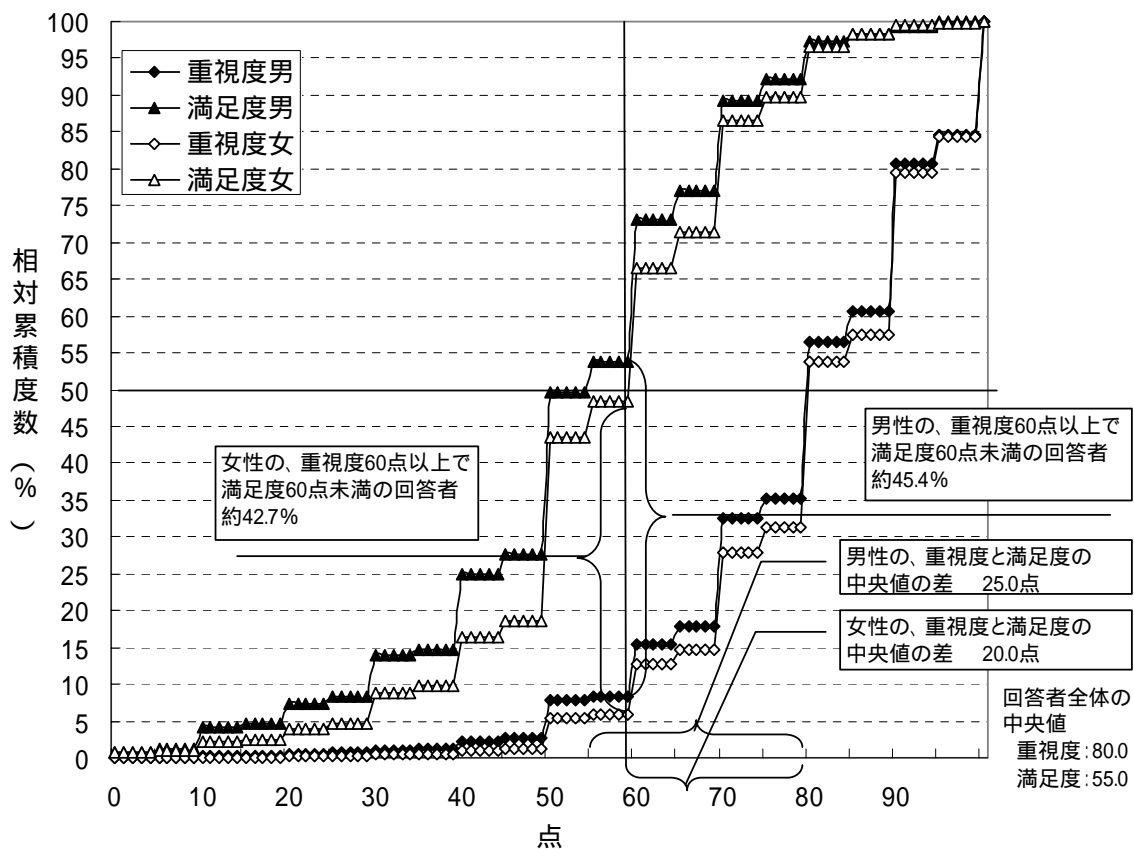
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	42.5	50.0
	かい離	20.0	27.5	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	11.3	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性		女性	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	8.3	(91.7)	5.8	(94.2)
満足度 60 点未満の割合	53.7		48.5	
要検討領域にある回答者全体の割合	45.4		42.7	

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	783	769
	欠損値	20	34
平均値		79.55	53.14
平均値の標準誤差		.570	.647
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.943	17.951
分散		254.174	322.254
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	42.50
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	858	846
	欠損値	38	50
平均値		81.16	56.54
平均値の標準誤差		.493	.566
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.441	16.468
分散		208.543	271.198
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（55.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（25.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（7.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 46.4%、65 歳以上 36.7%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

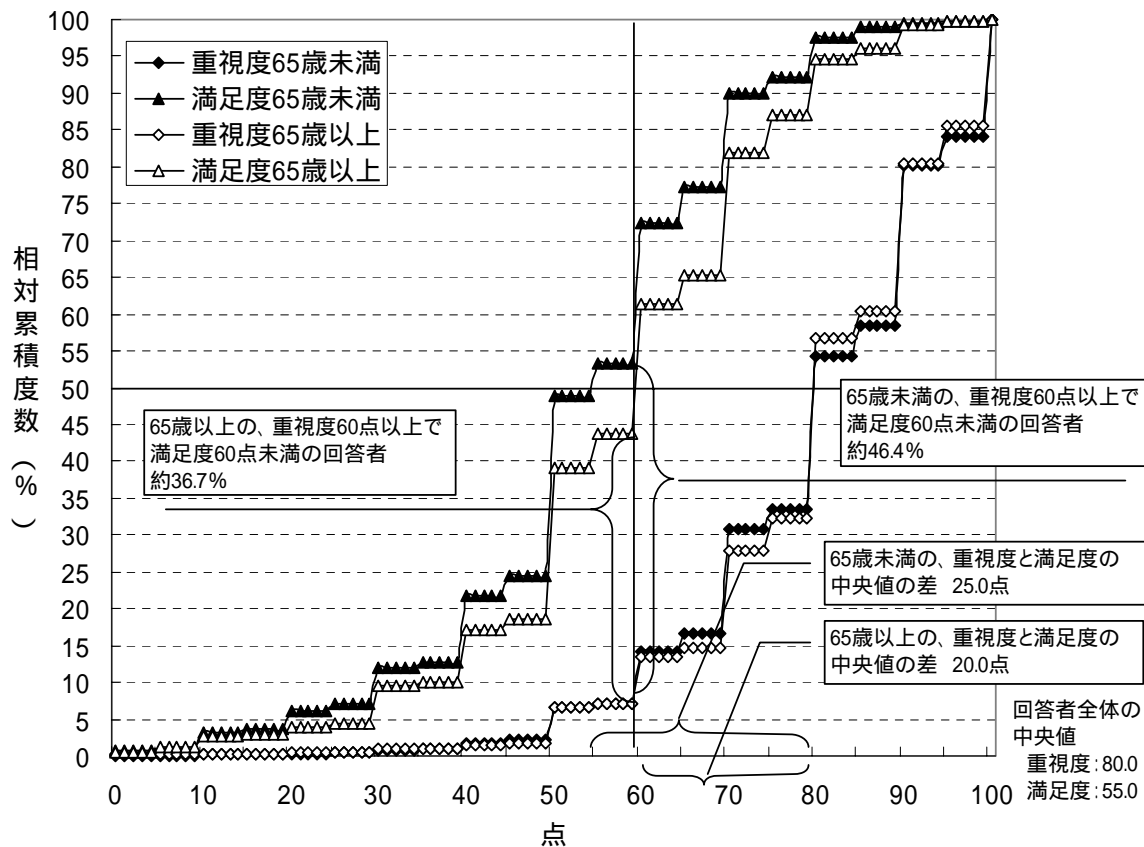
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	7.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	7.0 (93.)	7.1 (92.9)
満足度 60 点未満の割合	53.4	43.8
要検討領域にある回答者全体の割合	46.4	36.7

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	1215	1202
	欠損値	25	38
平均値		80.36	53.86
平均値の標準誤差		.440	.492
中央値		80.00	55.00
最頻値		90	50
標準偏差		15.326	17.052
分散		234.877	290.759
範囲		95	100
最小値		5	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策6重視度	政策6満足度
度数	有効	424	411
	欠損値	33	46
平均値		80.45	58.04
平均値の標準誤差		.720	.867
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		14.821	17.579
分散		219.657	309.020
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (80.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点)、登米圏域 (60.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (55.0 点) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域 (12.5 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、石巻圏域 (7.5 点)、気仙沼・本吉圏域 (7.5 点) の 2 圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域 (87.5 点) が回答者全体 (80.0 点) よりも 7.5 ポイント高い。

満足度の中央値は、仙南圏域 (52.5 点) が 7.5 ポイント、登米圏域 (55.0 点) が 5 ポイント回答者全体 (60.0 点) よりも低い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域 (8.8 点)、石巻圏域 (7.5 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 (15.0 点)、石巻圏域 (15.0 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、仙南圏域 (7.5 点)、登米圏域 (7.5 点) の 2 圏域が小さい。

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	82.5	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	52.5	60.0	55.0	60.0	55.0	55.0
	かい離	25.0	27.5	27.5	20.0	25.0	20.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	45.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	30.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	65.0	70.0	70.0	70.0	65.0	65.0
	かい離	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	7.5

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	87.5	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	52.5	60.0	60.0	55.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	27.5	20.0	20.0	32.5	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	76.3	75.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	40.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	30.0	26.3	35.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	93.8	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	60.0	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	20.0	28.8	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	8.8	7.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5	10.0	15.0	7.5	15.0	10.0

4. 政策 6 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」(52.5%)である。

第 2 位は施策 6 「生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実」(17.6%)である。

第 3 位は施策 1 「救急搬送体制の整備」(9.6%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」(58.3%)である。

第 2 位は施策 1 「救急搬送体制の整備」(14.1%)である。

第 3 位は施策 4 「食品や水道水などの安全確保」(10.8%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」(68.7%)である。

第 2 位は施策 4 「食品や水道水などの安全確保」(11.9%)である。

第 3 位は施策 1 「救急搬送体制の整備」(6.0%)である。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では政策 1 「救急搬送体制の整備」、女性では政策 4 「食品や水道水などの安全確保」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1 「救急搬送体制の整備」、65 歳以上では施策 3 「事故のない安全で快適な交通社会の実現」である。

圏域別

一般県民では、

圏域別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、仙南、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 1 「救急搬送体制の

政策 6 「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

整備」、仙台、大崎の 2 圏域では施策 4 「食品や水道水などの安全確保」である。

市町村職員では、

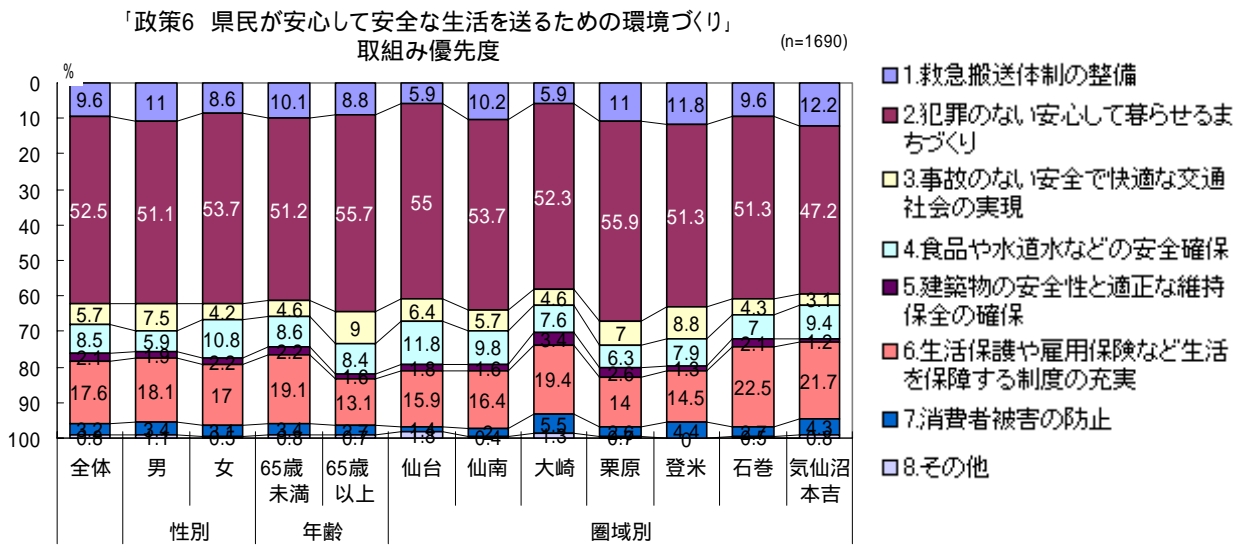
第 1 位は、全圏域とも施策 2 「犯罪のない安心して暮らせるまちづくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1 「救急搬送体制の整備」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 3 「事故のない安全で快適な交通社会の実現」、栗原圏域では施策 6 「生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実」と施策 8 「その他」、石巻圏域では施策 4 「食品や水道水などの安全確保」である（栗原圏域では施策 3 と施策 6 と施策 8、石巻圏域では施策 1 と施策 3 と施策 4 が共に第 2 位になっている）。

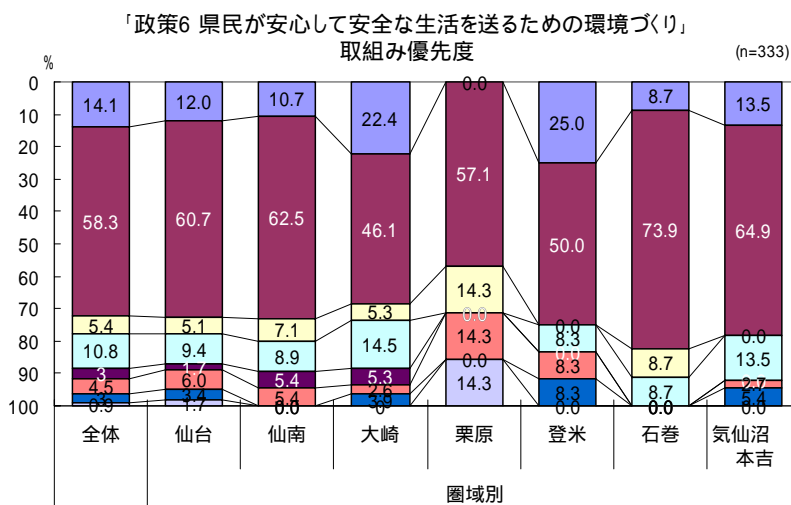
第 3 位は、仙台、仙南、大崎、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4 「食品や水道水などの安全確保」、登米圏域では施策 6 「生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実」である（登米圏域では施策 4 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

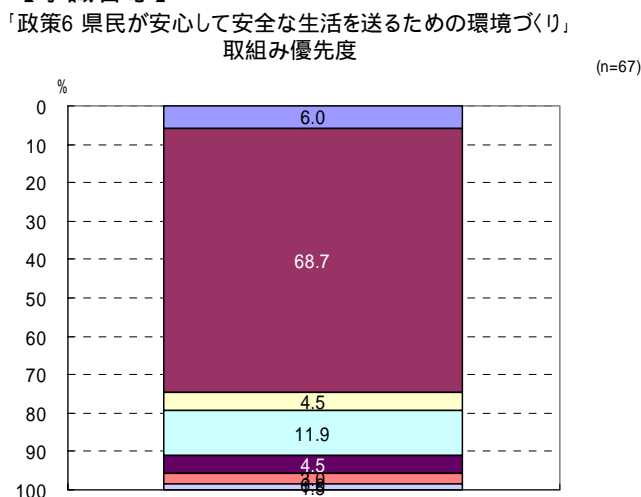
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.救急搬送体制の整備	9.6	11.0	8.6	10.1	8.8	5.9	10.2	5.9	11.0	11.8	9.6	12.2
2	2.犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	52.5	51.1	53.7	51.2	55.7	55.0	53.7	52.3	55.9	51.3	51.3	47.2
3	3.事故のない安全で快適な交通社会の実現	5.7	7.5	4.2	4.6	9.0	6.4	5.7	4.6	7.0	8.8	4.3	3.1
4	4.食品や水道水などの安全確保	8.5	5.9	10.8	8.6	8.4	11.8	9.8	7.6	6.3	7.9	7.0	9.4
5	5.建築物の安全性と適正な維持保全の確保	2.1	1.9	2.2	2.2	1.6	1.8	1.6	3.4	2.6	1.3	2.1	1.2
6	6.生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実	17.6	18.1	17.0	19.1	13.1	15.9	16.4	19.4	14.0	14.5	22.5	21.7
7	7.消費者被害の防止	3.2	3.4	3.1	3.4	2.7	1.4	2.0	5.5	2.6	4.4	2.7	4.3
8	8.その他	0.8	1.1	0.5	0.8	0.7	1.8	0.4	1.3	0.7	0.0	0.5	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.救急搬送体制の整備	14.1	12.0	10.7	22.4	0.0	25.0	8.7	13.5
2	2.犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	58.3	60.7	62.5	46.1	57.1	50.0	73.9	64.9
3	3.事故のない安全で快適な交通社会の実現	5.4	5.1	7.1	5.3	14.3	0.0	8.7	0.0
4	4.食品や水道水などの安全確保	10.8	9.4	8.9	14.5	0.0	8.3	8.7	13.5
5	5.建築物の安全性と適正な維持保全の確保	3.0	1.7	5.4	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6	6.生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実	4.5	6.0	5.4	2.6	14.3	8.3	0.0	2.7
7	7.消費者被害の防止	3.0	3.4	0.0	3.9	0.0	8.3	0.0	5.4
8	8.その他	0.9	1.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.救急搬送体制の整備	6.0
2	2.犯罪のない安心して暮らせるまちづくり	68.7
3	3.事故のない安全で快適な交通社会の実現	4.5
4	4.食品や水道水などの安全確保	11.9
5	5.建築物の安全性と適正な維持保全の確保	4.5
6	6.生活保護や雇用保険など生活を保障する制度の充実	3.0
7	7.消費者被害の防止	0.0
8	8.その他	1.5

政策 6 「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」

政策7 「県土の保全と災害に強い地域づくり」

政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」は、県民が安全に安心して暮らせるようハード・ソフト両面から、自然災害に強い地域づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策7の認知度

1.1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は49.1%、低認知度群は50.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性(52.7%)が女性(46.2%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(58.6%)が65歳未満(46.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、大崎圏域(58.6%)が9.5ポイント、気仙沼・本吉圏域(55.8%)が6.7ポイント高い。

仙南圏域(44.1%)が、回答者全体と比較して5ポイント低い。

(%)

政策7 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.5	44.6	49.1	42.3	8.5	50.8	100.0

性別	男性	5.4	47.3	52.7	39.8	7.4	47.2	100.0
	女性	3.7	42.5	46.2	44.4	9.4	53.8	100.0
年齢別	65歳未満	4.0	42.1	46.1	45.0	9.0	54.0	100.0
	65歳以上	6.2	52.4	58.6	34.5	6.9	41.4	100.0

圏域別	仙台	3.3	42.6	45.9	46.4	7.7	54.1	100.0
	仙南	4.4	39.7	44.1	47.6	8.3	55.9	100.0
	大崎	6.6	52.0	58.6	32.2	9.3	41.5	100.0
	栗原	5.5	39.8	45.3	46.5	8.2	54.7	100.0
	登米	2.8	45.3	48.1	42.5	9.3	51.8	100.0
	石巻	5.5	42.9	48.4	40.7	11.0	51.7	100.0
	気仙沼・本吉	4.0	51.8	55.8	38.5	5.7	44.2	100.0

有効回答者数 1,606 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は74.2%、低認知度群は25.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（90.9%）が16.7ポイント、気仙沼・本吉圏域（89.5%）が15.3ポイント、栗原圏域（85.7%）が11.5ポイント高い。

仙台圏域（68.4%）が、回答者全体と比較して5.8ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は71.0%、低認知度群は29.0%である。

(%)

政策7 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	10.6	63.6	74.2	22.7	3.0	25.7	100.0	
圏 域 別	仙台	10.5	68.4	26.3	5.3	31.6	100.0	
	仙南	12.7	61.8	74.5	23.6	1.8	25.4	100.0
	大崎	11.5	60.3	71.8	25.6	2.6	28.2	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	9.1	81.8	90.9	9.1	0.0	9.1	100.0
	石巻	18.2	54.5	72.7	22.7	4.5	27.2	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	89.5	89.5	10.5	0.0	10.5	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	12.9	58.1	71.0	29.0	0.0	29.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 62 名

2. 政策7の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は90.3%、低関心度群は9.6%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性(90.4%)が女性(90.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(93.9%)が65歳未満(89.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策7 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	39.1	51.2	90.3	8.3	1.3	9.6	100.0

性別	男性	39.6	50.8	90.4	8.3	1.3	9.6	100.0
	女性	38.7	51.6	90.3	8.6	1.2	9.8	100.0
年齢別	65歳未満	35.4	53.7	89.1	9.6	1.3	10.9	100.0
	65歳以上	50.0	43.9	93.9	5.2	0.9	6.1	100.0

圏 域 別	仙台	42.8	48.4	91.2	7.4	1.4	8.8	100.0
	仙南	33.5	57.6	91.1	8.1	0.8	8.9	100.0
	大崎	40.9	49.4	90.3	7.7	2.1	9.8	100.0
	栗原	39.1	49.6	88.7	10.9	0.4	11.3	100.0
	登米	36.5	50.9	87.4	11.7	0.9	12.6	100.0
	石巻	39.1	51.6	90.7	7.6	1.6	9.2	100.0
	気山沼・本吉	42.2	51.4	93.6	6.0	0.4	6.4	100.0

有効回答者数 1,657 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は93.8%、低関心度群は6.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

登米圏域（100.0%）では、回答者全体と比較して6.2ポイント高い。

栗原圏域（85.7%）では、回答者全体と比較して8.1ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は98.5%、低関心度群は1.5%である。

(%)

政策7 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	46.0	47.8	93.8	6.0	0.3	6.3	100.0	
圏 域 別	仙台	41.0	47.9	88.9	10.3	0.9	11.2	100.0
	仙南	42.9	53.6	96.5	3.6	0.0	3.6	100.0
	大崎	48.7	48.7	97.4	2.6	0.0	2.6	100.0
	栗原	57.1	28.6	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	45.5	54.5	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	65.2	26.1	91.3	8.7	0.0	8.7	100.0
	気山沼・本吉	42.1	55.3	97.4	2.6	0.0	2.6	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	59.1	39.4	98.5	1.5	0.0	1.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策7の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より41.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は85.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は25.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より34.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より37.3%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.8	(92.2)
満足度 60点未満の割合		49.1
要検討領域にある回答者全体の割合		41.3

有効回答者数；重視度 1,648人、満足度 1,637人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	1648	1637
	欠損値	73	84
平均値		79.87	55.29
平均値の標準誤差		.382	.435
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.516	17.586
分散		240.739	309.266
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	85.0	60.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.6	(96.4)
満足度 60点未満の割合		37.8
要検討領域にある回答者全体の割合		34.2

有効回答者数；重視度 338人、満足度 336人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	338	336
	欠損値	0	2
平均値		82.60	58.87
平均値の標準誤差		.742	.819
中央値		85.00	60.00
最頻値		90	70
標準偏差		13.636	15.019
分散		185.931	225.583
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	60.00
	50	85.00	60.00
	60	90.00	65.00
	75	90.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.0)
満足度 60点未満の割合		40.3
要検討領域にある回答者全体の割合		37.3

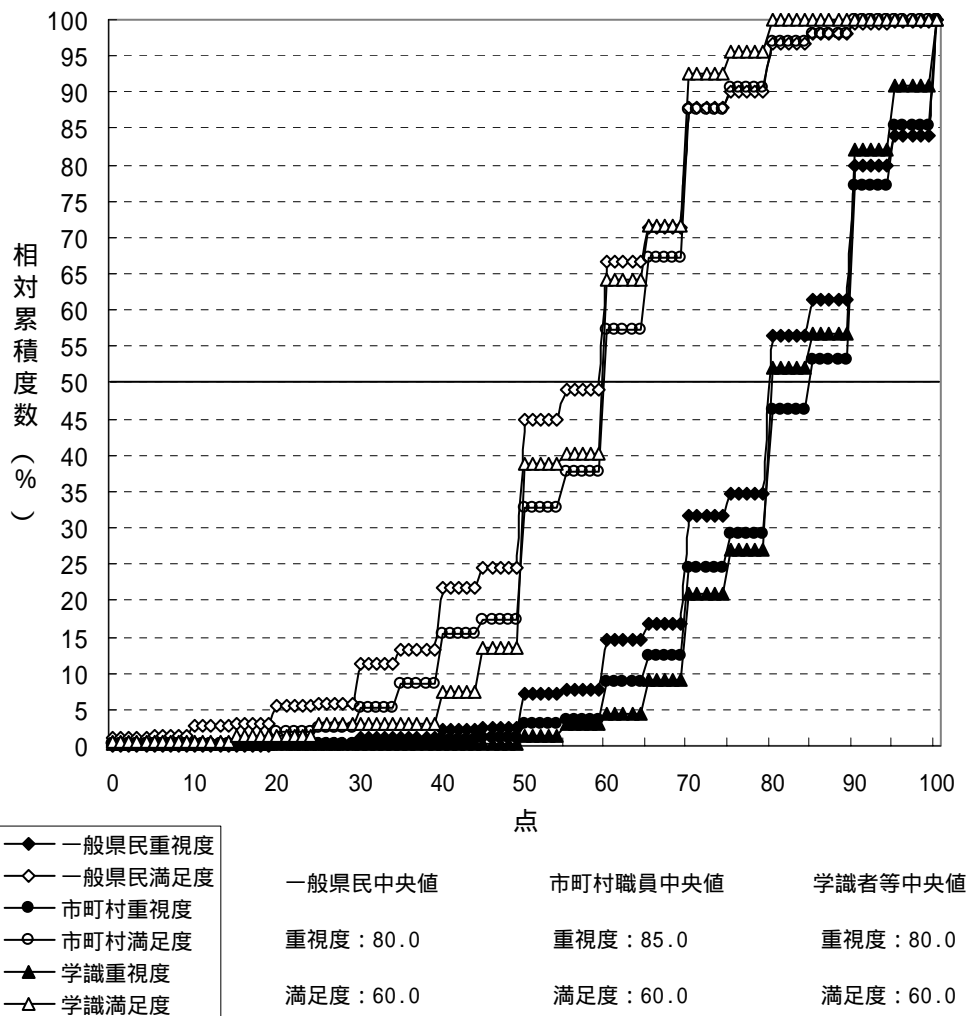
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		82.61	58.21
平均値の標準誤差		1.392	1.506
中央値		80.00	60.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		11.394	12.331
分散		129.817	152.047
範囲		50	65
最小値		50	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	56.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

「政策7 県土の保全と災害に強い地域づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0点）が男性（55.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（25.0点）が女性（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(15.0点)が女性(10.0点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性43.9%、女性38.9%と推定できる。

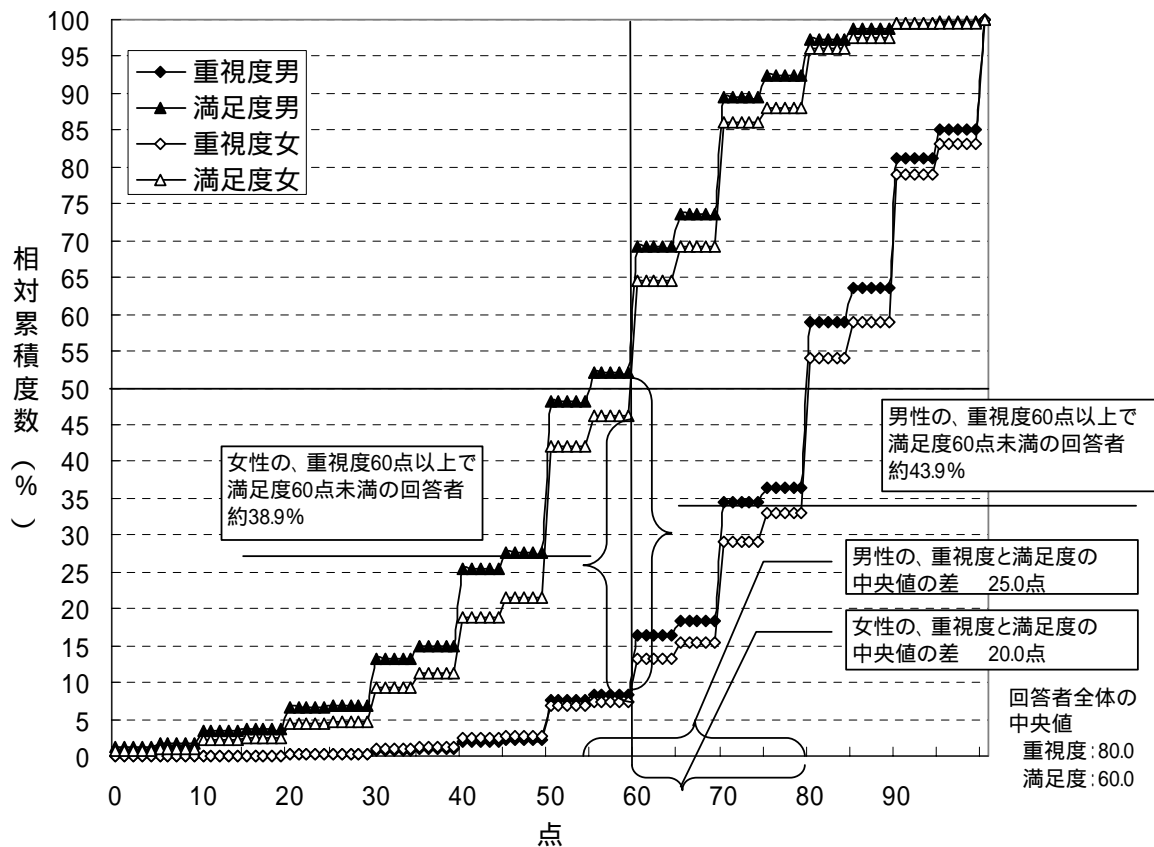
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	15.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.2	(91.8)	7.4	(92.6)
満足度 60点未満の割合	52.1		46.3	
要検討領域にある回答者全体の割合	43.9		38.9	

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	777	772
	欠損値	26	31
平均値		79.17	53.80
平均値の標準誤差		.555	.643
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.471	17.852
分散		239.355	318.699
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	852	847
	欠損値	44	49
平均値		80.58	56.74
平均値の標準誤差		.530	.590
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.482	17.182
分散		239.681	295.220
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満（57.5点）が65歳以上（60.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（22.5点）が65歳以上（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満（11.9点）が65歳以上（10.0点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満42.5%、65歳以上38.0%と推定できる。

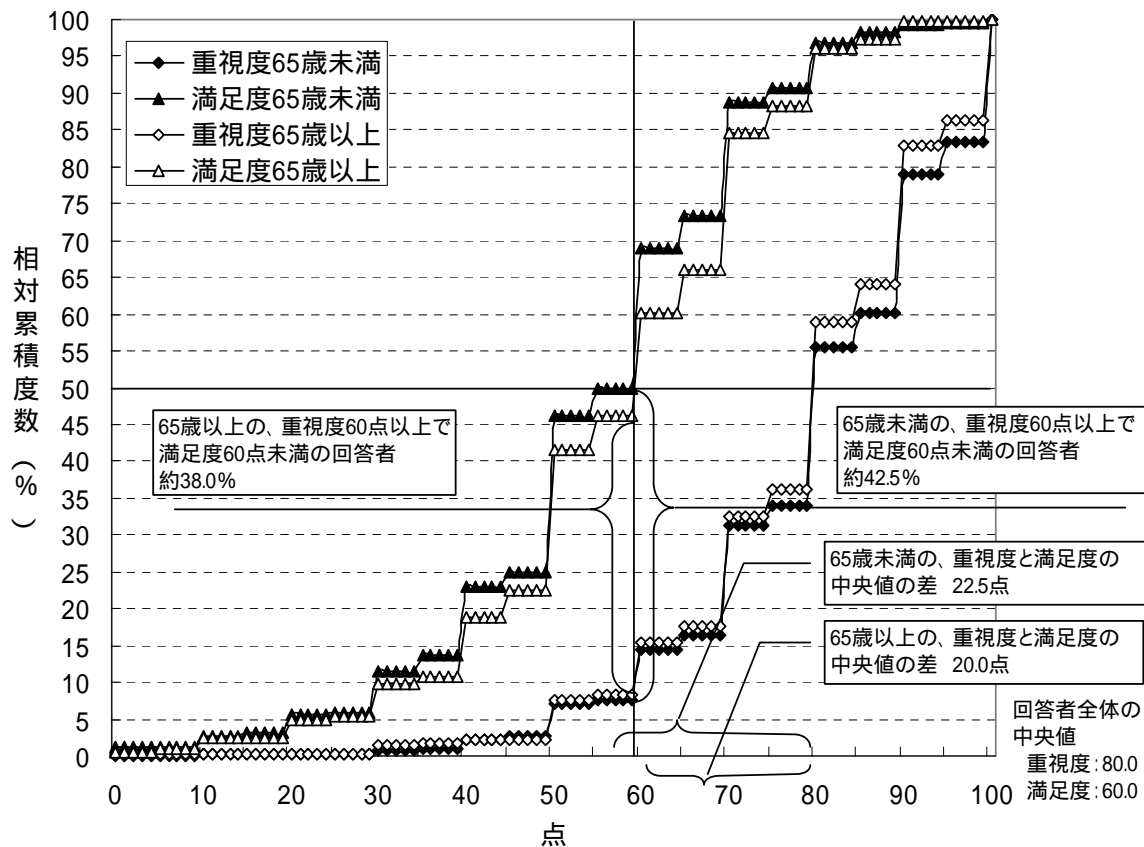
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	57.5	60.0
	かい離	20.0	22.5	20.0
第1四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	46.3	50.0
	かい離	20.0	23.8	20.0
第3四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	11.9	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	7.5 (92.5)	8.3 (91.7)
満足度60点未満の割合	50.0	46.3
要検討領域にある回答者全体の割合	42.5	38.0

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	1207	1200
	欠損値	33	40
平均値		80.21	54.74
平均値の標準誤差		.447	.507
中央値		80.00	57.50
最頻値		80	50
標準偏差		15.546	17.557
分散		241.665	308.232
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	46.25
	40	80.00	50.00
	50	80.00	57.50
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	420	417
	欠損値	37	40
平均値		79.13	57.09
平均値の標準誤差		.745	.855
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.271	17.461
分散		233.193	304.892
範囲		70	100
最小値		30	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(80.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、仙南圏域(55.0点)、栗原圏域(55.0点)、気仙沼・本吉圏域(55.0点)の3圏域が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域(12.5点)、栗原圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(12.5点)、仙台圏域(11.9点)の4圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0点)、気仙沼・本吉圏域(90.0点)の2圏域が回答者全体(85.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(80.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(65.0点)、栗原圏域(65.0点)の2圏域が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(55.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、登米圏域(8.8点)の3圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、石巻圏域(5.0点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、登米圏域(11.9点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(7.5点)、仙南圏域(5.6点)の2圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	55.0	60.0	60.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	46.3	40.0	50.0	45.0	50.0	50.0	45.0
	かい離	20.0	23.8	30.0	20.0	25.0	20.0	20.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	11.9	12.5	10.0	12.5	10.0	10.0	12.5

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	85.0	85.0	85.0	85.0	90.0	82.5	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	25.0	22.5	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	75.0	70.0	75.0	75.0	80.0	71.3	80.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	25.0	20.0	25.0	25.0	25.0	21.3	40.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	95.0	90.0	90.0	95.0	88.8	90.0	95.0
	満足度	70.0	70.0	61.3	70.0	70.0	73.8	70.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	28.8	20.0	25.0	15.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	7.5	12.5	7.5	7.5	7.5	8.8	5.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	5.6	10.0	7.5	11.9	15.0	10.0

4. 政策7各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策1「地域ぐるみの防災体制整備」(31.6%)である。

第2位は施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」(23.3%)である。

第3位は施策5「震災対策の推進」(20.5%)である。

市町村職員では、

第1位は施策1「地域ぐるみの防災体制整備」(43.8%)である。

第2位は施策5「震災対策の推進」(23.7%)である。

第3位は施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」(12.4%)である。

学識者では、

第1位は施策1「地域ぐるみの防災体制整備」(35.8%)である。

第2位は施策5「震災対策の推進」(32.8%)である。

第3位は施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」(11.9%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65歳未満65歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策1「地域ぐるみの防災体制整備」、仙台圏域では施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」、石巻圏域では施策5「震災対策の推進」である。

第2位は、仙南、大崎、栗原、登米の4圏域では施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」、仙台、石巻の2圏域では施策1「地域ぐるみの防災体制整備」、気仙沼・本

吉圏域では施策 4「高潮や高波等による災害に強い海岸の整備」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 5「震災対策の推進」、石巻圏域では施策 6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」である。

市町村職員では、

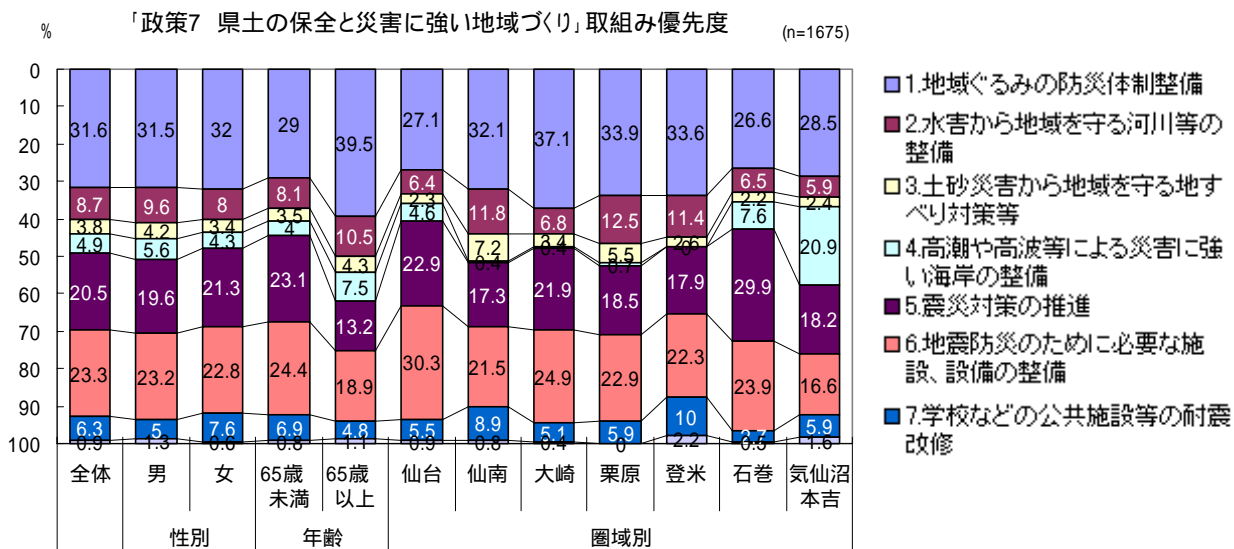
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1「地域ぐるみの防災体制整備」、栗原圏域では施策 2「水害から地域を守る河川等の整備」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5「震災対策の推進」、栗原圏域では施策 1「地域ぐるみの防災体制整備」、石巻圏域では施策 7「学校などの公共施設等の耐震改修」である。

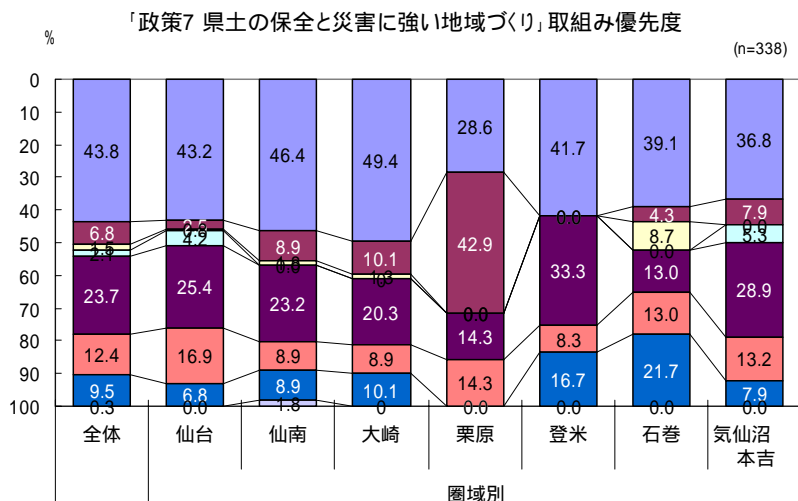
第 3 位は、仙台、仙南、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」、仙南、大崎、登米の 3 圏域では施策 7「学校などの公共施設等の耐震改修」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 2「水害から地域を守る河川等の整備」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 5「震災対策の推進」である（仙南圏域では施策 2 と施策 6 と施策 7、大崎圏域では施策 2 と施策 7、栗原圏域では施策 5 と施策 6、石巻圏域では施策 5 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」

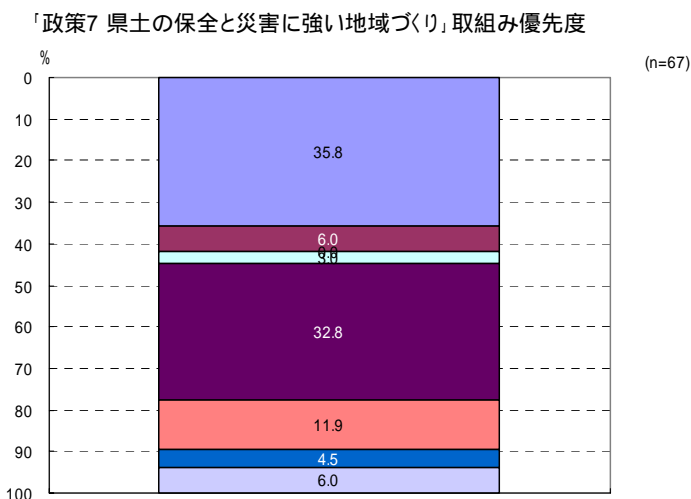
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地域ぐるみの防災体制整備	31.6	31.5	32.0	29.0	39.5	27.1	32.1	37.1	33.9	33.6	26.6	28.5
2	2.水害から地域を守る河川等の整備	8.7	9.6	8.0	8.1	10.5	6.4	11.8	6.8	12.5	11.4	6.5	5.9
3	3.土砂災害から地域を守る地すべり対策等	3.8	4.2	3.4	3.5	4.3	2.3	7.2	3.4	5.5	2.6	2.2	2.4
4	4.高潮や高波等による災害に強い海岸の整備	4.9	5.6	4.3	4.0	7.5	4.6	0.4	0.4	0.7	0.0	7.6	20.9
5	5.震災対策の推進	20.5	19.6	21.3	23.1	13.2	22.9	17.3	21.9	18.5	17.9	29.9	18.2
6	6.地震防災のために必要な施設、設備の整備	23.3	23.2	22.8	24.4	18.9	30.3	21.5	24.9	22.9	22.3	23.9	16.6
7	7.学校などの公共施設等の耐震改修	6.3	5.0	7.6	6.9	4.8	5.5	8.9	5.1	5.9	10.0	2.7	5.9
8	8.その他	0.9	1.3	0.6	0.8	1.1	0.9	0.8	0.4	0.0	2.2	0.5	1.6

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地域ぐるみの防災体制整備	43.8	43.2	46.4	49.4	28.6	41.7	39.1	36.8
2	2.水害から地域を守る河川等の整備	6.8	2.5	8.9	10.1	42.9	0.0	4.3	7.9
3	3.土砂災害から地域を守る地すべり対策等	1.5	0.8	1.8	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0
4	4.高潮や高波等による災害に強い海岸の整備	2.1	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
5	5.震災対策の推進	23.7	25.4	23.2	20.3	14.3	33.3	13.0	28.9
6	6.地震防災のために必要な施設、設備の整備	12.4	16.9	8.9	8.9	14.3	8.3	13.0	13.2
7	7.学校などの公共施設等の耐震改修	9.5	6.8	8.9	10.1	0.0	16.7	21.7	7.9
8	8.その他	0.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地域ぐるみの防災体制整備	35.8
2	2.水害から地域を守る河川等の整備	6.0
3	3.土砂災害から地域を守る地すべり対策等	0.0
4	4.高潮や高波等による災害に強い海岸の整備	3.0
5	5.震災対策の推進	32.8
6	6.地震防災のために必要な施設、設備の整備	11.9
7	7.学校などの公共施設等の耐震改修	4.5
8	8.その他	6.0

政策 8 「地球環境の保全」

政策 8 「地球環境の保全」は、県民、事業者、行政が一体となり、あらゆる活動において環境にできるだけ負荷をかけず、持続的に発展することができる地域社会づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 8 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 38.9%、低認知度群は 61.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（43.7%）が女性（34.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（47.1%）が 65 歳未満（35.7%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、大崎圏域（45.2%）が、回答者全体と比較して 6.3 ポイント高い。

(%)

政策 8 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.6	35.3	38.9	49.5	11.6	61.1	100.0

性別	男性	4.8	38.9	43.7	45.7	10.7	56.4	100.0
	女性	2.5	31.8	34.3	53.3	12.4	65.7	100.0
年齢別	65 歳未満	2.9	32.8	35.7	51.1	13.2	64.3	100.0
	65 歳以上	5.4	41.7	47.1	45.8	7.1	52.9	100.0

圏域別	仙台	2.8	31.9	34.7	51.4	13.9	65.3	100.0
	仙南	3.0	32.0	35.0	51.5	13.4	64.9	100.0
	大崎	5.3	39.9	45.2	43.9	11.0	54.9	100.0
	栗原	4.6	39.2	43.8	45.0	11.2	56.2	100.0
	登米	2.3	38.0	40.3	49.5	10.2	59.7	100.0
	石巻	3.4	31.8	35.2	53.1	11.7	64.8	100.0
	気仙沼・本吉	3.3	33.1	36.4	53.1	10.6	63.7	100.0

有効回答者数 1,622 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 54.9%、低認知度群は 45.1%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（66.7%）が 11.8 ポイント、登米圏域（66.6%）が 11.7 ポイント高い。

学識等全体における高認知度群は 62.2%、低認知度群は 37.8%である。

(%)

政策 8 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	9.8	45.1	54.9	40.5	4.6	45.1	100.0	
圏 域 別	仙台	8.8	43.4	52.2	42.5	5.3	47.8	100.0
	仙南	11.1	42.6	53.7	42.6	3.7	46.3	100.0
	大崎	11.7	46.8	58.5	36.4	5.2	41.6	100.0
	栗原	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	100.0
	登米	8.3	58.3	66.6	25.0	8.3	33.3	100.0
	石巻	13.6	36.4	50.0	40.9	9.1	50.0	100.0
	気山沼・本吉	8.1	43.2	51.3	48.6	0.0	48.6	100.0

有効回答者数 326 名

学識者等全体	16.7	45.5	62.2	33.3	4.5	37.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 8 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 78.0%、低関心度群は 22.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（79.0%）が女性（76.9%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（82.8%）が 65 歳未満（76.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

（%）

政策 8 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	25.5	52.5	78.0	19.2	2.8	22.0	100.0

性別	男性	28.0	51.0	79.0	18.7	2.3	21.0	100.0
	女性	23.3	53.6	76.9	19.8	3.3	23.1	100.0
年齢別	65 歳未満	21.9	54.4	76.3	20.7	3.1	23.8	100.0
	65 歳以上	35.9	46.9	82.8	15.1	2.2	17.3	100.0

圏域別	仙台	27.1	53.2	80.3	17.4	2.3	19.7	100.0
	仙南	26.6	49.4	76.0	21.9	2.1	24.0	100.0
	大崎	29.3	52.2	81.5	15.1	3.4	18.5	100.0
	栗原	27.9	53.4	81.3	16.0	2.7	18.7	100.0
	登米	18.6	57.0	75.6	20.8	3.6	24.4	100.0
	石巻	22.3	53.3	75.6	22.8	1.6	24.4	100.0
	気山沼・本吉	26.5	49.4	75.9	20.1	4.0	24.1	100.0

有効回答者数 1,650 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 84.0%、低関心度群は 16.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(100.0%)では 16.0 ポイント、仙南圏域(92.8%)では 8.8 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙台圏域(75.2%)では 8.8 ポイント、石巻圏域(78.3%)では 5.7 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 95.5%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 8 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	28.9	55.1	84.0	14.6	1.5	16.1	100.0	
圏 域 別	仙台	29.9	45.3	75.2	23.9	0.9	24.8	100.0
	仙南	33.9	58.9	92.8	7.1	0.0	7.1	100.0
	大崎	30.4	57.0	87.4	10.1	2.5	12.6	100.0
	栗原	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	登米	16.7	83.3	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	34.8	43.5	78.3	13.0	8.7	21.7	100.0
	気山沼・本吉	13.2	73.7	86.9	13.2	0.0	13.2	100.0

有効回答者数 336 名

学識者等全体	39.4	56.1	95.5	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 8 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 45.3%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 45.5%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	65.0	40.0	25.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.0	(86.0)
満足度 60点未満の割合		57.0
要検討領域にある回答者全体の割合		43.0

有効回答者数；重視度 1,649人、満足度 1,626人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	1649	1626
	欠損値	72	95
平均値		75.07	52.04
平均値の標準誤差		.419	.425
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.028	17.136
分散		289.968	293.647
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.2	(90.8)
満足度 60点未満の割合		54.5
要検討領域にある回答者全体の割合		45.3

有効回答者数；重視度 337人、満足度 336人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	337	336
	欠損値	1	2
平均値		78.07	53.68
平均値の標準誤差		.875	.884
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.068	16.202
分散		258.173	262.494
範囲		90	90
最小値		10	10
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

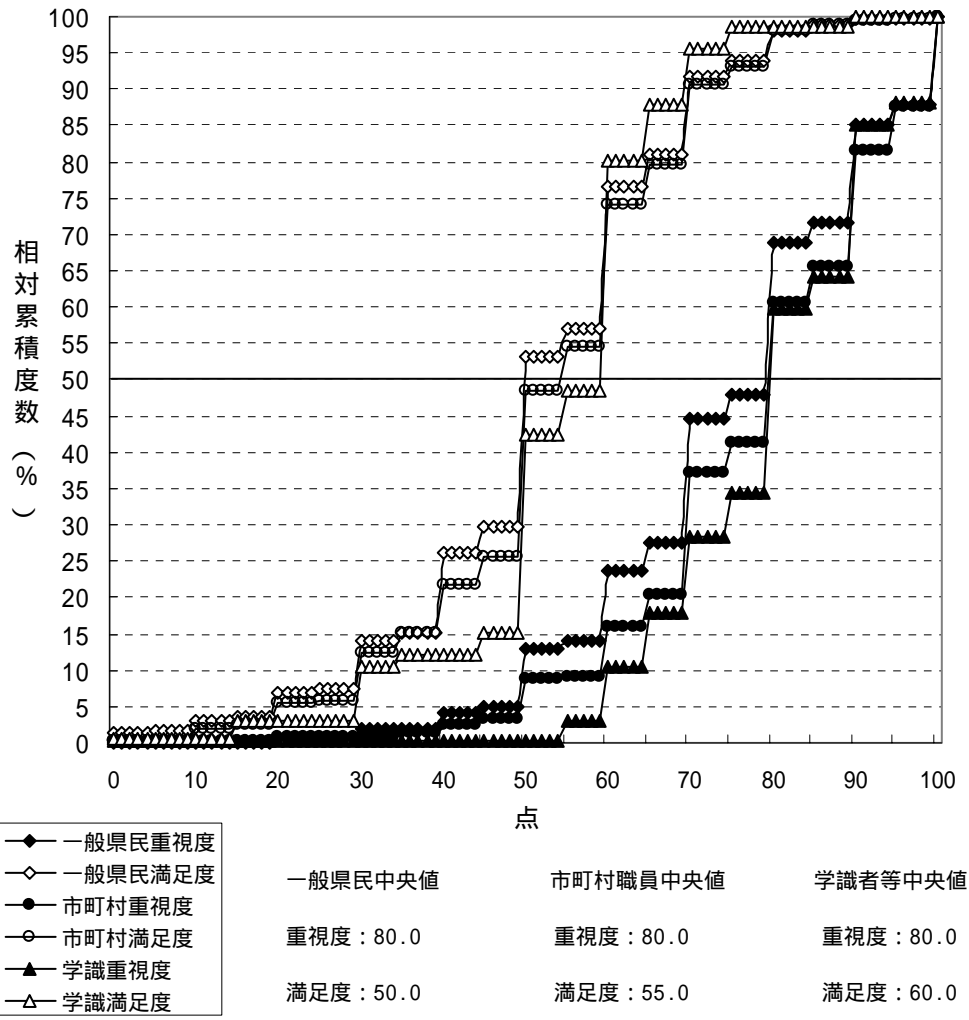
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.0)
満足度 60点未満の割合		48.5
要検討領域にある回答者全体の割合		45.5

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		80.45	54.55
平均値の標準誤差		1.525	1.640
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.484	13.322
分散		155.857	177.483
範囲		45	75
最小値		55	15
最大値		100	90
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	84.00	60.00
	75	90.00	60.00

「政策8 地球環境の保全」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性（80.0点）が男性（75.0点）よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性（30.0点）が男性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性（15.0点）が女性（12.5点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性45.5%、女性40.7%と推定できる。

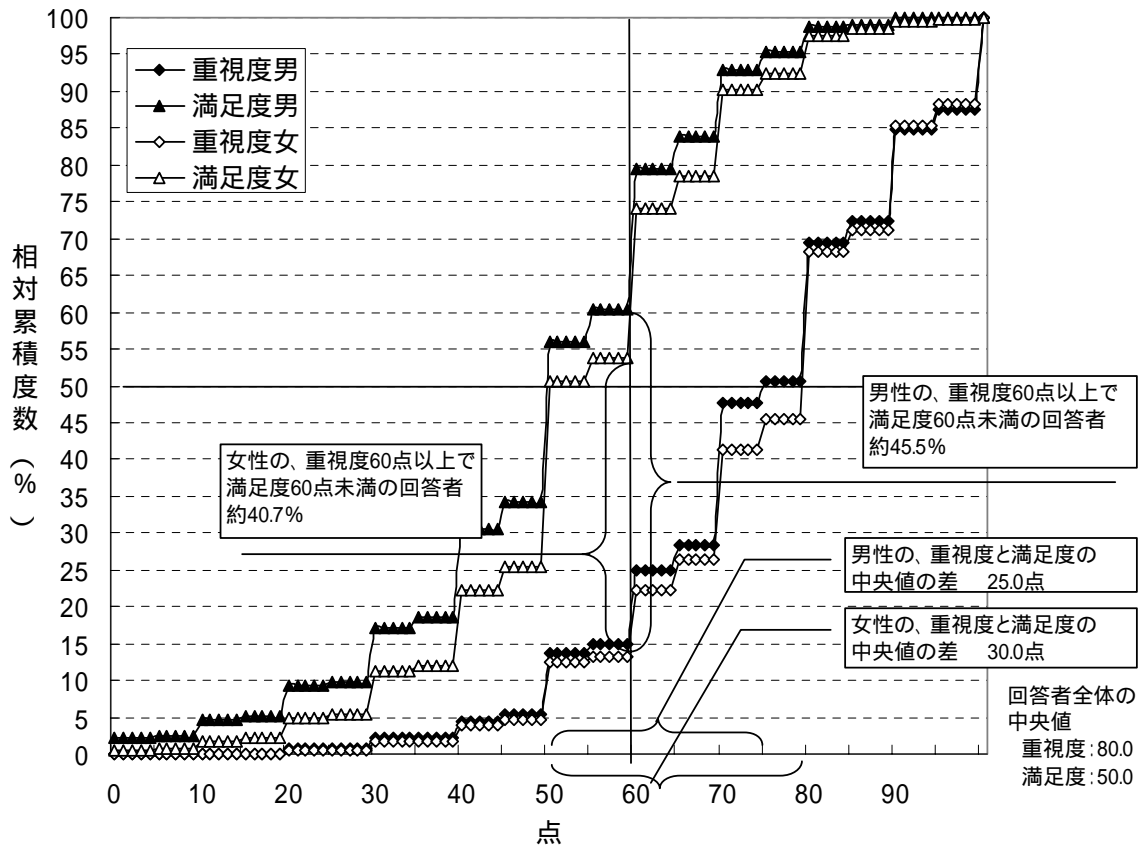
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	75.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	65.0	60.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	25.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	12.5	15.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.0 (85.0)	13.2 (86.8)
満足度 60点未満の割合	60.5	53.9
要検討領域にある回答者全体の割合	45.5	40.7

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	775	770
	欠損値	28	33
平均値		74.48	50.03
平均値の標準誤差		.622	.644
中央値		75.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.321	17.869
分散		300.017	319.310
範囲		85	100
最小値		15	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	855	838
	欠損値	41	58
平均値		75.63	53.89
平均値の標準誤差		.574	.562
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.792	16.265
分散		281.956	264.538
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（30.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 12.5 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 44.2%、65 歳以上 39.5%と推定できる。

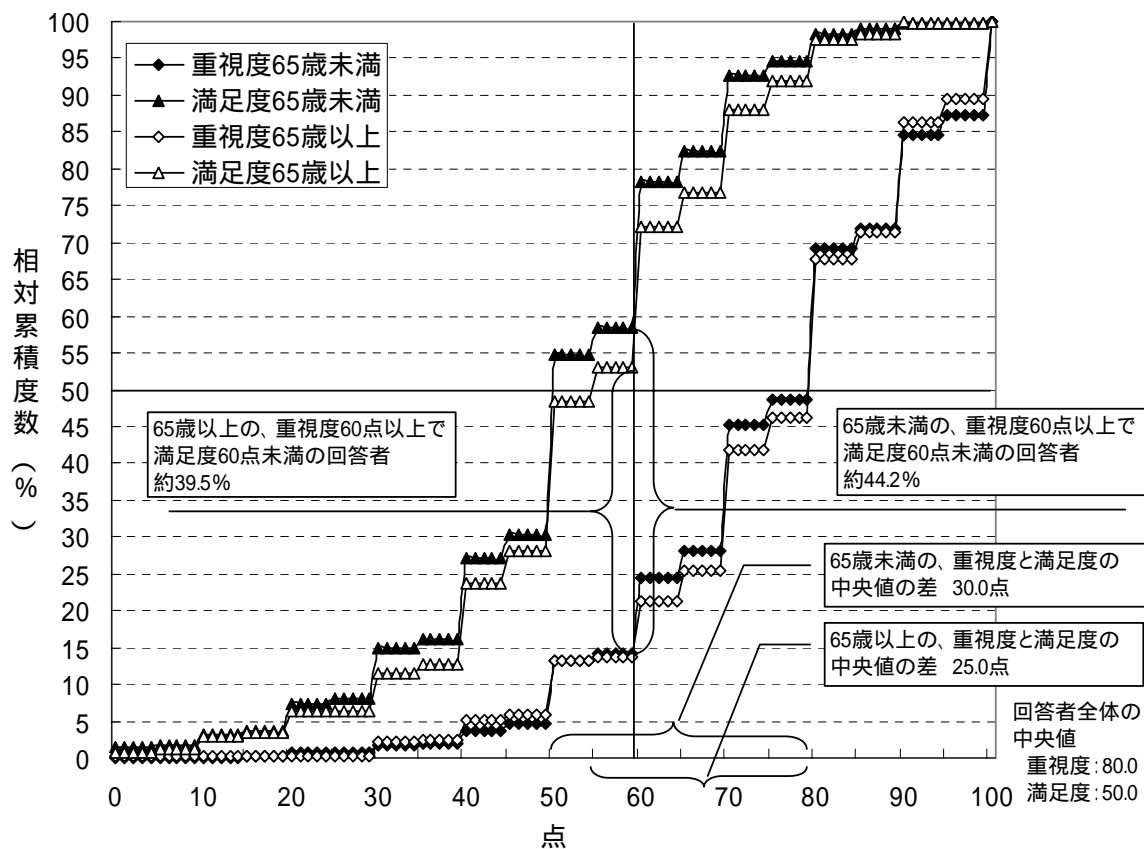
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	65.0	65.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	14.2 (85.8)	13.6 (86.4)
満足度 60 点未満の割合	58.4	53.1
要検討領域にある回答者全体の割合	44.2	39.5

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	1203	1192
	欠損値	37	48
平均値		74.96	51.42
平均値の標準誤差		.494	.496
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.133	17.121
分散		293.551	293.127
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策8重視度	政策8満足度
度数	有効	425	414
	欠損値	32	43
平均値		75.38	53.85
平均値の標準誤差		.817	.844
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.850	17.179
分散		283.938	295.109
範囲		80	90
最小値		20	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙台圏域(75.0 点)、仙南圏域(75.0 点)の 2 圏域が回答者全体(80.0 点) よりも 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、登米圏域(57.5 点) が回答者全体(50.0 点) よりも 7.5 ポイント、大崎圏域(55.0 点)、栗原圏域(55.0 点)、石巻圏域(55.0 点)の 3 圏域が 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、登米圏域(15.0 点) が回答者全体(12.5 点) よりも大きく、栗原圏域(10.0 点) が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5 点) が回答者全体(10.0 点) よりも大きく、登米圏域(7.5 点)、石巻圏域(7.5 点) が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0 点) が回答者全体(80.0 点) よりも 10 ポイント高く、気仙沼・本吉圏域(72.5 点) が 7.5 ポイント、登米圏域(75.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0 点) が回答者全体(55.0 点) よりも 5 ポイント高く、仙南圏域(50.0 点)、石巻圏域(50.0 点)の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5 点)、気仙沼・本吉圏域(10.5 点)の 2 圏域が回答者全体(10.0 点) よりも大きく、登米圏域(5.0 点) が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5 点)、登米圏域(10.6 点)の 2 圏域が回答者全体(10.0 点) よりも大きく、仙台圏域(7.5 点) が小さい。

【一般県民】

中央値、第 1 四分位、第 3 四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	75.0	75.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	55.0	57.5	55.0	50.0
	かい離	30.0	25.0	25.0	25.0	25.0	22.5	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	65.0	65.0	65.0	65.0	70.0	60.0	65.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	30.0	10.0	15.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	65.0	65.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0	25.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	12.5	12.5	10.0	15.0	12.5	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	7.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第 1 四分位、第 3 四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	75.0	80.0	72.5
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	55.0	55.0	50.0	55.0
	かい離	25.0	25.0	30.0	20.0	35.0	20.0	30.0	17.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	45.0	50.0	40.0	50.0	50.0	46.3	35.0	40.0
	かい離	25.0	20.0	30.0	20.0	15.0	23.8	35.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	80.0	90.0	91.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	70.0	67.5	60.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	30.0	20.0	20.0	12.5	30.0	31.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	5.0	10.0	10.5
	満足度	10.0	7.5	10.0	10.0	10.0	10.6	12.5	10.0

4. 政策 8 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」(26.5%) である。

第 2 位は施策 6 「環境に配慮した生活様式, 事業活動の促進」(24.1%) である。

第 3 位は施策 2 「新エネルギー等の導入促進」(18.4%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 6 「環境に配慮した生活様式, 事業活動の促進」(23.7%) である。

第 2 位は施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」(22.8%) である。

第 3 位は施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」(22.6%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 6 「環境に配慮した生活様式, 事業活動の促進」(38.2%) である。

第 2 位は施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」(25.0%) である。

第 3 位は施策 2 「新エネルギー等の導入促進」(14.7%) と施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」(14.7%) である(施策 2 と施策 5 が共に第 3 位になっている)。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」、女性では施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 6 「環境に配慮した生活様式, 事業活動の促進」、65 歳以上では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、65 歳以上では施策 6 「環境に配慮した生活様式, 事業活動の促進」である。

第 3 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 2 「新エネルギー等の導入促進」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、登米、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、登米、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」である。

第 3 位は、仙南、大崎、栗原、登米、石巻の 5 圏域では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」、仙台、栗原、気仙沼・本吉の 3 圏域では 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」である（栗原圏域では、施策 2 と施策 5 が共に第 3 位になっている）。

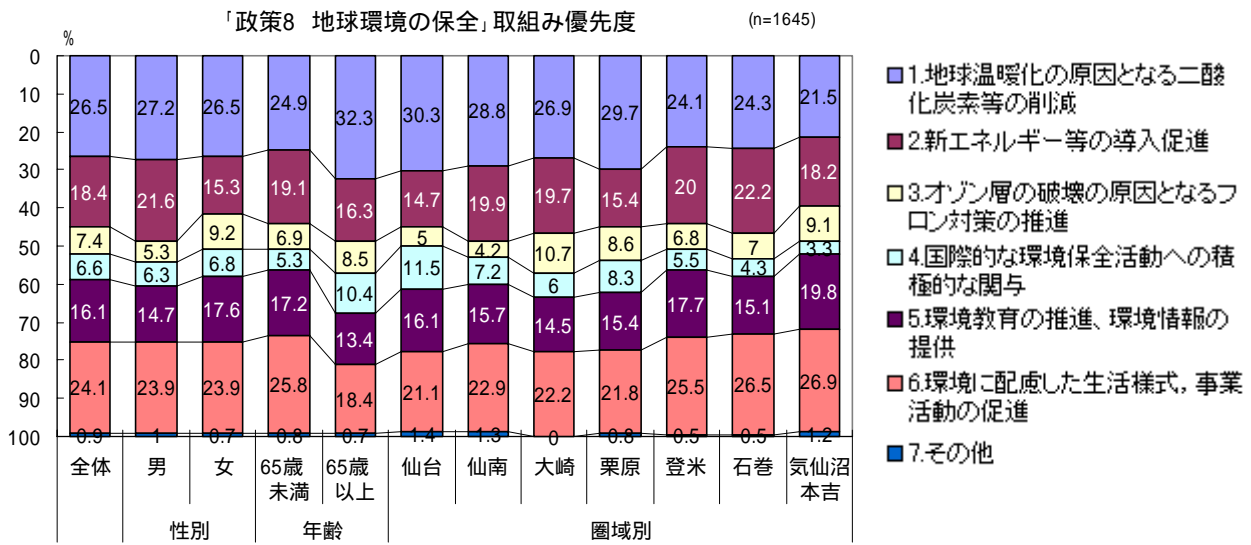
市町村職員では、

第 1 位は、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、登米圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」である（登米圏域では施策 5 と施策 6 が共に第 1 位になっている）。

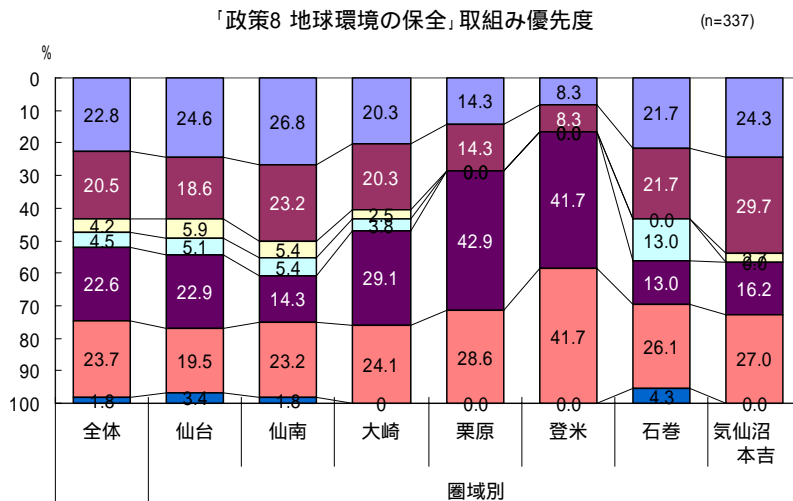
第 2 位は、仙南、大崎、栗原、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」、仙台圏域では施策 5 「環境教育の推進、環境情報の提供」、石巻圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」と施策 2 「新エネルギー等の導入促進」である（石巻圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 1 「地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減」、大崎、栗原、登米の 3 圏域では施策 2 「新エネルギー等の導入促進」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 6 「環境に配慮した生活様式，事業活動の促進」である（大崎圏域では施策 1 と施策 2、栗原圏域では施策 1 と施策 2、登米圏域では施策 1 と施策 2 が共に第 3 位になっている）。

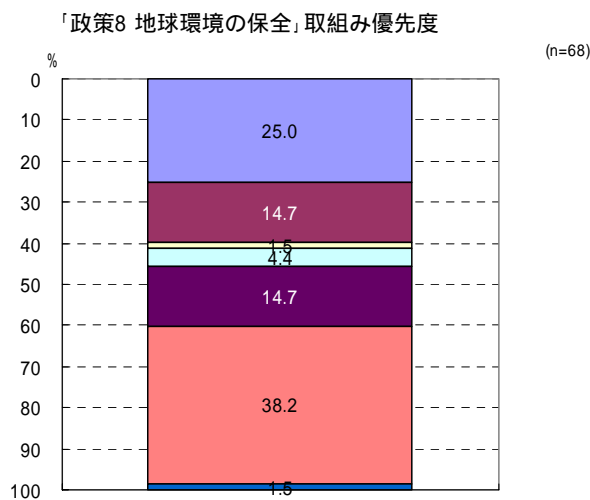
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 8 「地球環境の保全」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	26.5	27.2	26.5	24.9	32.3	30.3	28.8	26.9	29.7	24.1	24.3	21.5
2	2.新エネルギー等の導入促進	18.4	21.6	15.3	19.1	16.3	14.7	19.9	19.7	15.4	20.0	22.2	18.2
3	3.オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進	7.4	5.3	9.2	6.9	8.5	5.0	4.2	10.7	8.6	6.8	7.0	9.1
4	4.国際的な環境保全活動への積極的な関与	6.6	6.3	6.8	5.3	10.4	11.5	7.2	6.0	8.3	5.5	4.3	3.3
5	5.環境教育の推進、環境情報の提供	16.1	14.7	17.6	17.2	13.4	16.1	15.7	14.5	15.4	17.7	15.1	19.8
6	6.環境に配慮した生活様式、事業活動の促進	24.1	23.9	23.9	25.8	18.4	21.1	22.9	22.2	21.8	25.5	26.5	26.9
7	7.その他	0.9	1.0	0.7	0.8	0.7	1.4	1.3	0.0	0.8	0.5	0.5	1.2

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	22.8	24.6	26.8	20.3	14.3	8.3	21.7	24.3
2	2.新エネルギー等の導入促進	20.5	18.6	23.2	20.3	14.3	8.3	21.7	29.7
3	3.オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進	4.2	5.9	5.4	2.5	0.0	0.0	0.0	2.7
4	4.国際的な環境保全活動への積極的な関与	4.5	5.1	5.4	3.8	0.0	0.0	13.0	0.0
5	5.環境教育の推進、環境情報の提供	22.6	22.9	14.3	29.1	42.9	41.7	13.0	16.2
6	6.環境に配慮した生活様式、事業活動の促進	23.7	19.5	23.2	24.1	28.6	41.7	26.1	27.0
7	7.その他	1.8	3.4	1.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減	25.0
2	2.新エネルギー等の導入促進	14.7
3	3.オゾン層の破壊の原因となるフロン対策の推進	1.5
4	4.国際的な環境保全活動への積極的な関与	4.4
5	5.環境教育の推進、環境情報の提供	14.7
6	6.環境に配慮した生活様式、事業活動の促進	38.2
7	7.その他	1.5

政策9 「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」は、良好な生活環境を維持するため、事業者の事業活動や県民の生活活動に伴い発生する大気汚染物質や水質汚濁物質等の抑制に努める様々な施策で構成されている。

1. 政策9の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は39.1%、低認知度群は60.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性(45.3%)が女性(33.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(52.0%)が65歳未満(34.4%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域(48.9%)が、回答者全体と比較して9.8ポイント高い。

石巻圏域(29.3%)が、回答者全体と比較して9.8ポイント低い。

(%)

政策9 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.2	35.9	39.1	49.7	11.1	60.8	100.0

性別	男性	3.6	41.7	45.3	45.1	9.6	54.7	100.0
	女性	3.0	30.3	33.3	54.3	12.4	66.7	100.0
年齢別	65歳未満	2.5	31.9	34.4	53.3	12.3	65.6	100.0
	65歳以上	5.4	46.6	52.0	40.4	7.6	48.0	100.0

圏域別	仙台	2.4	34.8	37.2	50.0	12.9	62.9	100.0
	仙南	3.0	31.2	34.2	54.5	11.3	65.8	100.0
	大崎	4.3	44.6	48.9	42.0	9.1	51.1	100.0
	栗原	4.3	39.1	43.4	44.5	12.1	56.6	100.0
	登米	3.3	38.3	41.6	48.6	9.8	58.4	100.0
	石巻	2.7	26.6	29.3	59.8	10.9	70.7	100.0
	気山沼・本吉	2.5	33.1	35.6	52.7	11.7	64.4	100.0

有効回答者数 1,609 名

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は50.5%、低認知度群は49.5%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域(62.2%)が11.7ポイント、栗原圏域(57.2%)が6.7ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域(39.1%)が11.4ポイント、登米圏域(41.6%)が8.9ポイント、仙南圏域(44.4%)が6.1ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は61.5%、低認知度群は38.5%である。

(%)

政策9 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	6.7	43.8	50.5	46.5	3.0	49.5	100.0	
圏 域 別	仙台	6.0	44.0	50.0	45.7	4.3	50.0	100.0
	仙南	7.4	37.0	44.4	53.7	1.9	55.6	100.0
	大崎	7.9	44.7	52.6	46.1	1.3	47.4	100.0
	栗原	14.3	42.9	57.2	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	8.3	33.3	41.6	50.0	8.3	58.3	100.0
	石巻	8.7	30.4	39.1	52.2	8.7	60.9	100.0
	気仙沼・本吉	2.7	59.5	62.2	37.8	0.0	37.8	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	12.3	49.2	61.5	38.5	0.0	38.5	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策9の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は83.2%、低関心度群は16.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性(84.4%)が女性(82.1%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(88.9%)が65歳未満(81.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策9 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	26.5	56.7	83.2	14.7	2.1	16.8	100.0

性別	男性	29.2	55.2	84.4	13.3	2.2	15.5	100.0
	女性	23.8	58.3	82.1	16.1	1.9	18.0	100.0
年齢別	65歳未満	21.5	59.6	81.1	16.7	2.2	18.9	100.0
	65歳以上	40.0	48.9	88.9	9.4	1.6	11.0	100.0

圏域別	仙台	24.3	60.1	84.4	14.2	1.4	15.6	100.0
	仙南	24.6	56.8	81.4	16.1	2.5	18.6	100.0
	大崎	31.6	52.7	84.3	14.3	1.3	15.6	100.0
	栗原	31.5	52.4	83.9	13.1	3.0	16.1	100.0
	登米	24.9	56.6	81.5	17.2	1.4	18.6	100.0
	石巻	16.0	65.8	81.8	16.6	1.6	18.2	100.0
	気山沼・本吉	27.8	56.4	84.2	12.9	2.9	15.8	100.0

有効回答者数 1,652 名

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 82.4%、低関心度群は 17.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

気仙沼・本吉圏域（91.9%）が、回答者全体と比較して 9.5 ポイント高い。

仙台圏域（76.3%）が、回答者全体と比較して 6.1 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 96.9%、低関心度群は 3.0%である。

(%)

政策9 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	24.1	58.3	82.4	16.7	0.9	17.6	100.0	
圏 域 別	仙台	22.9	76.3	22.0	1.7	23.7	100.0	
	仙南	25.0	80.4	19.6	0.0	19.6	100.0	
	大崎	26.9	60.3	87.2	12.8	0.0	12.8	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	33.3	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	26.1	56.5	82.6	13.0	4.3	17.3	100.0
	気仙沼・本吉	18.9	73.0	91.9	8.1	0.0	8.1	100.0

有効回答者数 336 名

学識者等全体	43.9	53.0	96.9	3.0	0.0	3.0	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 9 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 30.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 45.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 48.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.4%と推定できる。

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	50.0	30.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	40.0	30.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.6	(89.4)
満足度 60点未満の割合		55.7
要検討領域にある回答者全体の割合		45.1

有効回答者数；重視度 1,637人、満足度 1,620人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	1637	1620
	欠損値	84	101
平均値		76.62	52.31
平均値の標準誤差		.404	.431
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.354	17.354
分散		267.463	301.154
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	40.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	60.0	30.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.9	(93.1)
満足度 60点未満の割合		55.1
要検討領域にある回答者全体の割合		48.2

有効回答者数；重視度 334人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	334	332
	欠損値	4	6
平均値		76.60	53.66
平均値の標準誤差		.787	.858
中央値		80.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		14.391	15.632
分散		207.111	244.346
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	61.3	28.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

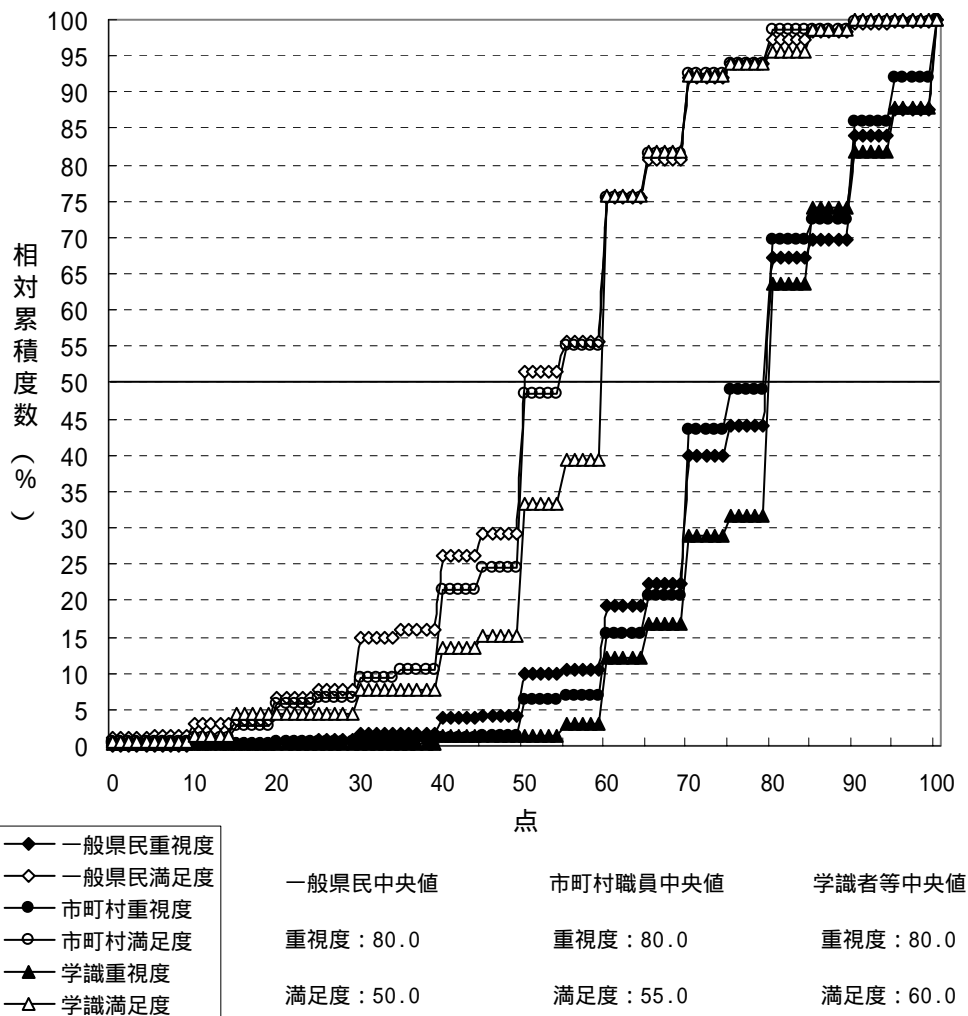
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.0)
満足度 60点未満の割合		39.4
要検討領域にある回答者全体の割合		36.4

有効回答者数；重視度 66人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	66	66
	欠損値	3	3
平均値		79.77	56.52
平均値の標準誤差		1.596	1.822
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.962	14.806
分散		168.024	219.207
範囲		60	80
最小値		40	10
最大値		100	90
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	59.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	61.25

「政策9 環境負荷の少ない地域づくりの推進」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（55.0点）が男性（50.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（30.0点）が女性（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性45.9%、女性44.9%と推定できる。

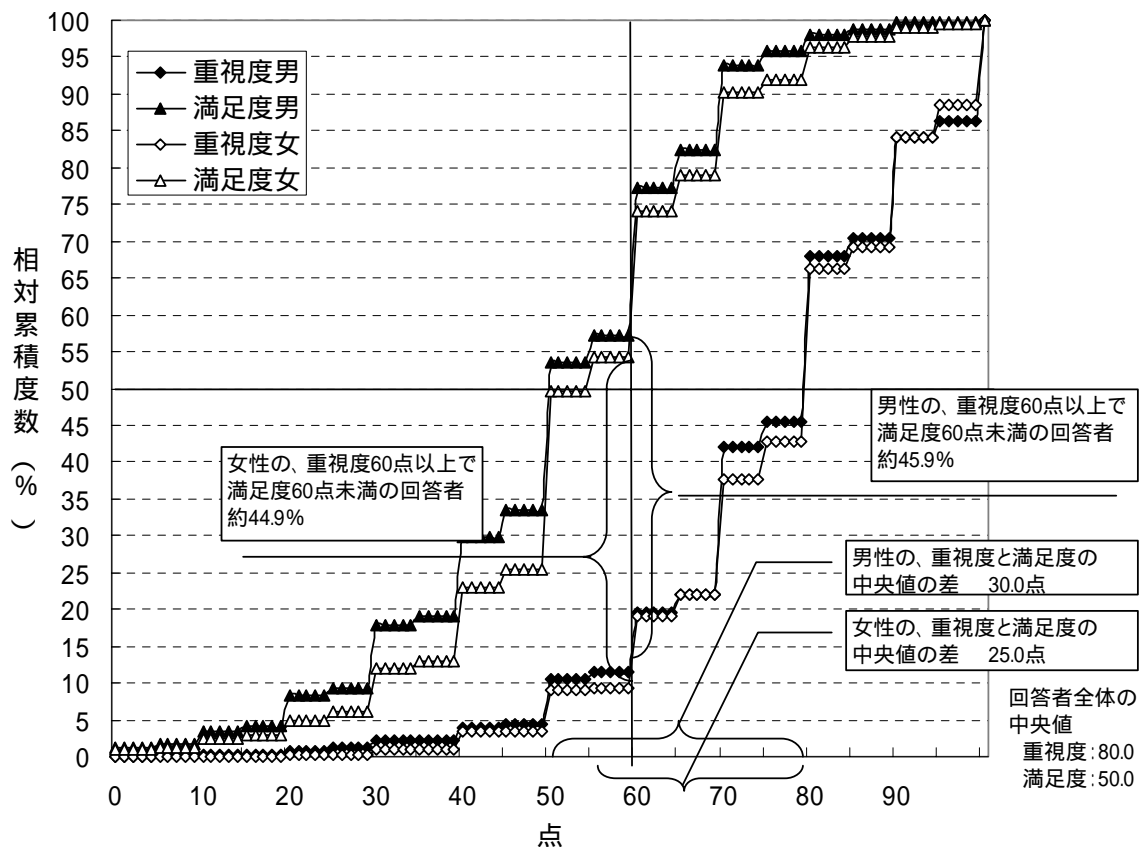
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	11.4 (88.6)	9.4 (90.6)
満足度 60点未満の割合	57.3	54.3
要検討領域にある回答者全体の割合	45.9	44.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	770	763
	欠損値	33	40
平均値		76.19	50.75
平均値の標準誤差		.610	.637
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.929	17.598
分散		286.607	309.700
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	847	838
	欠損値	49	58
平均値		77.12	53.78
平均値の標準誤差		.539	.587
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.683	16.995
分散		245.947	288.839
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満（50.0点）が65歳以上（55.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（30.0点）が65歳以上（25.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満46.6%、65歳以上41.3%と推定できる。

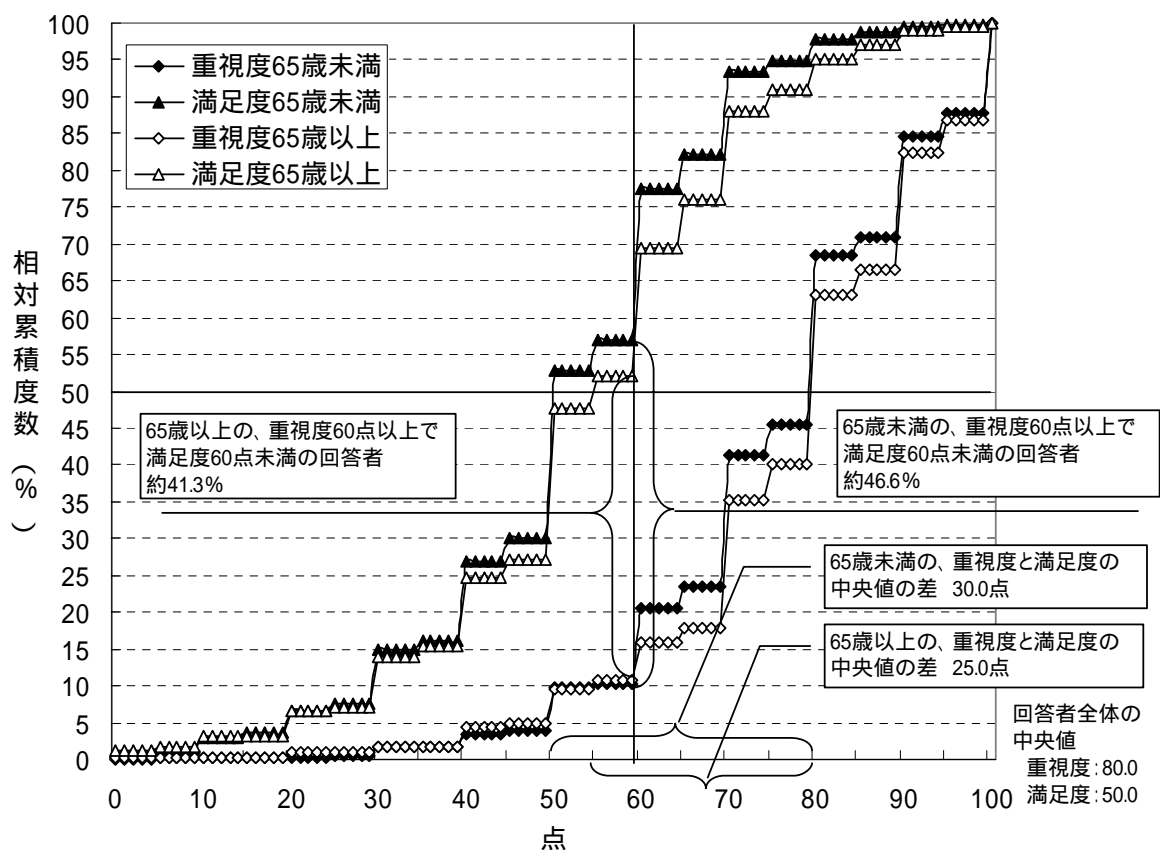
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	30.0	30.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	10.3 (89.7)	10.8 (89.2)
満足度60点未満の割合	56.9	52.1
要検討領域にある回答者全体の割合	46.6	41.3

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	1199	1190
	欠損値	41	50
平均値		76.26	51.78
平均値の標準誤差		.468	.491
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.200	16.941
分散		262.446	286.983
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策9重視度	政策9満足度
度数	有効	416	409
	欠損値	41	48
平均値		77.84	54.05
平均値の標準誤差		.811	.908
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.534	18.363
分散		273.380	337.201
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(80.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が10ポイント、登米圏域(55.0点)が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、登米圏域(7.5点)、石巻圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、石巻圏域(70.0点)が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、登米圏域(72.5点)が7.5ポイント、仙南圏域(75.0点)、栗原圏域(75.0点)、気仙沼・本吉圏域(75.0点)の3圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)、栗原圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、仙南圏域(50.0点)、気仙沼・本吉圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、石巻圏域(12.5点)、登米圏域(10.6点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(5.0点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域(10.0点)、石巻圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、大崎圏域(8.8点)、登米圏域(8.8点)、仙台圏域(7.5点)の6圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	55.0	50.0	50.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	30.0	25.0	30.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	50.0	40.0	50.0	45.0	40.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	30.0	20.0	25.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	65.0	65.0	60.0	60.0
	かい離	30.0	30.0	30.0	20.0	25.0	25.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	7.5	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	75.0	72.5	70.0	75.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	57.5	55.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	15.0	15.0	15.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	62.5	65.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	40.0	50.0	60.0	46.3	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	10.0	16.3	25.0	30.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	80.0	83.8	90.0	90.0
	満足度	60.0	65.0	60.0	67.5	70.0	63.8	60.0	60.0
	かい離	30.0	25.0	30.0	22.5	10.0	20.0	30.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0	10.6	12.5	10.0
	満足度	5.0	7.5	10.0	8.8	5.0	8.8	10.0	10.0

4. 政策9各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」（28.8%）である。

第2位は施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」（26.7%）である。

第3位は施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」（19.3%）である。

市町村職員では、

第1位は施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」（30.7%）である。

第2位は施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」（29.0%）である。

第3位は施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」（21.2%）である。

学識者では、

第1位は施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」（36.8%）と施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」（36.8%）である（施策2と施策7が共に第1位になっている）。

第3位は施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」（11.8%）である。

性別

一般県民では、

第1位は、男性では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、女性では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である。

第2位は、男性では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」、女性では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」である。

第3位は、男性女性とも、施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」である。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65歳未満65歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第1位は、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の4圏域では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、仙台、仙南、大崎、石巻の4圏域では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である（石巻圏域では施策2と施策6が共に第1位になっている）。

第2位は、仙台、仙南、大崎の3圏域では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、登米、気仙沼・本吉の2圏域では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」、栗原圏域では施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」である。

第3位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の6圏域では施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」、栗原圏域では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である。

市町村職員では、

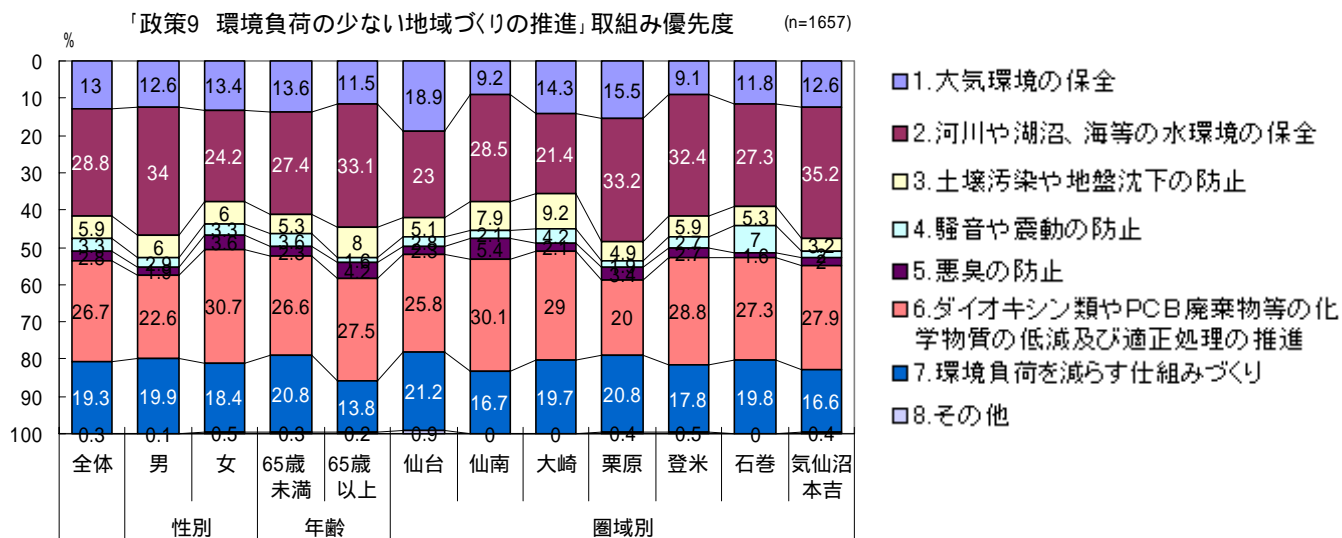
第1位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」、仙台、仙南、登米、気仙沼・本吉の4圏域では施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」、仙台圏域では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」である（仙台圏域では施策6と施策7、仙南圏域では施策2と施策7、登米圏域では施策2と施策7、気仙沼・本吉圏域では施策2と施策7が共に第1位になっている）。

第2位は、大崎、栗原の2圏域では施策7「環境負荷を減らす仕組みづくり」、石巻圏域では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」である。

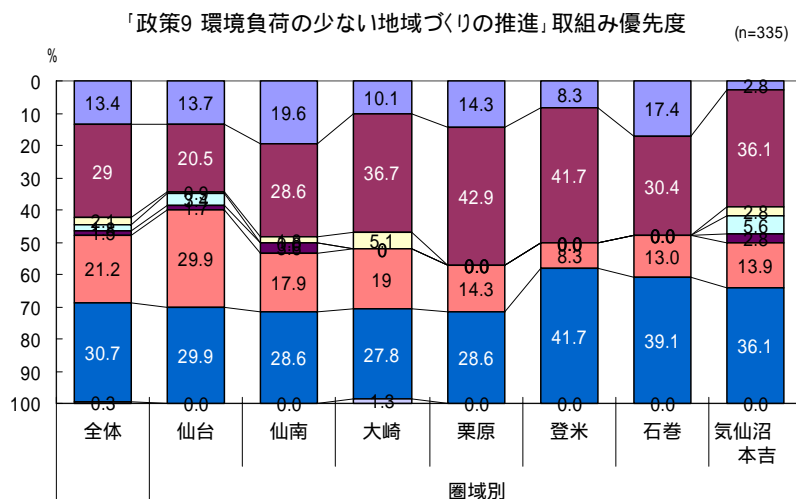
第3位は、仙南、栗原、登米、石巻の4圏域では施策1「大気環境の保全」、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の4圏域では施策6「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」、仙台圏域では施策2「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」である（栗原圏域では施策1と施策7、登米圏域では施策1と施策7が共に第3位になっている）。

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

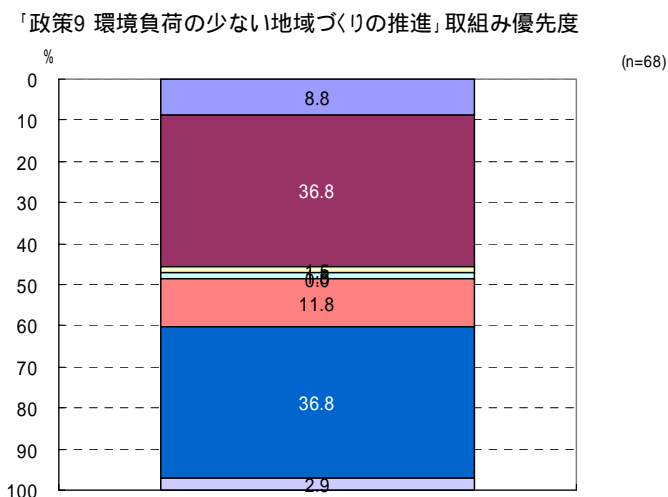
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.大気環境の保全	13.0	12.6	13.4	13.6	11.5	18.9	9.2	14.3	15.5	9.1	11.8	12.6
2	2.河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	28.8	34.0	24.2	27.4	33.1	23.0	28.5	21.4	33.2	32.4	27.3	35.2
3	3.土壌汚染や地盤沈下の防止	5.9	6.0	6.0	5.3	8.0	5.1	7.9	9.2	4.9	5.9	5.3	3.2
4	4.騒音や震動の防止	3.3	2.9	3.3	3.6	1.6	2.8	2.1	4.2	1.9	2.7	7.0	2.0
5	5.悪臭の防止	2.8	1.9	3.6	2.3	4.2	2.3	5.4	2.1	3.4	2.7	1.6	2.0
6	6.ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推	26.7	22.6	30.7	26.6	27.5	25.8	30.1	29.0	20.0	28.8	27.3	27.9
7	7.環境負荷を減らす仕組みづくり	19.3	19.9	18.4	20.8	13.8	21.2	16.7	19.7	20.8	17.8	19.8	16.6
8	8.その他	0.3	0.1	0.5	0.3	0.2	0.9	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	0.4

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.大気環境の保全	13.4	13.7	19.6	10.1	14.3	8.3	17.4	2.8
2	2.河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	29.0	20.5	28.6	36.7	42.9	41.7	30.4	36.1
3	3.土壌汚染や地盤沈下の防止	2.1	0.9	1.8	5.1	0.0	0.0	0.0	2.8
4	4.騒音や震動の防止	1.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
5	5.悪臭の防止	1.5	1.7	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
6	6.ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推	21.2	29.9	17.9	19.0	14.3	8.3	13.0	13.9
7	7.環境負荷を減らす仕組みづくり	30.7	29.9	28.6	27.8	28.6	41.7	39.1	36.1
8	8.その他	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.大気環境の保全	8.8
2	2.河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	36.8
3	3.土壌汚染や地盤沈下の防止	1.5
4	4.騒音や震動の防止	1.5
5	5.悪臭の防止	0.0
6	6.ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推	11.8
7	7.環境負荷を減らす仕組みづくり	36.8
8	8.その他	2.9

政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」

政策 10 「豊かな自然環境の保全・創造」

政策 10 「豊かな自然環境の保全・創造」は、多くの生物が生息している森林、河川、湖沼など多様で豊かな自然環境を保全し、かけがえのない財産として次代に継承するとともに、人と自然との豊かなふれあいの場を創出していくことを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 10 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 41.2%、低認知度群は 58.8%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性（45.1%）が女性（37.5%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（52.7%）が 65 歳未満（37.2%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、大崎圏域（47.8%）が 6.6 ポイント、栗原圏域（46.3%）が 5.1 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（34.2%）が 7.0 ポイント、仙南圏域（35.6%）が 5.6 ポイント低い。

(%)

政策 10 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	3.4	37.8	41.2	49.6	9.2	58.8	100.0

性別	男性	3.9	41.2	45.1	46.5	8.3	54.8	100.0
	女性	3.0	34.5	37.5	52.6	9.9	62.5	100.0
年齢別	65 歳未満	2.7	34.5	37.2	53.0	9.9	62.9	100.0
	65 歳以上	5.6	47.1	52.7	40.2	7.1	47.3	100.0

圏域別	仙台	3.3	36.7	40.0	47.9	12.1	60.0	100.0
	仙南	1.7	33.9	35.6	57.1	7.3	64.4	100.0
	大崎	3.5	44.3	47.8	43.4	8.8	52.2	100.0
	栗原	4.3	42.0	46.3	43.2	10.5	53.7	100.0
	登米	5.0	40.3	45.3	47.1	7.7	54.8	100.0
	石巻	4.3	29.9	34.2	57.6	8.2	65.8	100.0
	気山沼・本吉	2.1	38.3	40.4	50.6	9.1	59.7	100.0

有効回答者数 1,626 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 52.9%、低認知度群は 47.1%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、気仙沼・本吉圏域（72.2%）が 19.3 ポイント、栗原圏域（71.4%）が 18.5 ポイント、登米圏域（58.3%）が 5.4 ポイント高い。

仙南圏域（46.3%）が、回答者全体と比較して 6.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 69.3%、低認知度群は 30.8%である。

(%)

政策 10 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	5.2	47.7	52.9	42.8	4.3	47.1	100.0	
圏 域 別	仙台	1.8	46.4	48.2	44.6	7.1	51.7	100.0
	仙南	3.7	42.6	46.3	51.9	1.9	53.8	100.0
	大崎	7.8	45.5	53.3	42.9	3.9	46.8	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	8.3	50.0	58.3	41.7	0.0	41.7	100.0
	石巻	9.1	45.5	54.6	36.4	9.1	45.5	100.0
	気仙沼・本吉	8.3	63.9	72.2	27.8	0.0	27.8	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	18.5	50.8	69.3	27.7	3.1	30.8	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策 10 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 83.4%、低関心度群は 16.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（84.5%）が女性（82.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（87.6%）が 65 歳未満（81.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 10 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	30.2	53.2	83.4	14.3	2.3	16.6	100.0

性別	男性	32.0	52.5	84.5	13.5	2.0	15.5	100.0
	女性	28.4	53.9	82.3	15.2	2.5	17.7	100.0
年齢別	65 歳未満	26.0	55.8	81.8	16.0	2.1	18.1	100.0
	65 歳以上	41.7	45.9	87.6	9.7	2.8	12.5	100.0

圏域別	仙台	31.8	53.0	84.8	13.4	1.8	15.2	100.0
	仙南	25.2	57.4	82.6	15.7	1.7	17.4	100.0
	大崎	33.8	51.9	85.7	11.8	2.5	14.3	100.0
	栗原	35.3	46.1	81.4	15.6	3.0	18.6	100.0
	登米	29.5	55.4	84.9	11.6	3.6	15.2	100.0
	石巻	22.5	58.8	81.3	17.6	1.1	18.7	100.0
	気山沼・本吉	30.6	51.2	81.8	15.7	2.4	18.1	100.0

有効回答者数 1,671 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 85.9%、低関心度群は 14.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域（100.0%）、石巻圏域（100.0%）では共に 14.1 ポイント高い。

仙台圏域（80.9%）では、回答者全体と比較して 5.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 93.9%、低関心度群は 6.1%である。

(%)

政策 10 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	27.6	58.3	85.9	12.9	1.2	14.1	100.0	
圏 域 別	仙台	20.9	60.0	80.9	17.4	1.7	19.1	100.0
	仙南	41.1	46.4	87.5	12.5	0.0	12.5	100.0
	大崎	32.1	55.1	87.2	11.5	1.3	12.8	100.0
	栗原	14.3	85.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	21.7	65.2	86.9	8.7	4.3	13.0	100.0
	気山沼・本吉	27.0	62.2	89.2	10.8	0.0	10.8	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	43.9	50.0	93.9	6.1	0.0	6.1	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 10 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 25.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 42.1%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 35.4%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 34.9%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	55.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	45.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	11.4	(88.6)
満足度 60点未満の割合		53.5
要検討領域にある回答者全体の割合		42.1

有効回答者数；重視度 1,645人、満足度 1,628人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	1645	1628
	欠損値	76	93
平均値		75.66	53.59
平均値の標準誤差		.409	.422
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.572	17.023
分散		274.622	289.784
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	65.0	25.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.3	(90.7)
満足度 60点未満の割合		44.7
要検討領域にある回答者全体の割合		35.4

有効回答者数；重視度 334人、満足度 333人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	334	333
	欠損値	4	5
平均値		75.90	55.51
平均値の標準誤差		.824	.838
中央値		80.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		15.060	15.285
分散		226.818	233.624
範囲		90	95
最小値		10	5
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	66.3	23.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

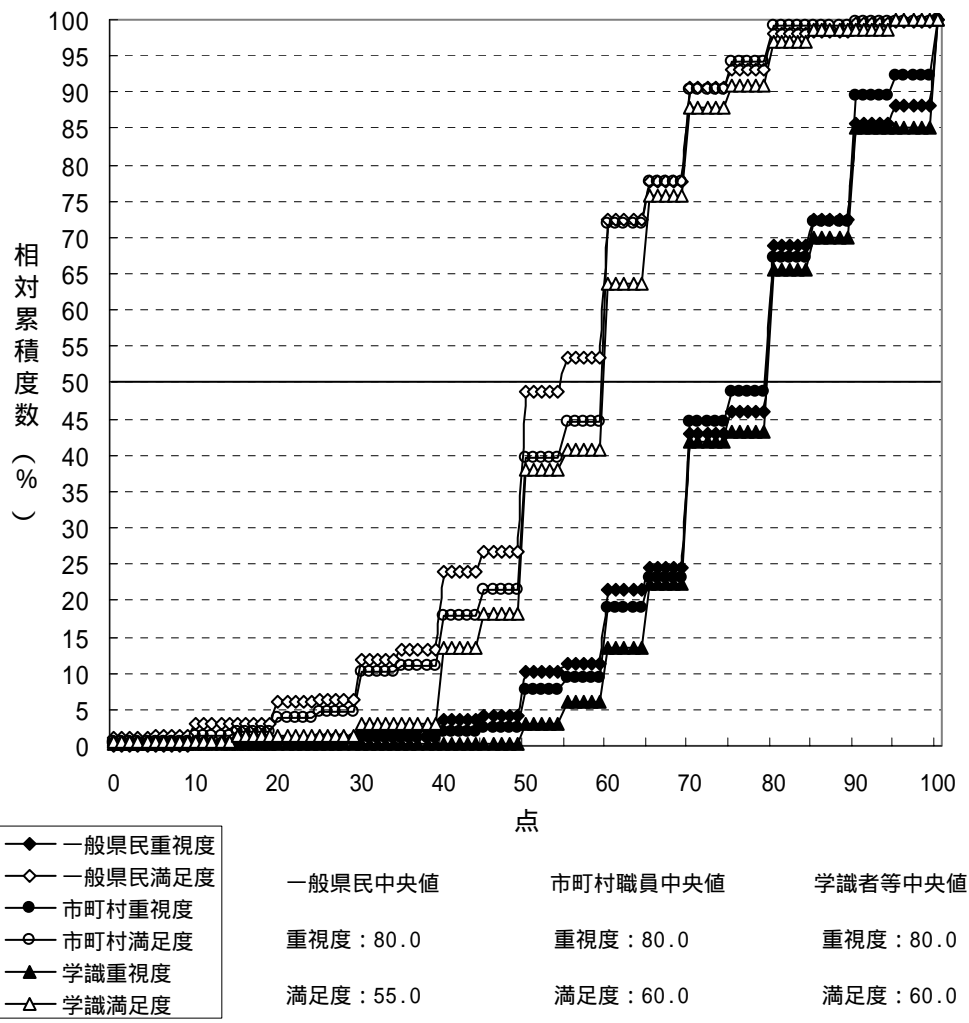
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0	(94.)
満足度 60点未満の割合		40.9
要検討領域にある回答者全体の割合		34.9

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		78.21	58.33
平均値の標準誤差		1.687	1.705
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		13.809	13.849
分散		190.683	191.795
範囲		50	80
最小値		50	15
最大値		100	95
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	66.25

「政策10 豊かな自然環境の保全・創造」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0 点）が男性（50.0 点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（30.0 点）が女性（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性（12.5 点）が女性（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 45.7%、女性 38.9%と推定できる。

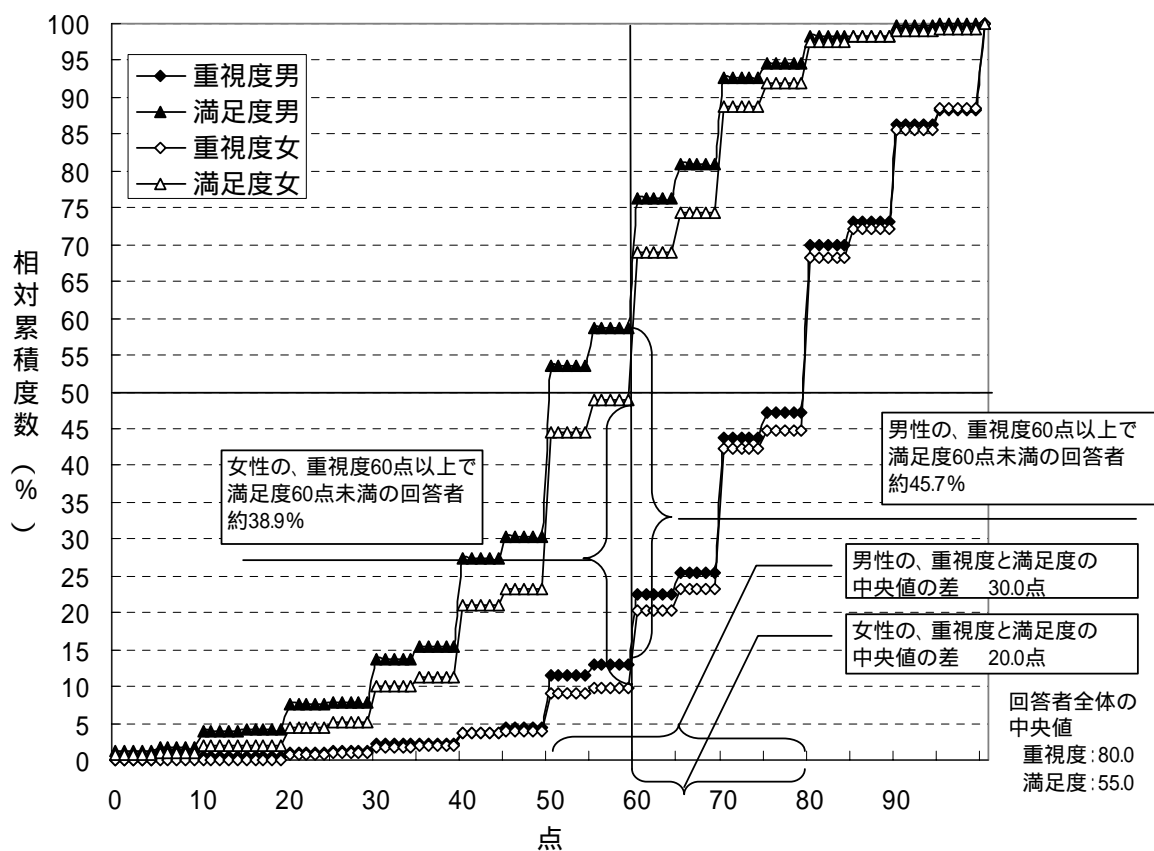
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	50.0	60.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	45.0	40.0	50.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	70.0
	かい離	25.0	30.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	12.9 (87.1)	9.9 (90.1)
満足度 60 点未満の割合	58.6	48.8
要検討領域にある回答者全体の割合	45.7	38.9

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	778	769
	欠損値	25	34
平均値		75.14	51.69
平均値の標準誤差		.609	.623
中央値		80.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.982	17.270
分散		288.397	298.245
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	848	840
	欠損値	48	56
平均値		76.15	55.38
平均値の標準誤差		.555	.572
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.153	16.592
分散		260.926	275.302
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 55.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 25.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 43.3%、65 歳以上 38.8%と推定できる。

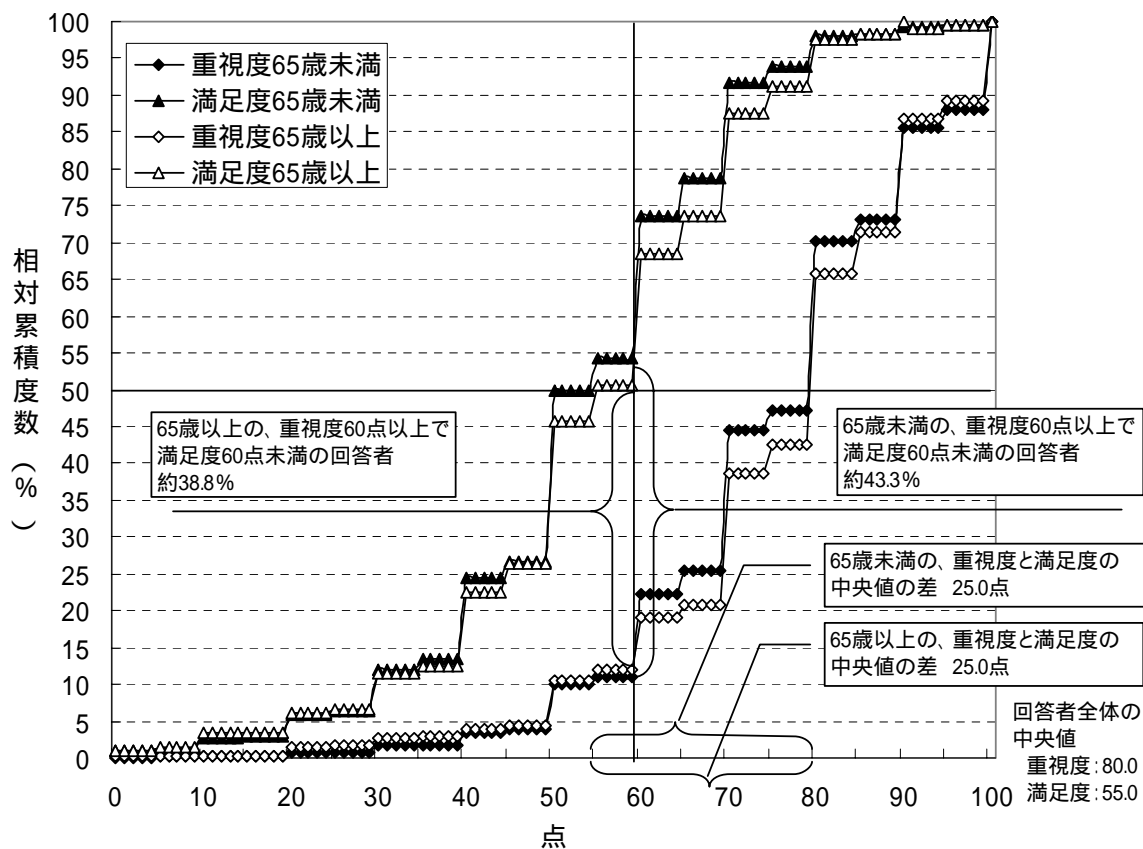
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	55.0	55.0
	かい離	25.0	25.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	65.0	70.0
	満足度	45.0	45.0	45.0
	かい離	25.0	20.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	70.0
	かい離	25.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	11.1 (88.9)	11.9 (88.1)
満足度 60 点未満の割合	54.4	50.7
要検討領域にある回答者全体の割合	43.3	38.8

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	1203	1195
	欠損値	37	45
平均値		75.48	53.31
平均値の標準誤差		.475	.487
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.470	16.818
分散		271.256	282.854
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	65.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策10重視度	政策10満足度
度数	有効	421	412
	欠損値	36	45
平均値		76.31	54.61
平均値の標準誤差		.814	.863
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.700	17.519
分散		278.884	306.905
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(75.0点)が回答者全体(80.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(55.0点)よりも5ポイント高く、

仙台圏域(50.0点)、仙南圏域(50.0点)の2圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(14.4点)、石巻圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、仙南圏域(5.0点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(14.4点)、気仙沼・本吉圏域(12.5点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.8点)、石巻圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(70.0点)、石巻圏域(70.0点)の2圏域が回答者全体(80.0点)よりも10ポイント、登米圏域(72.5点)が7.5ポイント、仙台圏域(75.0点)、気仙沼・本吉圏域(75.0点)の2圏域が5ポイント低い。

満足度の中央値は、石巻圏域(55.0点)が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)、登米圏域(11.3点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、仙台圏域(10.0点)、大崎圏域(10.0点)、石巻圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(8.8点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、栗原圏域(0.0点)、登米圏域(6.9点)の2圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	75.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	55.0	50.0	50.0	60.0	55.0	55.0	55.0	55.0
	かい離	25.0	30.0	25.0	20.0	25.0	25.0	25.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	61.3
	満足度	45.0	40.0	40.0	50.0	41.3	50.0	50.0	40.0
	かい離	25.0	30.0	30.0	20.0	28.8	20.0	15.0	21.3
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	80.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	65.0	60.0	60.0	67.5	70.0	70.0	65.0	65.0
	かい離	25.0	30.0	20.0	22.5	20.0	20.0	25.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0	10.0	12.5	14.4
	満足度	10.0	10.0	10.0	8.8	14.4	10.0	7.5	12.5

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	75.0	80.0	80.0	70.0	72.5	70.0	75.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	57.5	55.0	60.0
	かい離	20.0	15.0	20.0	20.0	10.0	15.0	15.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	62.5	60.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	60.0	50.0	40.0	48.8
	かい離	20.0	15.0	25.0	20.0	10.0	12.5	20.0	21.3
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	65.0	70.0	60.0	70.0	60.0	63.8	60.0	66.3
	かい離	25.0	20.0	30.0	20.0	30.0	21.3	20.0	23.8
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0	11.3	10.0	10.0
	満足度	7.5	10.0	7.5	10.0	0.0	6.9	10.0	8.8

4. 政策 10 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」(34.5%)である。

第 2 位は施策 5「森林の適正な管理」(19.3%)である。

第 3 位は施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」(18.4%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」(43.5%)である。

第 2 位は施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」(17.3%)である。

第 3 位は施策 5「森林の適正な管理」(15.2%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」(39.7%)である。

第 2 位は施策 5「森林の適正な管理」(22.1%)である。

第 3 位は施策 3「景観・歴史的環境の保全」(13.2%)である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも、施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」である。

第 2 位は、男性では施策 5「森林の適正な管理」、女性では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」である。

第 3 位は、男性では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」、女性では施策 5「森林の適正な管理」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 2「身近な緑の保全・再生・創造」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5「森林の適正な管理」、65 歳以上では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1「自然公園等の優れた自然環境の保全」、65 歳以上では施策 5「森林の適正な管理」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 2 「身近な緑の保全・再生・創造」である。

第 2 位は、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、
仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」である。

第 3 位は、仙台、栗原、登米の 3 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、仙南、石巻、気
仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」、大崎圏域では施
策 6 「自然とふれあう場や機会の提供」である。

市町村職員では、

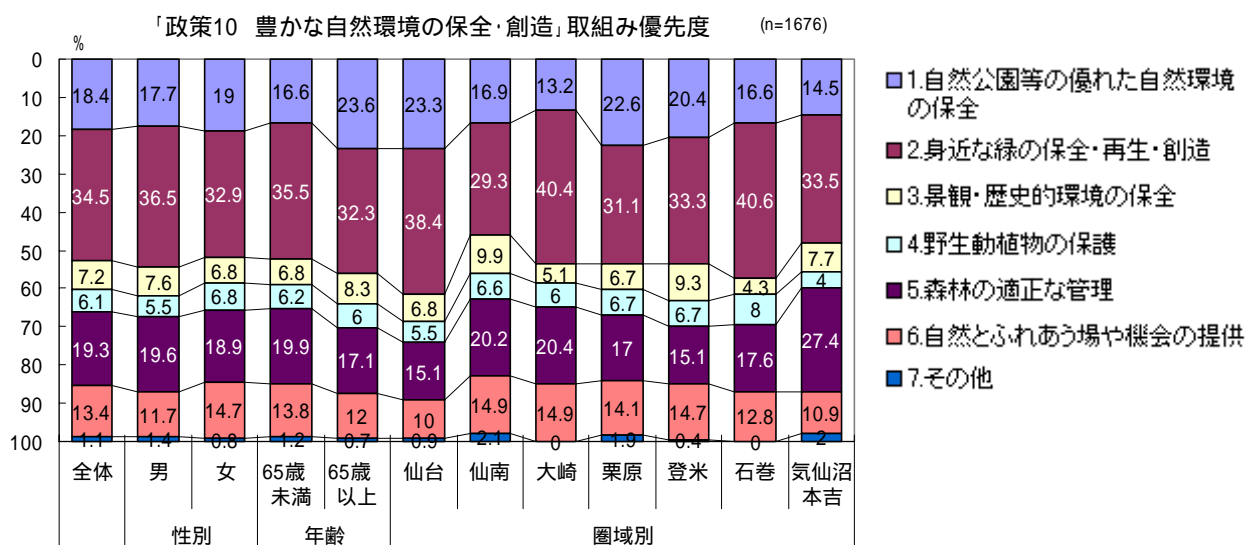
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 2 「身近な緑
の保全・再生・創造」、栗原圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」であ
る。

第 2 位は、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 4 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、
仙台、仙南、登米の 3 圏域では施策 1 「自然公園等の優れた自然環境の保全」、栗原圏域
では施策 2 「身近な緑の保全・再生・創造」、登米圏域では施策 6 「自然とふれあう場や
機会の提供」である（登米圏域では施策 1 と施策 5 と施策 6 が共に第 2 位になっている）

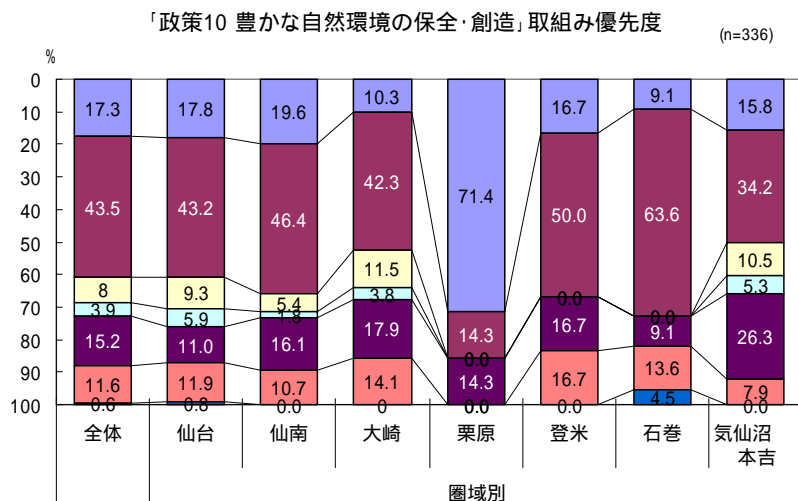
第 3 位は、仙台、大崎の 2 圏域では施策 6 「自然とふれあう場や機会の提供」、仙南、栗
原の 2 圏域では施策 5 「森林の適正な管理」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 1 「自
然公園等の優れた自然環境の保全」である。

政策10「豊かな自然環境の保全・創造」

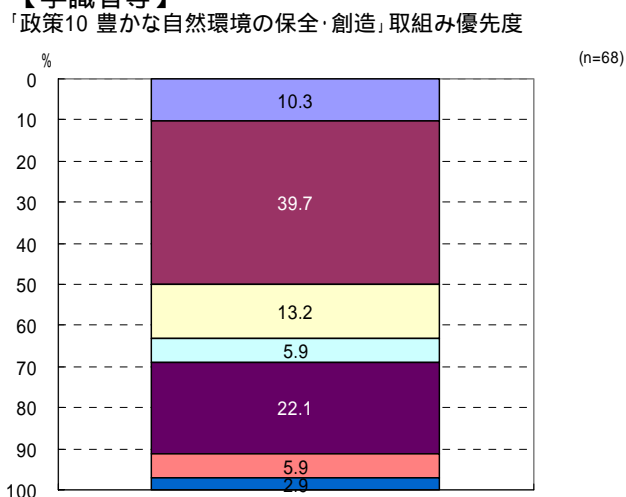
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 10 「豊かな自然環境の保全・創造」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.自然公園等の優れた自然環境の保全	18.4	17.7	19.0	16.6	23.6	23.3	16.9	13.2	22.6	20.4	16.6	14.5
2	2.身近な緑の保全・再生・創造	34.5	36.5	32.9	35.5	32.3	38.4	29.3	40.4	31.1	33.3	40.6	33.5
3	3.景観・歴史的環境の保全	7.2	7.6	6.8	6.8	8.3	6.8	9.9	5.1	6.7	9.3	4.3	7.7
4	4.野生動植物の保護	6.1	5.5	6.8	6.2	6.0	5.5	6.6	6.0	6.7	6.7	8.0	4.0
5	5.森林の適正な管理	19.3	19.6	18.9	19.9	17.1	15.1	20.2	20.4	17.0	15.1	17.6	27.4
6	6.自然とふれあう場や機会の提供	13.4	11.7	14.7	13.8	12.0	10.0	14.9	14.9	14.1	14.7	12.8	10.9
7	7.その他	1.1	1.4	0.8	1.2	0.7	0.9	2.1	0.0	1.9	0.4	0.0	2.0

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.自然公園等の優れた自然環境の保全	17.3	17.8	19.6	10.3	71.4	16.7	9.1	15.8
2	2.身近な緑の保全・再生・創造	43.5	43.2	46.4	42.3	14.3	50.0	63.6	34.2
3	3.景観・歴史的環境の保全	8.0	9.3	5.4	11.5	0.0	0.0	0.0	10.5
4	4.野生動植物の保護	3.9	5.9	1.8	3.8	0.0	0.0	0.0	5.3
5	5.森林の適正な管理	15.2	11.0	16.1	17.9	14.3	16.7	9.1	26.3
6	6.自然とふれあう場や機会の提供	11.6	11.9	10.7	14.1	0.0	16.7	13.6	7.9
7	7.その他	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.自然公園等の優れた自然環境の保全	10.3
2	2.身近な緑の保全・再生・創造	39.7
3	3.景観・歴史的環境の保全	13.2
4	4.野生動植物の保護	5.9
5	5.森林の適正な管理	22.1
6	6.自然とふれあう場や機会の提供	5.9
7	7.その他	2.9

政策 11 「循環型社会の形成」

政策 11 「循環型社会の形成」は、資源を有効に活用し、廃棄物をリサイクルして環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会の実現を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 11 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 54.9%、低認知度群は 45.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（58.5%）が女性（51.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（62.0%）が 65 歳未満（52.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、仙南圏域（45.3%）が、回答者全体と比較して 9.6 ポイント低い。

(%)

政策 11 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	6.5	48.4	54.9	37.0	8.1	45.1	100.0

性別	男性	7.8	50.7	58.5	34.7	6.8	41.5	100.0
	女性	5.4	45.9	51.3	39.5	9.2	48.7	100.0
年齢別	65 歳未満	5.3	47.0	52.3	39.3	8.4	47.7	100.0
	65 歳以上	10.2	51.8	62.0	30.9	7.1	38.0	100.0

圏域別	仙台	7.0	48.8	55.8	36.3	7.9	44.2	100.0
	仙南	4.2	41.1	45.3	44.1	10.6	54.7	100.0
	大崎	6.6	52.4	59.0	35.2	5.7	40.9	100.0
	栗原	8.4	48.1	56.5	34.7	8.8	43.5	100.0
	登米	6.0	52.1	58.1	33.5	8.4	41.9	100.0
	石巻	6.0	46.7	52.7	42.9	4.4	47.3	100.0
	気仙沼・本吉	7.5	49.8	57.3	33.9	8.8	42.7	100.0

有効回答者数 1,621 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 71.4%、低認知度群は 28.6%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)が 28.6 ポイント、登米圏域(81.8%)が 10.4 ポイント、大崎圏域(77.3%)が 5.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域(61.9%)が 9.5 ポイント、仙台圏域(64.6%)が 6.8 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 74.3%、低認知度群は 25.7%である。

(%)

政策 11 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	9.2	62.2	71.4	25.5	3.1	28.6	100.0	
圏 域 別	仙台	8.6	64.6	29.3	6.0	35.3	100.0	
	仙南	9.3	63.0	72.3	25.9	1.9	27.8	100.0
	大崎	12.0	65.3	77.3	20.0	2.7	22.7	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	27.3	54.5	81.8	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	9.5	52.4	61.9	38.1	0.0	38.1	100.0
	気山沼・本吉	2.8	72.2	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	18.2	56.1	74.3	24.2	1.5	25.7	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

2. 政策 11 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 85.4%、低関心度群は 14.5%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（86.4%）が女性（84.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（88.7%）が 65 歳未満（84.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策 11 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	33.9	51.5	85.4	12.0	2.5	14.5	100.0

性別	男性	36.9	49.5	86.4	11.3	2.3	13.6	100.0
	女性	31.1	53.6	84.7	12.7	2.6	15.3	100.0
年齢別	65 歳未満	28.9	55.4	84.3	13.3	2.3	15.6	100.0
	65 歳以上	48.0	40.7	88.7	8.4	2.8	11.2	100.0

圏域別	仙台	38.9	47.7	86.6	11.1	2.3	13.4	100.0
	仙南	33.6	46.9	80.5	15.8	3.7	19.5	100.0
	大崎	33.0	54.9	87.9	10.3	1.7	12.0	100.0
	栗原	37.5	49.1	86.6	11.2	2.2	13.4	100.0
	登米	33.9	52.9	86.8	10.9	2.3	13.2	100.0
	石巻	28.3	56.5	84.8	14.7	0.5	15.2	100.0
	気山沼・本吉	31.3	54.1	85.4	11.0	3.7	14.7	100.0

有効回答者数 1,655 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 87.9%、低関心度群は 12.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（100.0%）、気仙沼・本吉圏域（100.0%）では共に 12.1 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（80.9%）では 7.0 ポイント、仙台圏域（81.9%）では 6.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 95.5%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 11 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	28.9	59.0	87.9	10.6	1.5	12.1	100.0	
圏 域 別	仙台	23.3	58.6	81.9	15.5	2.6	18.1	100.0
	仙南	42.9	46.4	89.3	10.7	0.0	10.7	100.0
	大崎	32.0	57.3	89.3	9.3	1.3	10.6	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	33.3	47.6	80.9	14.3	4.8	19.1	100.0
	気仙沼・本吉	16.2	83.8	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	47.0	48.5	95.5	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 11 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 25.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値（点）

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	9.8	(90.2)
満足度 60 点未満の割合		49.6
要検討領域にある回答者全体の割合		39.8

有効回答者数；重視度 1,638 人、満足度 1,622 人

（一般県民）回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	1638	1622
	欠損値	83	99
平均値		78.24	55.07
平均値の標準誤差		.405	.447
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.383	17.985
分散		268.409	323.469
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値（点）

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	5.4	(94.6)
満足度 60 点未満の割合		41.9
要検討領域にある回答者全体の割合		36.5

有効回答者数；重視度 336 人、満足度 334 人

（市町村）回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	336	334
	欠損値	2	4
平均値		79.64	57.41
平均値の標準誤差		.801	.883
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		14.681	16.139
分散		215.544	260.465
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値（点）

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	55.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

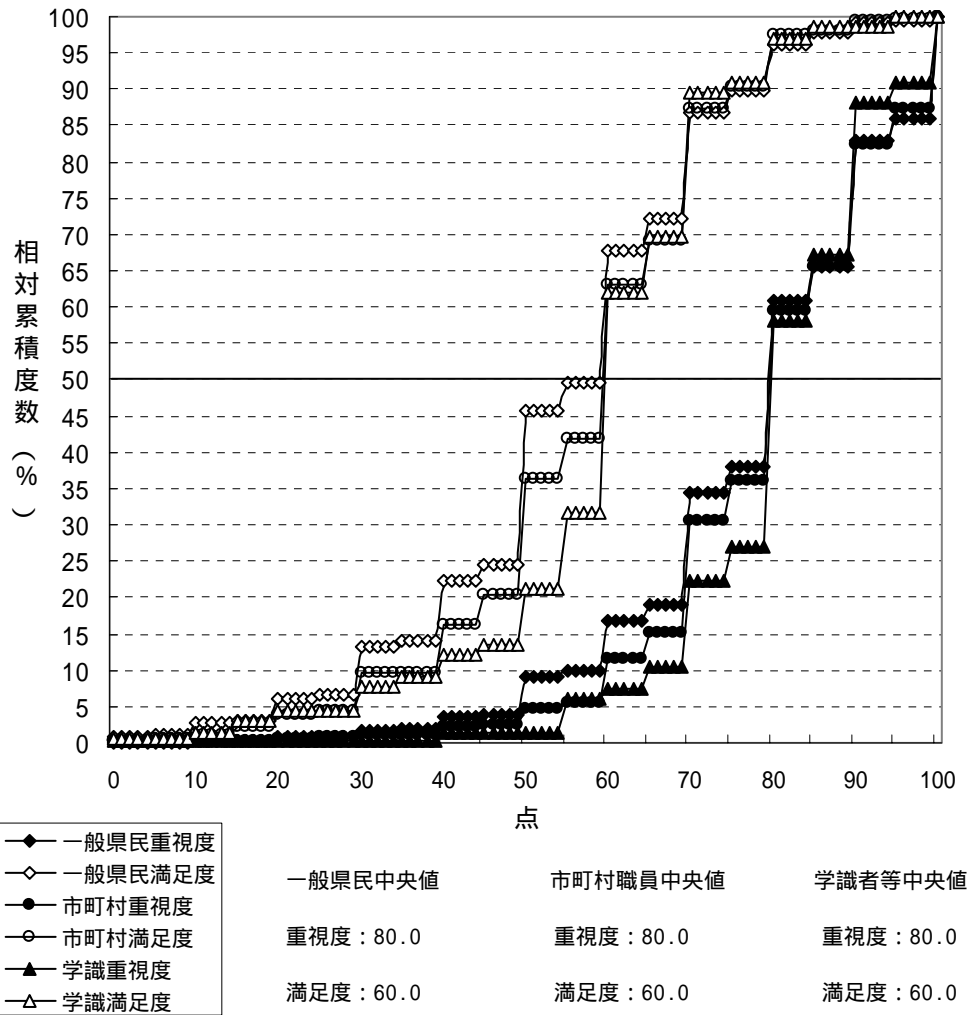
	回答者全体	
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	6.0	(94.)
満足度 60 点未満の割合		31.8
要検討領域にある回答者全体の割合		25.8

有効回答者数；重視度 67 人、満足度 66 人

（学識者等）回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		80.90	59.24
平均値の標準誤差		1.469	1.889
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.027	15.348
分散		144.640	235.571
範囲		60	85
最小値		40	10
最大値		100	95
パーセントイル	25	75.00	55.00
	40	80.00	60.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

「政策11 循環型社会の形成」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0 点）が男性（55.0 点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（25.0 点）が女性（20.0 点）よりも高い。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 43.0%、女性 36.7%と推定できる。

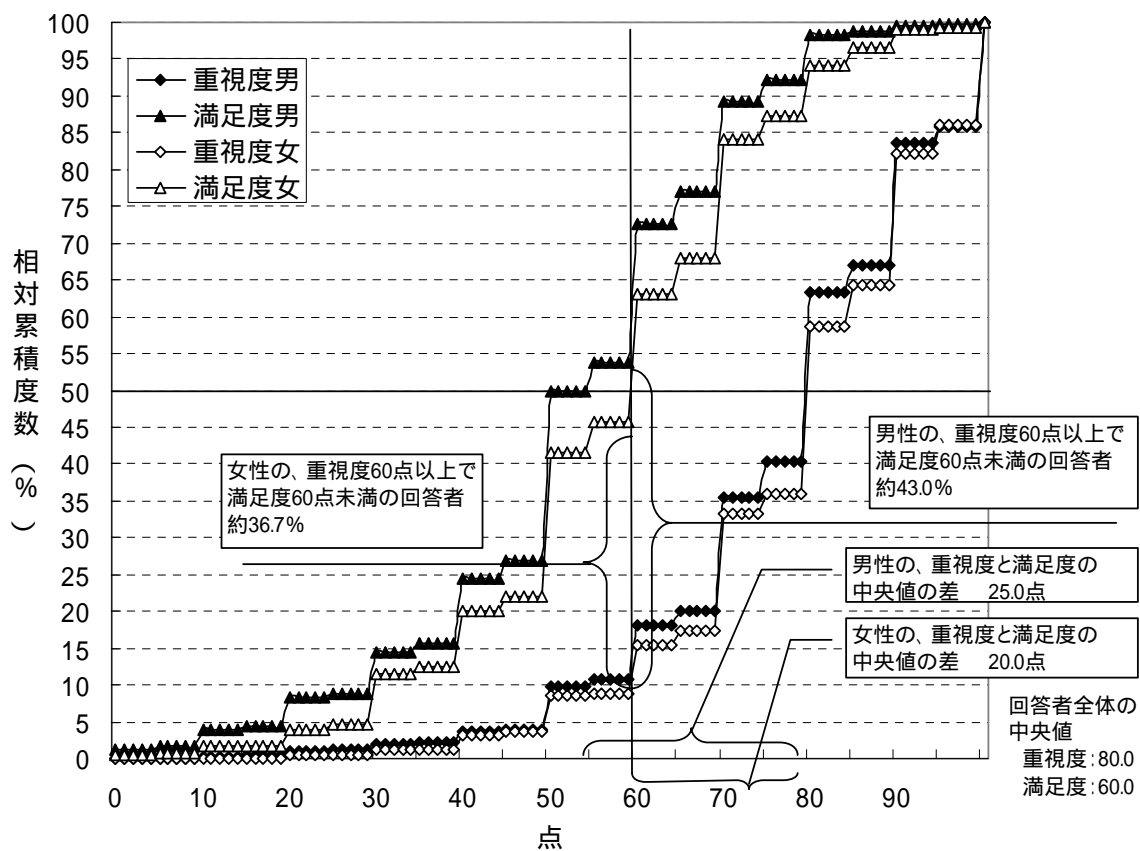
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	10.7 (89.3)	8.9 (91.1)
満足度 60 点未満の割合	53.7	45.6
要検討領域にある回答者全体の割合	43.0	36.7

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	777	771
	欠損値	26	32
平均値		77.56	52.95
平均値の標準誤差		.600	.652
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.736	18.096
分散		280.095	327.483
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	840	831
	欠損値	56	65
平均値		78.93	57.12
平均値の標準誤差		.546	.611
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.837	17.626
分散		250.800	310.690
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（55.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（25.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.8%、65 歳以上 39.6%と推定できる。

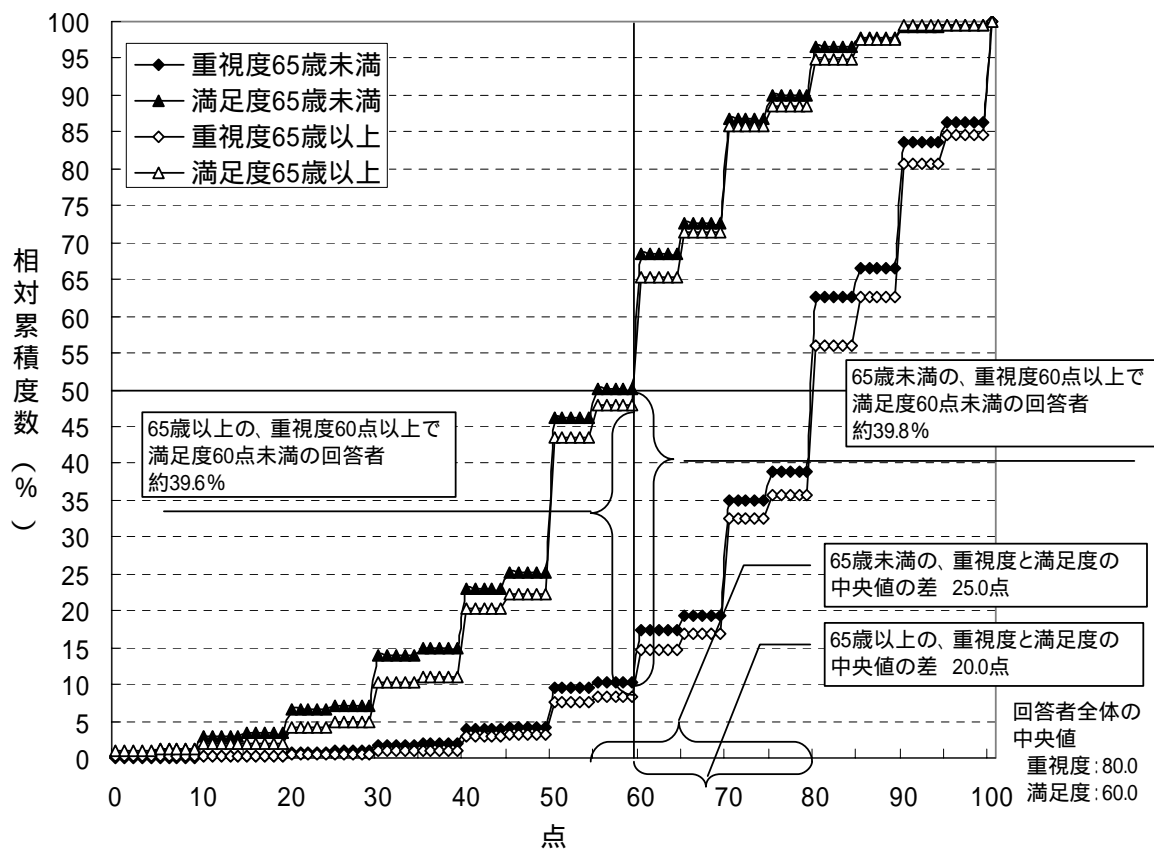
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	10.3 (89.7)	8.2 (91.8)
満足度 60 点未満の割合	50.1	47.8
要検討領域にある回答者全体の割合	39.8	39.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	1199	1190
	欠損値	41	50
平均値		77.84	54.68
平均値の標準誤差		.476	.528
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.489	18.203
分散		271.877	331.353
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	416	410
	欠損値	41	47
平均値		79.58	56.37
平均値の標準誤差		.767	.853
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.643	17.277
分散		244.702	298.497
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (80.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、仙南圏域 (50.0 点) が回答者全体 (60.0 点) よりも 10 ポイント、
仙台圏域 (55.0 点)、気仙沼・本吉圏域 (55.0 点) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域 (12.5 点)、栗原圏域 (12.5 点)、気仙沼・本吉圏域 (11.9 点) の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 (80.0 点) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、栗原圏域 (65.0 点) が回答者全体 (60.0 点) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域 (7.5 点)、栗原圏域 (7.5 点)、登米圏域 (6.9 点) の
3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 (12.5 点)、石巻圏域 (12.5 点)、栗原圏域 (11.3 点)
の 3 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、気仙沼・本吉圏域 (6.3 点) が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0
	かい離	20.0	25.0	30.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	40.0	50.0	45.0	50.0	50.0	46.3
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	25.0	20.0	20.0	23.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5	10.0	12.5	10.0	10.0	11.9

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	82.5	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	57.5	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	25.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	75.0	70.0	75.0	75.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	51.3	45.0	47.5
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	25.0	23.8	25.0	22.5
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	88.8	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	65.0	70.0	75.0	73.8	70.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	15.0	15.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5	10.0	7.5	6.9	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	11.3	12.5	6.3

4. 政策 11 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」(35.4%) である。

第 2 位は施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」(17.1%) である。

第 3 位は施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」(13.9%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」(32.4%) である。

第 2 位は施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」(15.8%) である。

第 3 位は施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」(15.2%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」(47.1%) である。

第 2 位は施策 4 「3.廃棄物の適正処理の推進」(13.2%) である。

第 3 位は施策 4 「資源循環に配慮した企業活動の促進」(11.8%) と施策 6 「限りある資源の持続的な利用」(11.8%) である (施策 4 と施策 6 が共に第 3 位になっている)。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」、女性では施策 6 「限りある資源の持続的な利用」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」と施策 6 「限りある資源の持続的な利用」、65 歳以上では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である (65 歳未満では施策 3 と施策 6 がともに第 3 位になっている)。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」である。

第 2 位は、仙台、栗原、登米、石巻の 4 圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である。

第 3 位は仙台、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「限りある資源の持続的な利用」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」、石巻圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である（石巻圏域では施策 3 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

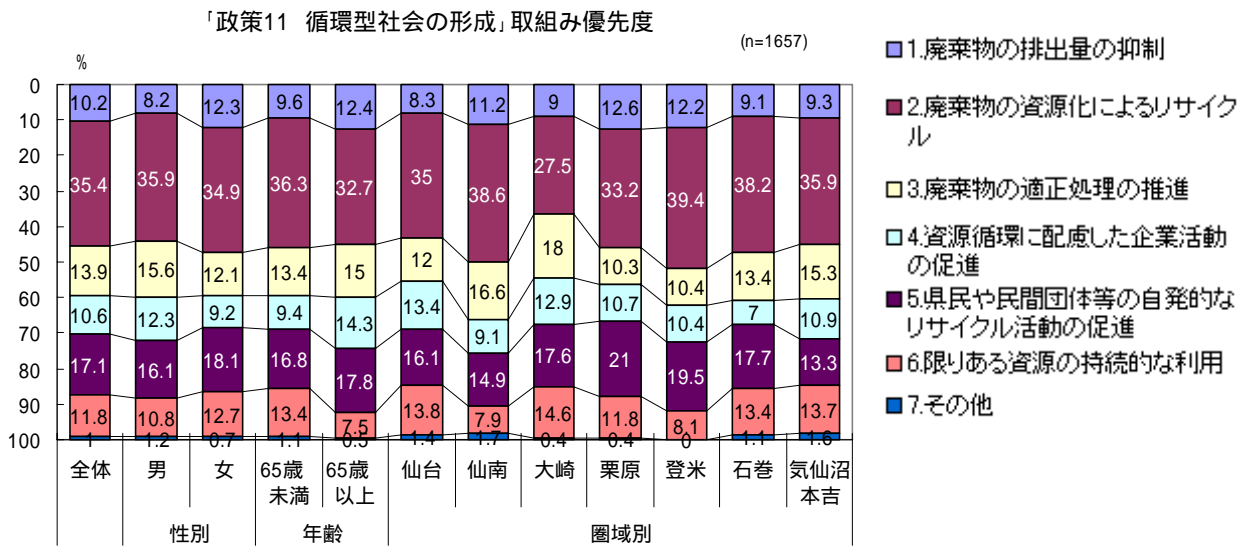
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」である。

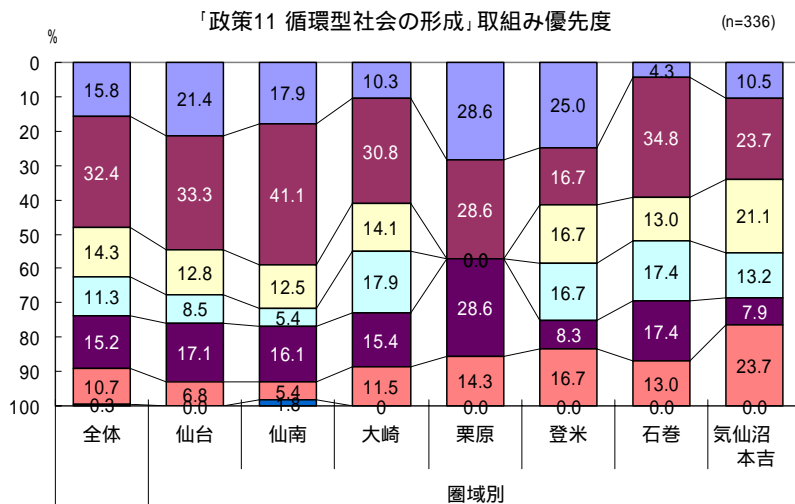
第 2 位は、大崎、登米、石巻の 3 圏域では施策 4 「資源循環に配慮した企業活動の促進」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」、栗原、登米の 2 圏域では施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」、登米圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」、石巻圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「限りある資源の持続的な利用」である（登米圏域では施策 2 と施策 3 と施策 4 の 3 圏域が、石巻圏域では施策 4 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である。

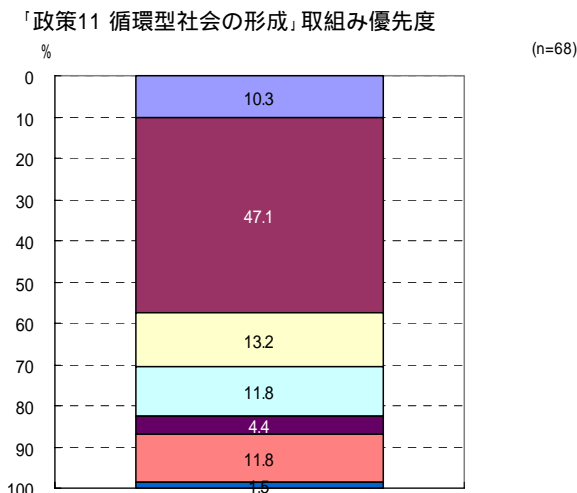
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 11 「循環型社会の形成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.廃棄物の排出量の抑制	10.2	8.2	12.3	9.6	12.4	8.3	11.2	9.0	12.6	12.2	9.1	9.3
2	2.廃棄物の資源化によるリサイクル	35.4	35.9	34.9	36.3	32.7	35.0	38.6	27.5	33.2	39.4	38.2	35.9
3	3.廃棄物の適正処理の推進	13.9	15.6	12.1	13.4	15.0	12.0	16.6	18.0	10.3	10.4	13.4	15.3
4	4.資源循環に配慮した企業活動の促進	10.6	12.3	9.2	9.4	14.3	13.4	9.1	12.9	10.7	10.4	7.0	10.9
5	5.県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進	17.1	16.1	18.1	16.8	17.8	16.1	14.9	17.6	21.0	19.5	17.7	13.3
6	6.限りある資源の持続的な利用	11.8	10.8	12.7	13.4	7.5	13.8	7.9	14.6	11.8	8.1	13.4	13.7
7	7.その他	1.0	1.2	0.7	1.1	0.5	1.4	1.7	0.4	0.4	0.0	1.1	1.6

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.廃棄物の排出量の抑制	15.8	21.4	17.9	10.3	28.6	25.0	4.3	10.5
2	2.廃棄物の資源化によるリサイクル	32.4	33.3	41.1	30.8	28.6	16.7	34.8	23.7
3	3.廃棄物の適正処理の推進	14.3	12.8	12.5	14.1	0.0	16.7	13.0	21.1
4	4.資源循環に配慮した企業活動の促進	11.3	8.5	5.4	17.9	0.0	16.7	17.4	13.2
5	5.県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進	15.2	17.1	16.1	15.4	28.6	8.3	17.4	7.9
6	6.限りある資源の持続的な利用	10.7	6.8	5.4	11.5	14.3	16.7	13.0	23.7
7	7.その他	0.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.廃棄物の排出量の抑制	10.3
2	2.廃棄物の資源化によるリサイクル	47.1
3	3.廃棄物の適正処理の推進	13.2
4	4.資源循環に配慮した企業活動の促進	11.8
5	5.県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進	4.4
6	6.限りある資源の持続的な利用	11.8
7	7.その他	1.5

